

2023年度 年報

Annual Report 2023



大阪大学国際教育交流センター

Center for International Education and Exchange, Osaka University

巻 頭 言

大阪大学国際教育交流センター長
有 川 友 子

2023年度は、2020年から3年ほど続いた新型コロナウイルス感染症の影響で制限されていた受入派遣双方向の留学生交流が再開し、対面で多くの活動が行われました。例えば、秋冬学期には、コロナ禍で留学の時期を遅らせていた学生を含め、多数の交換留学プログラム留学生の受入となり、国際教育交流センターは国際部等関係部署と連携協力しながら対応しました。

また、2023年度も留学生交流は国際情勢の影響を受け続けました。2022年春のロシア侵攻に伴うウクライナの戦争は丸2年を超えて続いています。2023年10月からのパレスチナとイスラエルの戦争も続いています。2023年度も本学のウクライナ支援プログラムの一環として、国際教育交流センターにおいてもウクライナ学生の支援を行ってきました。

さて、本年度のトピックスとして、「1. OU バディの創設」「2. J-ShIP プログラムの国際交流基金関西センターでの実施」「3. CIEE 研究協議会シリーズ-多文化交流の最前線」「4. 研究大学の特徴に着目したキャリア支援の強化」「5. インドネシア・プラヴィジャヤ大学との学術協力協定の締結」「6. Project HELP! 終了」「7. 大阪大学におけるウクライナからの学生・研究者支援 (CIEE の取り組み)」、以上7件につきまして報告しております。その後、各プログラムや活動について詳細に報告しております。

大阪大学の外国人留学生数は2023年5月1日現在で2,781名となりました。国際教育交流センターは全学の留学生を対象とした教育と支援について、関係部局等と緊密に連携しながら、活動を続けております。また、日本人など一般学生を含めた全学生の国際性涵養につながる各種教育と支援、海外留学や研修プログラムの企画運営等も行っております。

最後になりますが、これからもグローバルイニシアティブ機構など関係部署と連携しつつ、国際教育交流センターは留学生・学生中心の部局として、積極的に貢献してまいります。

大阪大学国際教育交流センター
2023年度 年報

目次

巻頭言	1
I. 本年度のトピックス	4
1. OUバディの創設	4
2. J-ShIPプログラムの国際交流基金関西センターでの実施について	5
3. CIEE研究協議会シリーズ—多文化交流の最前線	6
4. 研究大学の特徴に着目したキャリア支援の強化	7
5. インドネシア・ブラヴィジャヤ大学との学術協力協定の締結	9
6. Project HELP！終了について	10
7. 大阪大学におけるウクライナからの学生・研究者支援（CIEEの取り組み）	11
II. 現況	12
1. 教員、非常勤講師、特任事務職員等	12
2. 今年度の動き	13
III. 留学生対象日本語プログラム	14
1. 日本語集中コース	15
2. 日本語選択コース	20
3. 全学共通教育	22
4. 国際交流科目	24
5. 学際融合教育科目	25
6. その他	26
IV. 国際教養・専門複合型プログラム	30
1. 行事	31
2. 2023年度春夏学期：OUSSEP学生名簿と国際交流科目開講リスト	32
3. 2023年度秋冬学期：OUSSEP学生名簿と国際交流科目開講リスト	37
4. 国際交流科目履修者数と単位取得者数	42
5. 国際交流科目における授業の質保証の取り組み	42
6. OUSSEP学生対象国際交流科目「インターンシップ実習」	47
V. 授業料徴収型『超短期』プログラム	48
1. Faculty-ledプログラム UMOS	48
2. 『ショートステイ学期内日本語専修プログラム』J-ShIP （国際交流基金関西国際センターとの連携による日本語教育プログラム）	49

VI. 留学生支援	52
1. 生活・就学支援	52
2. 地域との連携	59
3. 留学生に対するキャリア支援	62
VII. 海外派遣留学支援	66
1. 短期語学研修プログラム	66
2. 海外留学オリエンテーション	67
3. 大学間交換留学者数	68
4. 海外留学・研修等派遣前危機管理オリエンテーション	70
5. 海外留学相談	71
6. 交換留学派遣・受け入れ学生交流会	73
7. 英語学習支援プログラム Project HELP!	73
VIII. サポートオフィスの活動	76
1. 査証（ビザ）関連手続きの支援	76
2. 住宅・宿舍手配の情報提供・支援	77
3. 新規来日外国人留学生・研究者向けオリエンテーションの開催	77
4. 留学生・外国人研究者受入事務に初めて関わる担当者向け研修会の開催	78
5. ホームページの管理運営	78
6. 各種印刷物の改訂版作成・配布	79
IX. 大学院・学部教育	80
1. 授業担当	80
2. 研究指導	86
3. 研究指導学生学位論文	88
4. リサーチ・アシスタント（RA）の受入れ	88
X. その他の活動	89
1. 各種行事	89
2. 海外出張・海外研修	90
3. 出版物・印刷物等（2023年5月から2024年4月まで）	91
4. 来訪者対応	91
5. 研究者のためのオーラル・コミュニケーション日本語	91
6. にほんごテーブル	91
7. CIEE研究会	93
XI. 教員個人データ	95
資料編	
資料1 国際教育交流センターが提供する日本語科目 2023年度 留学生日本語プログラム 時間割	122
資料2 2023年度 留学生日本語プログラム（選択コース）履修登録者数（実人数）一覧	126
資料3-1 2023（令和5）年度春・夏学期 国際交流科目授業時間割	128
資料3-2 2023（令和5）年度秋・冬学期 国際交流科目授業時間割	130
資料4 日本語授業についてのアンケート	132
資料5 国際交流科目 授業評価アンケート（質問票）	134
資料6 国際交流科目 授業アンケート（結果）	140

I. 本年度のトピックス

1. OU バディの創設

当センター短期プログラム開発研究チームでは令和5年度に学生ボランティア「OU バディ」を始めた。OU バディの活動は本学学生が夏と冬の短期日本語留学プログラムに参加する留学生との交流を通して、互いの文化を理解し、尊重しながら共に学ぶことを目的としている。

夏の短期日本語留学プログラムでは J-ShIP プログラムが含まれた。このプログラムでは、大阪府泉南郡田尻町にある国際交流基金関西国際センターで8週間にわたって日本語の集中学習が行われる。本学学生49名が当プログラムに参加する留学生と交流した。OU バディ活動としては、キャンパスツアー、オリエンテーリング、オンライン日本語会話セッション、そして修了式への参加などを組み込んだ(図1)。

冬の短期日本語留学プログラムでは J-ShIP プログラムに加え、UMOS (University of Melbourne Overseas Subject) プログラムが含まれた。UMOS プログラムでは、主に大阪大学国際教育交流センターで3週間にわたって日本語の集中学習が行われる。本学学生10名が J-ShIP と UMOS プログラムに参加する留学生と交流した。上記の OU バディ活動以外に、日本語授業のサポートも行われた。

アンケートの回答から、OU バディ参加者は異文化交流を通じて多面的な学びを得ていたことが示されている。例えば、異なる文化や生活様式に対する理解と尊重が深まることで、異文化に関する新しい視点と知識を獲得していた。また、日常会話や地域言語、俗語を含む日本語の多様性を学ぶ留学生と交流することで、自国文化を異文化の目を通して見直す機会も得ていた。これらの経験は自己理解と自己表現の能力を高めるとともに、異文化の人々に対するコミュニケーション能力を習得させ、多文化社会での適応能力向上に寄与すると期待できる。

今後も、アンケートから得られたフィードバックを基に OU バディの活動を改善しつつ、OU バディの活動を継続していく予定である。この活動から大阪大学の国際交流を推進するリーダーが生まれることを願う。



図1 左はオリエンテーリング、右は修了式でOUバディが留学生と交流する様子

2. J-ShIP プログラムの国際交流基金関西センターでの実施について

J-ShIP は、2011年度夏に新たに創設された。設立に至る経緯や、プログラムのねらいについては近藤(2012)等に譲るが、日本語をキラーコンテンツとし、2011年度に新設された JASSO の Short-Stay プログラム奨学金を最大限獲得する設計のプログラムとなった。2012年度には、新たに「夏プログラム」を増設し、カリフォルニア大学 (UC) を中心とした米国の協定校の「夏休み」期間にあわせた開講プランを作り、数多くのアメリカ人学生に対して、日本語に親しみ、また日本語の単位を在籍校において互換しうる機会を提供してきている。

2014年度以降は、米国向け90コマ8週間のサマーインスティテュート(6-8月)、および豪州向け45コマ5週間のウィンターインスティテュート(12-1月)の2サイクルを運営することになった。サマースクール化にあわせ、ハード面では、旧箕面キャンパスに教室および職員室を設置して4教室60人受け入れ体制を整備した。また宿舎については近隣のアパート等を生協がとりまとめて提供する体制を整えた。その運営方法でUCEAPのサマープログラムとしての認定を受け、毎年一定数の学生の送り込みを受けるなど、その運営を軌道に乗せてきた。ただしご多分に漏れず2020年度および2021年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、すべてを中止とした。一時はオンライン化で凌いできたものの、他にも重大な問題が惹起した。2021年には旧箕面キャンパスが閉鎖されて、面積が十分の一の新キャンパスに移転する。交通利便性は高まったものの、大幅に縮小された新箕面キャンパスではJ-ShIPは運営のためのハード的基盤を失った。

ただし、コロナ禍がいつまでも続くわけもなく、対面によるサマースクールなどに向けての需要が回復することは自明の理であった。UC杜の話し合いでもそのような感触を得てきている。宿舎問題と教室を一気に解決できる方法を模索していたが、様々な経緯から2022年度夏から国際交流基金関西国際センターと協議を重ねることになった。結果として本センターと関西センターが協定を結ぶことにより、宿舎・教室の提供だけでなく、教育実施までを委託する形態でのプログラム実施への体制を整えた。そのためにも、これまでJAccとしてJA科目に準じていわば「JAの三倍速」として運用していた授業科目については、JF100、JF200、JF300として国際交流基金での授業と、本学でこれまで実施してきたJA科目との節合については日本語チームの福良講師が監修して万全を期した。

冬J-ShIPを対面で実施することができ、計19名の学生を豪州から受け入れた。2023年度夏J-ShIPでは計47名の学生、冬J-ShIPでは計19名の学生を受け入れている。大阪府泉南郡田尻町にある国際交流基金関西国際センターと北摂に位置する本学との距離的な隔絶はいかんともし難いが、本トピックでも記載のOUバディの活躍や、一部オリエンテーションの豊中での実施、オンラインの活用などによって距離の問題を克服しつつある。

今後も市場のニーズをくみ取りながら発展させ、戦略的にプログラムの運用を続けていく予定である。

3. CIEE 研究協議会シリーズ— 多文化交流の最前線

(1) 国立大学法人留学生指導研究協議会

日時：2024年2月15日(木)

場所：ハイブリッド形式（銀杏会館・ZOOM）

標記協議会は国立大学法人に所属する留学生指導担当教職員を対象に毎年開催されている。今年度の本協議会は主題：「持続可能な留学生教育と支援の在り方— 変化する環境と体制の中での可能性—」で対面およびZOOMによるハイブリッド形式で開催された。（ZOOMは第一部及び第三部のみ）まず、文部科学省高等教育局学生・留学生課より「留学生交流に係る最新状況と令和6年度関連予算案について」説明があった。その後4つの分科会「A. 大学における留学生相談・支援体制の変化と課題」「B. 日本語教育と留学生相談対応体制の連携と課題」「C. 留学生支援にかかわる学内外組織との連携の現状と課題」「D. 留学生の就職相談の現状と課題」に分かれてディスカッションを実施した。分科会での討議及び全体討論を通して、留学生への多様な支援について協議が行われた。開催要領は以下の通り。（出席者：125名、学内：17名・学外：108名、対面：58名・オンライン：67名）

挨拶（13:30-13:40）

I. 留学生受入れに関する施策（13:40-14:20）

「留学生交流に係る最新状況と令和6年度関連予算案について」

II. 分科会（14:30-16:00）

「持続可能な留学生教育と支援の在り方— 変化する環境と体制の中での可能性—」

- A. 大学における留学生相談・支援体制の変化と課題
- B. 日本語教育と留学生相談対応体制の連携と課題
- C. 留学生支援にかかわる学内外組織との連携の現状と課題
- D. 留学生の就職相談の現状と課題

III. 各分科会からの報告と全体討論（16:00-16:50）

閉会の挨拶（16:50-17:00）

情報交換会（17:10-18:30）

(2) 大阪大学・地域団体ボランティア留学生支援連絡協議会

例年、大阪大学各国・地域留学生会の活動とそれぞれの文化について学ぶとともに、参加者と一緒にボランティアとの懇談会を通して意見交換を行い、ネットワークのさらなる充実に資することを目的として実施している。昨年度に引き続き、今年度もコロナウイルス感染拡大のため中止となった。

(3) 第16回専門日本語教育研究協議会

日時：2024年2月14日(水) 13:30-17:00

場所：大阪大学コンベンションセンター会議室1

「CEFR-CV以降の日本語教育を考える」と題した第16回の協議会では、「日本語教育の参照枠」のもととなったCEFRおよび、2018年に公開されたCEFR-CVの理念を理解した上で、今後さらに在留外国人数の増加が予想され、多文化、多言語社会へと進んでいく日本社会においてどのような日本語教育が必要と

されるのか、さまざまな視点から議論を行った。講演者として国際交流基金関西国際センター所長、大阪大学名誉教授の真嶋潤子先生と大分大学国際教育研究推進機構国際教育推進センター講師の西島順子先生をお迎えした。真嶋先生には「『日本語教育の参照枠』とCEFR—ドイツの移民統合政策から考える」、西島先生には「イタリアの複言語主義から見る日本語教育」とのテーマでそれぞれご講演いただいた。フロアからの質問を含め、活発な全体討論が展開された。詳細については以下のURLを参照。(参加者52名)
https://ciee.osaka-u.ac.jp/research_development/japanese_council/

4. 研究大学の特徴に着目したキャリア支援の強化

従来、各大学での留学生向け就職支援は、一般職や総合職を目指す、いわゆる「新卒」を主な対象としてきた。しかし、大阪大学は研究大学として、正規留学生2066名のうち、約84%が大学院生であり、特に博士・博士後期課程の留学生は922名で、留学生全体の45%を占めている(2023年5月1日現在)。これらの大学院生は、一般総合職以外にも、研究開発職や高度専門職など、専門的な知識と高度なスキルを求められる職種を志向する人が多い。特に博士課程の留学生にとっては、学位取得のタイミングや年齢などのさまざまな理由で、新卒としての枠には収まらないケースもある。これに加えて、英語による学位取得コースに在学する留学生のうち、日本語がほぼ話せない人も少なからずいる。

このような背景を踏まえて、国際教育交流センター(CIEE)では2023年度より、留学生向けの「就職支援」を「キャリア支援」に改称し、より研究大学の留学生のニーズに合わせて、大学院生向けの内容を拡充し、多言語による支援を強化することになった。

(1) 留学生のためのキャリアセミナーシリーズ

CIEEでは、キャリアセンター(全回)及び生命機能研究科(第4回、第5回)との協力のもと、2023年11月から2023年2月にかけて、「留学生のためのキャリアセミナーシリーズ」を全9回開催し、合計176名の留学生が参加した。



第4回



第5回

表1に示すように、博士課程の学生を対象とした内容や、英語で行われるセミナーの割合を以前より増やした。また、講師には学内外の専門家やキャリアカウンセラー、内定者の留学生、OB・OGなどが招かれた。

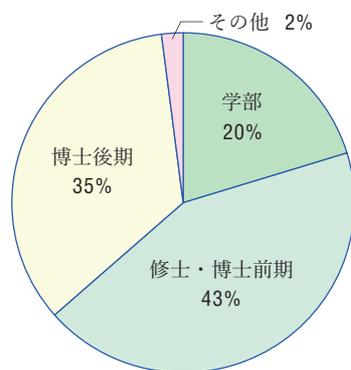
表1 留学生のためのキャリアセミナーシリーズ

	セミナータイトル	開催言語	開催形式	参加者数
1	日本就職対策	英語	オンライン	30
2	内定者による経験談	日本語	オンライン	23
3	博士内定者による経験談&阪大の就活支援に関する説明	英語	オンライン	21
4	博士のキャリア・デヴェロップメントを考える	英語	対面	26
5	博士のための就職対策	英語	対面	21
6	就職面接試験のマナー&グループディスカッション対策	日本語	対面	13
7	OB・OG 体験談	日本語	オンライン	16
8	就職面接試験練習会	日本語	対面	9
9	理系留学生（研究職・技術職）のための就職セミナー	英語	オンライン	17

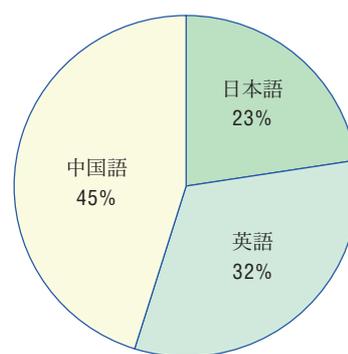
セミナーシリーズ全体の好評率（5段階評価の「非常に良かった」&「良かった」）は93%だったが、その中で、特に博士のキャリア構築や研究技術職関連の内容が人気だった。「博士のキャリア構築を取り扱うセミナーは毎年開催してほしい」といった声もあった。また、大学院生にとって、研究が過度に忙しくて就職活動に充てる時間が確保できない、英語の情報が圧倒的に不足している、修了時期が予測できないために日本の就活スケジュールに合わせる事が難しい、といった問題が明らかになった。今後はキャリア教育を強化していくことで、大学院留学生のニーズに応えていきたいと考えている。

(2) 留学生向けキャリア相談

2023年8月より、「就職相談」を「キャリア相談」に改称し、就職だけでなく、大学院への進学や研究職の長期的キャリア構築に関する内容も含めて、日本語・英語・中国語での進路相談サービスを開始した。2023年度には、合計148人が相談を受けた。



相談者の学年分布 (2023年度)



相談言語 (2023/8-2024/3)

相談者の中で、経済学、人文学、国際公共政策などを専攻する留学生が特に多く、これにより人文・社会科学系の留学生が就職において直面する課題が浮き彫りになった。彼らの多くは、自身の専門分野に適した職業に進むか、一般的な総合職を選択するかで悩んでいる。専門知識を活かしたいという一方で、例えば経済学や日本語教育の分野では、ほとんどの職種がネイティブ同等の日本語能力を求めため、日本人との競争においてハンディキャップを感じている人が多い。一般的な職種に進むことを選択する場合、

取得した修士号や博士号の価値が下がることが懸念されている。また、一部の分野では、日本人の場合は公務員になるか、教員免許を取得して教師になる道が開かれているが、留学生の場合はさまざまな制約や困難があり、選択肢が制限されている。

一方で、理工系の相談者も一定数いる中、英語による学位取得コースに在学している留学生や、日本語の資格を持っていない留学生の割合が高かったことから、日本の大学の国際化が進む一方で、英語を主要な交流言語とする留学生の進路問題がますます切実になっていると感じた。

これらの課題は、特に大阪大学のような研究大学では、高度な専門知識を持つ留学生が増えるにつれて、ますます顕在化している。そのため、今後は国や産業界、地域社会へのインプットを強化し、留学生の進路支援に取り組む必要がある。

(3) その他

英語による就職情報が不足しているとの声に応じて、学内外の就職関連リソースを集約し、英語でのガイダンス（プレゼンテーションの録画や閲覧用資料）を作成し、学内の授業支援システム CLE にて公開された。また、センターウェブサイトや留学生就職メーリングリストを通じて日英両言語での情報発信を強化した。今後も、限られたリソースを効果的に活用し、留学生、特に大学院生のニーズに応えるキャリア支援プログラムをさらに充実させていく予定である。

5. インドネシア・ブラヴィジャヤ大学との学術協力協定の締結

2022年12月8日に、インドネシア・ブラヴィジャヤ大学文化学部の Hamamah 学部長、Rike Febriyanti 日本語学科講師、Wiranto Aji Dewandono 同学科講師が当センターを来訪し、日本語学科の授業への講師の派遣を含めたカリキュラム改革等への支援と学術交流協定の締結を要請した。

これを受けて、当センターではブラヴィジャヤ大学での日本語授業への派遣講師として中俣尚己准教授を選任するとともに、学術交流協定締結のための交渉を進めた。そして、2023年12月に、当センターの村岡貴子副センター長（教授）を署名者として、ブラヴィジャヤ大学文化学部との間で学術交流協定を締結した。

協定では、中俣准教授が2023年度にブラヴィジャヤ大学で授業を実施することに合意するとともに、今後、客員研究員の受入れや学生及び教員の相互交流等をはかること、博士課程プログラムでの協力を行うことなどに合意した。

この学術協力協定の締結を受けて、2023年度には中俣准教授が講師としてブラヴィジャヤ大学での「3 in 1 プログラム」における学生向けの授業と教員向けの研修を担当した。「3 in 1 プログラム」はブラヴィジャヤ大学の各学科が行う授業の1つで、ブラヴィジャヤ大学教員、インドネシア国内の実業家、そして学外の研究者という3種類の講師による連続講義のことである。

中俣准教授は「日本語教育研究」というタイトルの授業において、学生向けに3回の連続オンライン講義を行った。詳細は下記の通りである。

第1回 2023年9月4日(月) 16:20-18:00(インドネシア時間)

「日本語の研究方法① いろいろな研究テーマ」

第2回 2023年9月5日(火) 16:20-18:00(インドネシア時間)

「日本語の研究方法② コーパスの利用法：前編」

第3回 2023年9月11日(月) 16:20-18:00(インドネシア時間)

「日本語の研究方法③ コーパスの利用法：後編」

同大学の日本語学科では日本語について卒業論文を書くことが義務付けられているが、そのテーマ探し
が難航することが多いと事前の打ち合わせで相談され、「どのように日本語を研究するか」というテーマを
設定し、研究方法を紹介した。N4-N3レベルの学生がメインとのことで、内容的にはやや難しい点もあ
ったが、日本に留学経験のある大学院生が通訳をつとめてくれたため、無事に講義を終えることができた。
64名の受講登録者があり、熱心な学生からは卒論の具体的な相談も飛び出すなど盛況であった。

また、上記の講演は学生向けであり、日本語学科の教員は各日に1から2名のみの参加であった。2023
年9月16日(土) 10:00-11:30(インドネシア時間)に教員向け研修として上記3回のお話をまとめたもの
を行い、さらに日本語教育研究全般についての質疑応答も行った。

6. Project HELP! 終了について

日本人学生の英語力向上と、留学生による日本での言語ボランティア経験をセットにした Project
HELP! に関しては、既に紀要や外部の出版物などで数報の取りまとめをしている(歳岡 2016、中野・
近藤 2019、林・中野・垣塚 2024、中野・林・垣塚 2024)。そちらをご参照頂きたい。

短プロチームとしてはそれなりにリソースを投入し、また学外機関(例えば甲南学園サービス社)との
連携の鍵として活用してきた。自立運営を目指し、2018年および2019年には甲南学園サービス社、プリテ
ィッシュカウンシルと連携をし、HELP! で経験を積んだメンターを高校生対象のメンタリングに派遣する
といった工夫(HELP! プラス)を試行した。ただし、入試改革における英語外部試験の導入が見送りにな
るなど、外部状況の変化もあり、外部からの資金を導入して、SGU 終了後にも自律的に運用を続ける方向
性は、目論見通りには進まなかったのは残念である。

2023年度に経験を積んだ事務職員の退職に伴い、追加の職員の割り当てを得られず、運営実務を国際部
が国際学生交流推進課のみなさんに委ねている。事務職員の方々には八面六臂のご活躍を頂いたものの、
残念ながら2023年度一杯を持って本プログラムにはいったんの区切りをつけ、イングリッシュカフェなど
他に用意されたリソースを使って留学に向かっての日本人学生の英語力向上を図ることになった。

歳岡 牙香 (2016) 留学生とのメンタリングによる英語学習支援の試み 大阪大学高等教育研究(4)87-91

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/56233/>

中野 遼子・近藤 佐知彦 (2019) 留学生との英語学習プログラム“Project HELP!”の実践報告：アンケー
ト結果の分析を中心に 多文化社会と留学生交流：大阪大学国際教育交流センター研究論集、
2019, 23, p.35-41

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/71585/MESE_23_035.pdf

林 貴哉・中野 遼子・垣塚 保子 (2024) 交換留学のための英語学習支援：Project HELP! とタンデム学習
プロジェクトの比較から 多文化社会と留学生交流：大阪大学国際教育交流センター研究論集、
多文化社会と留学生交流：大阪大学国際教育交流センター研究論集、2024, 28, p.65-72

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/94691/mese_28_065.pdf

中野遼子・林貴哉・垣塚保子（2024）留学生との英語学習プログラム“Project HELP!”の実践報告：9年間の取り組み事例とアンケート結果の分析を中心に 多文化社会と留学生交流：大阪大学国際教育交流センター研究論集. 28, p.55-63
https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/94690/mese_28_055.pdf

7. 大阪大学におけるウクライナからの学生・研究者支援（CIEEの取り組み）

国際教育交流センターでは「大阪大学におけるウクライナからの学生・研究者支援」の方針*に基づき、令和4年度にウクライナの学生2名を受け入れ、令和5年度も引き続き教育と支援を行った。

令和4年度の受け入れ時は、ウクライナ学生支援プログラム及びその担当として受入れ委員会を立ち上げ、国際部国際学生交流課と緊密に連携しながら対応した。また本学学生の中からウクライナ学生をサポートするチューターを雇用し、来日直後は3か月、2～3名体制で、各ウクライナ学生をサポートを行う体制とした。上記期間終了後は、各学生のニーズにあわせて学生によるサポートを継続した。

令和5年度は、2名の学生ともにそれぞれの学内コミュニティが形成されていたため、チューターによるサポートは不要であった。一方、各学生ともに大学院進学を目指すなど、個別の対応が必要だと考えられたため、受入れ担当教員2名により、学生2名の個人面談を継続して実施した。面談は、それぞれの学生に対して二週間に一度程度実施した。（面談回数：合計45回；各回1時間～2時間程度）。学生へは、(1) 大学院進学準備のサポート、(2) 大学院進学のための奨学金申請準備のサポート、(3) 新生活を開始するにあたってのサポート（e.g. 引越し先の確保）、(4) 学生の日頃の精神的なケア、(5) その他必要な諸手続きのサポート、の5点を中心に提供した。

国際教育交流センターでは全学の留学生を対象とした教育とサポートを行っているが、今回のウクライナ学生のように、戦争状態にある母国から留学するという、多くの留学生とは全く異なる背景と状況に置かれた留学生を組織として受け入れたのは初めてのことだった。令和6年3月の時点において、戦争は続き大変厳しい状況は続いているが、ウクライナの学生それぞれが、大変困難な中にありながら真摯に勉学に励み、将来に向けて努力を続けた結果、それぞれが希望する大学院に進学することが決まったことは非常に喜ばしいことである。

*「大阪大学におけるウクライナからの学生・研究者支援について」 <https://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/topics/2022/04/22002>
（参照日2024年3月23日）

Ⅱ. 現 況

※国際教育交流センターの運営形態と組織については、<https://ciee.osaka-u.ac.jp/about/organization/#>をご参照ください。

1. 教員、非常勤講師、特任事務職員等

※2023年4月現在を基本とする。

センター長		有川 友子 (Ph.D、 Education)
交流アドバイジング 研究チーム	教授 准教授 特任准教授 (常勤)	有川 友子 岡本 紗知 (Ph.D、 Microbiology) 魚崎 典子 (博士 (工学))
短期プログラム開発 研究チーム	教授 准教授 特任助教 (常勤)	近藤 佐知彦 (Ph.D、 Social Science) 石倉 佑季子 (博士 (人間科学)) 井奥 智大 (博士 (人間科学))
日本語教育研究 チーム	教授・副センター長 教授 准教授 准教授 准教授 准教授 講師 特任助教 (常勤)	村岡 貴子 (博士 (言語文化学)) 義永 美央子 (博士 (言語文化学)) 大谷 晋也 (修士 (言語文化学)) 難波 康治 (教育学修士) 西村 謙一 (法学修士) 中俣 尚己 (博士 (言語文化学)) 福良 直子 (博士 (言語文化学)) 瀬井 陽子 (修士 (文学))
兼任教員	留学生 専門教育教員	東条 佳奈 (助教、人文学研究科) 安元 佐織 (講師、人間科学研究科) EL BALTI BELIGH (准教授、法学研究科) 勝又 壮太郎 (准教授、経済学研究科) 香門 悠里 (講師、理学研究科) 藤田 清士 (教授、工学研究科) 寺井 智之 (講師、工学研究科) 中橋 真穂 (助教、工学研究科) 堀 さやか (助教、工学研究科) 森川 耕輔 (講師、基礎工学研究科)
非常勤講師		YUN HYEUN、上田 安希子、上仲 淳、遠藤 知佐、角田 裕三、菅 摂子、楠田 瑛子、住吉 秀紀、竹内 茜、寺尾 彰二、畑中 香乃、半田 佳奈子、松下 恵子、宮崎 さとみ、村田 幸一、矢部 正人、山田 真知子

招へい教員	三森 八重子 中野 遼子 ユン ホスク 韓 喜善 藤原 京佳
特任事務職員	中村 久子（留学生交流情報室） 豊野 由紀子（短期チーム） 渡邊 由美子（短期チーム） 北野 智恵（サポートオフィス）
事務補佐員	垣塚 保子（短期チーム） 柏原 美佐緒（短期チーム） 吉田 恵（短期チーム） 山下 結加（サポートオフィス） 社領 久美子（日本語教育チーム） 奥村 友貴（日本語教育チーム）
留学生交流情報室 スタッフ	村田 いづみ、岸邊 典子、山岸 美穂、木場 まり、宮島 一葉

2. 今年度の動き

本年3月末をもって武庫川女子大学に転出した林貴哉特任助教（常勤）の後任として、4月に井奥智大特任助教（常勤）が着任した。

本年3月末をもって大阪樟蔭女子大学に転出した韓喜善特任講師（常勤）の後任として、5月に藤原京佳特任講師（常勤）が着任した。

魚崎典子特任准教授（常勤）は6月をもって退職し、その後任として9月に姚馨特任准教授（常勤）が着任した。

Ⅲ. 留学生対象日本語プログラム

国際教育交流センターでは、下記の表1に見るとおり、全学の留学生を対象に各種日本語プログラムを実施／提供している。学生の多様な日本語学習ニーズに応じ、総合的な日本語科目および専門日本語科目を中心に提供するプログラム内容となっている。未習者を対象とした入門レベル（100レベル）から、日本語能力試験N1相当以上の超上級レベル（700レベル）まで7段階のレベルを設定している。表1の1～5の各プログラムの時間割、および、選択コースの履修登録状況は、巻末記載の資料1、資料2に示している。

表1 全学の留学生を対象とした日本語プログラムの概要

対象留学生	プログラム名	レベル	
大学院生・研究生	国費大使館推薦	1. 留学生日本語集中コース	100～300
	全学	2. 留学生日本語選択コース	100～700
	全学	3. 学際融合教育科目*	600～700
学部留学生	一般正規生	4. 全学共通教育：第2外国語/国際教養*	700
	学部英語コース	4'. : 第1外国語*	100～600
短期留学生	5. 国際交流科目（日本語）*	100～600	

*単位あり正規科目

2023（令和5）年度の春～夏学期・秋～冬学期の履修者合計は653名（図1）で、昨年度（667名）と比べて14名減り、2%減（ほぼ横ばい）となった。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染防止への対応はなされていたものの、昨年度も一昨年度（578名）と比較して約10%増であったことから、着実に留学生の新規来日は増加を続けていると言え、履修者数はコロナ前の2019（令和元）年度の水準に近づいている。履修者身分別の分布は、短期留学生（約53%）と大学院生（約25%）の割合が高く、その二者で約8割を占める（図2）。アフターコロナの時代には、種々の短期プログラムによる学生のモビリティの活発化が予想される。さらに、2022（令和4）年度の秋冬学期からは、学期当初より、多くの授業科目で対面授業が実施されるようになってきているが、オンラインリソース活用の試みも広がっている。

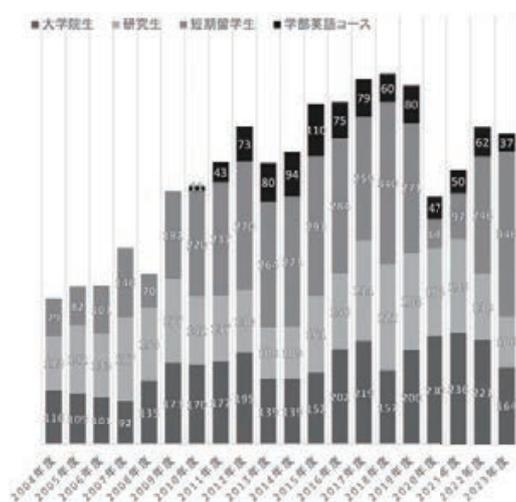


図1 年度別・身分別の履修者数の推移
（学部一般正規生（上表の4）を除く）

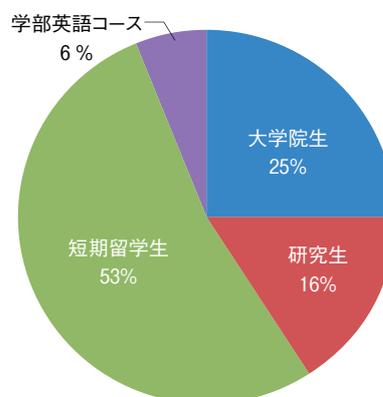


図2 2023年度履修者の身分別分布

1. 日本語集中コース

日本語集中コースは、主として本学の大学院への進学を希望する留学生を対象とした15週間の集中的な日本語予備教育コースである。日本語予備教育生（以下、学生）の大部分は、文部科学省の国費留学生（大使館推薦研究留学生および教員研修生）が占めるが、学内募集も行い、所定の選考手続きを経た上で、学内のその他の留学生（研究生、大学院生および短期留学生）も受け入れている。

なお、国費留学生の中には、他大学の大学院に進学予定の学生も数名いるが、大阪大学は近畿圏における他大学に進学するこれらの留学生を広く受け入れている。

学生は、プレースメントテストおよび面接の結果により日本語レベルが判断され、以下の通り、IJ100・IJ200・IJ300の3クラスに分かれて日本語を学ぶ。本コースの目標は、日本語能力の差異にかかわらず、日本語により専門分野のトピックについて視覚資料を活用しながら短いプレゼンテーションと質疑応答が行えるようになることである。学期末には修了発表会を実施し、各自専門分野のトピックについてプレゼンテーションを行う。この修了発表会には学生の研究指導教員を招待する他、発表準備の過程を随時指導教員に報告し、集中的な日本語学習と研究活動との接続に配慮している。また、大学での研究活動遂行に適した日本語教育を提供するために、学生のニーズや学習目的を考慮した上で大学での言語生活もトピックとした開発教材を授業で活用し、さらに改善を重ねている。

(1) IJ100

① 概要

100クラスは、コース開始時に日本語の学習経験が全く、もしくはほとんどない学生を対象として、初歩から日本語を学習する。授業時間数は1週間当たり10コマである。100クラスの学生の多くは、まったく言葉の通じない異文化の中で初めての一人暮らしを経験することになる。そのため、精神的なケアに特段の注意が求められるとともに、お互いを支え合い、言語や研究の面での成長を促すコミュニティを醸成することが重要となる。学習は「自己表現のための日本語」を習得することを中心に進められ、最終的には、教師のサポートを受けつつ自分の専門分野について簡単なプレゼンテーションをすることを目標としている。

② 時間割

第58期・第59期 日本語集中コース IJ100クラス時間割（令和5年度）

第58期（対面）

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時間目 8:50-10:20					
2時間目 10:30-12:00	講義				
3時間目 13:30-15:00	コミュニケーション 行動	コミュニケーション 行動	コミュニケーション 行動	コミュニケーション 行動	コミュニケーション 行動
4時間目 15:10-16:40		コミュニケーション 行動	コミュニケーション 行動	コミュニケーション 行動	コミュニケーション 行動

第59期（対面）

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
2時間目 10:30-12:00	コミュニケーション 行動	講義			
3時間目 13:30-15:00	コミュニケーション 行動	コミュニケーション 行動	コミュニケーション 行動	コミュニケーション 行動	コミュニケーション 行動
4時間目 15:10-16:40			コミュニケーション 行動	コミュニケーション 行動	コミュニケーション 行動
5時間目 16:50-18:20					

(2) IJ200

① 概要

200クラスは、初級修了者を対象としているが、来日前に母国で独習に近い方法で日本語を学んだ者も一部含まれ、特に口頭表現能力のレベルはかなり幅が広いクラスである。授業数は1週間あたり58期は11コマ（200クラス専用授業10コマと漢字・語彙クラス1コマ）、59期は10コマ（200クラス専用授業9コマと漢字・語彙クラス1コマ）で構成されている。漢字・語彙クラスは、漢字系か非漢字系に分かれて受講する（下記の時間割参照）。200クラス専用授業10コマの内訳は、58期は「コミュニケーション行動（4コマ）」「会話と文法（2コマ）」「読解（2コマ）」「プレゼンテーション（2コマ）」で、59期は「コミュニケーション行動（3コマ）」「会話と文法（2コマ）」「読解（2コマ）」「プレゼンテーション（2コマ）」である。いずれも、日本社会への適応と大学の研究室での研究活動を支えるための社会文化能力を獲得することを目指し、基本的にトピックシラバスによりカリキュラムを編成している。

② 時間割

第58期・第59期 日本語集中コース IJ200クラス時間割（令和5年度）

第58期（対面）

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
2時間目 10:30-12:00	漢字と語彙 JK201/JK202	文法・会話		読解	コミュニケーション 活動
3時間目 13:30-15:00	プレゼンテーション	文法・会話	読解	コミュニケーション 活動	コミュニケーション 活動
4時間目 15:10-16:40	プレゼンテーション			コミュニケーション 活動	
5時間目 16:50-18:20					

第59期（対面）

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
2時間目 10:30-12:00	漢字と語彙 JK201/JK202	文法・会話	読解	プレゼンテーション	コミュニケーション 活動
3時間目 13:30-15:00	読解	文法・会話	コミュニケーション 活動	プレゼンテーション	コミュニケーション 活動
4時間目 15:10-16:40					
5時間目 16:50-18:20					

(3) IJ300

① 概要

300クラスは、日本語を1～2年、約200～300時間程度学習した経験を持つ学生を対象としている。授業時間数は1週間当たり9コマで、「コミュニケーション行動」7コマ、「漢字と語彙」1コマ、そして個別学習指導（「チュートリアル」）1コマで構成されている。授業では、現代社会に関するいくつかのトピックおよび日本語学習者に関するストーリーを取り扱い、読解、聴解、ディスカッション、エッセイの作成を通じて中級レベルの日本語技能の習得を目指す。「漢字と語彙」では語彙を学習する。2023年度は新型コロナによる入国制限はほぼ解消されたため、すべての授業を対面で実施した。ただし、58期は、学生の一部が学期当初に渡日できなかつたため個別に対応した。59期は、学期当初からすべての学生が参加して対面で授業を実施した。また、非漢字圏出身の学生も含めてすべての受講生の日本語レベルが高かつたため、漢字授業については全員が漢字圏出身者用に設定しているクラス（漢字と語彙「JK302」）を履修した。

② 時間割

第58期・第59期 日本語集中コース IJ300 クラス時間割（令和5年度）

第58期（対面）

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時間目 8:50-10:20			漢字と語彙 非漢字系 JK301		
2時間目 10:30-12:00	漢字と語彙 漢字系 JK302		コミュニケーション 行動		
3時間目 13:30-15:00	コミュニケーション 行動	コミュニケーション 行動	コミュニケーション 行動	コミュニケーション 行動	チュートリアル
4時間目 15:10-16:40		コミュニケーション 行動		コミュニケーション 行動	

第59期（対面）

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時間目 8:50-10:20			漢字と語彙 非漢字系 JK301		
2時間目 10:30-12:00	漢字と語彙 漢字系 JK302		コミュニケーション 行動	コミュニケーション 行動	
3時間目 13:30-15:00	コミュニケーション 行動	コミュニケーション 行動	コミュニケーション 行動	コミュニケーション 行動	チュートリアル
4時間目 15:10-16:40		コミュニケーション 行動			

○コーディネータ

中俣尚己（IJ100クラス）、村岡貴子（全体・IJ200クラス）、西村謙一（IJ300クラス）

○ 学生数と身分別内訳

クラス別人数

	IJ100	IJ200	IJ300	計
第58期	9	6	6	21
第59期	9	5	5	19
合計	18	11	11	40

身分別人数

	大使館推薦※1	教員研修※2	学内応募※3	計
第58期	17	0	4	21
第59期	5	4	10	19
合計	22	4	14	40

※1 大使館推薦クラス別内訳

	IJ100	IJ200	IJ300	計
第58期	8	4	5	17
第59期	4	1	0	5
合計	12	5	5	22

※2 教員研修クラス別内訳

	IJ100	IJ200	IJ300	計
第58期	0	0	0	0
第59期	1	0	3	4
合計	1	0	3	4

※3 学内応募クラス別内訳

	IJ100	IJ200	IJ300	計
第58期	1	2	1	4
第59期	4	4	2	10
合計	5	6	3	14

教員研修生を除く、大使館推薦の配置（進学）先別内訳

	IJ100		IJ200		IJ300		計
	学内	学外	学内	学外	学内	学外	
第58期	6	2	2	2	3	2	17
第59期	4	0	1	0	0	0	5
合計	10	2	3	2	3	2	22

○学生の出身国と配置（進学）先一覧

学生の出身国

国名	第58期	第59期
アメリカ	1	
イラク		1
インド	2	2
インドネシア		2
ウガンダ	1	
ウクライナ		1
エチオピア	1	
ケニア	3	
コートジボワール	1	
スウェーデン	1	
タイ	2	2
大韓民国		1
タンザニア	1	
中国	2	7
パラグアイ	1	
バングラデシュ		1
ブータン		1
ベリーズ		1
ペルー	1	
ベネズエラ	1	
ミャンマー		
メキシコ	1	
モザンビーク	1	
モンゴル	1	
合計	21	19

配置（進学）先一覧

配置（進学）先	第58期	第59期
人文学研究科（箕面）		1
経済学研究科	2	1
理学研究科	1	1
医学系研究科	1	3
工学研究科	6	3
基礎工学研究科	1	
国際公共政策研究科	1	1
情報科学研究科		1
微生物病研究所	1	3
薬学部	1	1
レーザー科学研究所	1	
国際教育交流センター		1
大阪教育大学		3
大阪公立大学	1	
奈良先端科学技術大学院大学	5	
合計	21	19

2. 日本語選択コース

選択コースの主要な履修対象留学生は、全学の大学院生および大学院入学を希望する研究生である。これらの留学生の中には、研究活動の遂行に必要なアカデミックな日本語能力の養成を必要とする者もいれば、研究活動や大学院入試は英語で行われるが、研究室等での日常的なコミュニケーションに日本語を必要とする者もいる。そのため、日本語を用いて論文の執筆やプレゼンテーション、口頭コミュニケーションなどの研究活動をするための「専門日本語」科目に力点を置くとともに、その基礎となる「一般日本語」科目として総合日本語科目や漢字と語彙科目を開講し、学内の留学生の幅広い日本語学習ニーズに対応している。受講希望者は本センターが開発した日本語レベルチェックをウェブ上で受け、各自の日本語学習ニーズと日本語学習に充当可能な時間等を勘案し、該当日本語レベル（入門100レベルから超上級700レベルまでの7レベル）の科目群の中から、必要な科目を週当たり1～数科目選択できるように設定されている。

○開講科目

100 から 300 までの入門～中級前半レベルでは、総合日本語（JB）および漢字と語彙（JK）で構成される一般日本語科目を提供している。一方、400 以上の中級～超上級レベルでは、アカデミックな日本語をスキル（リーディング・ライティング・コミュニケーション）ごとに学ぶ専門日本語科目を提供している。

表2 2023年度選択コース授業一覧

	総合日本語 (JB)	漢字と語彙 (JK)	アカデミック リーディング	アカデミック ライティング	アカデミック コミュニケーション
100 (入門)	JB100				
200 (初級)	JB200	JK201 (非漢字系) もしくは JK202 (漢字系)			
300 (中級前半)	JB300	JK301 (非漢字系) もしくは JK302 (漢字系)			
400 (中級)				JW400/500	JC400/500
500 (中上級)					
600 (上級)			JR600/700	JW600/700	JC600/700
700 (超上級)					

○履修登録者数

実数で春～夏学期124名、秋～冬学期は128名の計252名が選択コースを履修した。身分別内訳では、研究生が105名（特別研究学生、特別聴講学生を含む）、大学院生の履修者は147名であった。2022年度と比較すると大学院生の履修者数は203名から減少、研究生も127名からやや減少している。COVID-19の影響がまだ強く残っていた2021年度・2022年度とは異なり、今年度は研究生の受入が回復したことがこの背景にあると考えられる。部局別では、工学研究科（春～夏学期45名、秋～冬学期35名）を筆頭に、15研究科／学部および4研究所2センター（巻末に一覧）と、学内の日本語学習ニーズに広く応えている。

○履修者のレベル分布

年間を通じ、初級～初中級（レベル200～300）および超上級（レベル700）の履修者が多かった。

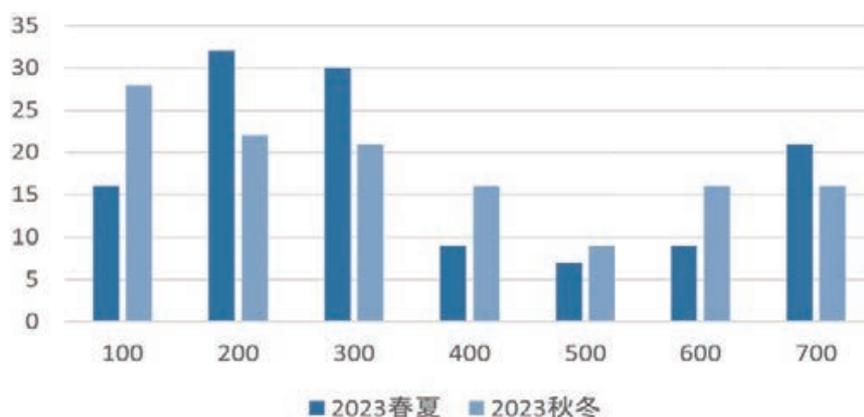


図3 レベル別の履修者数（日本語選択コース）

3. 全学共通教育

全学共通教育における日本語関係科目は、他の外国語科目と同様、2018年度以降、「第2外国語」と「グローバル理解」の科目として開講されている。学部留学生の多様なバックグラウンドやニーズを勘案した結果、科目構成は「総合日本語」「専門日本語」「多文化コミュニケーション（日本語）」の三本立てとし、前二者を「第2外国語」として、後者を「グローバル理解」として履修する位置づけとしている。「総合日本語」では大学生生活全般に役立つ日本語能力を総合的に身につけることを目指し、「専門日本語」ではより専門的な日本語能力を養成することを目指す。また、「多文化コミュニケーション（日本語）」は、留学生と一般学生が協働してプロジェクトワークに取り組むことによって、多文化間における実践的なコミュニケーション能力を養成することを目的としている。科目の設定にあたっては、各科目の性格を明確にし、学生が自分のレベルやニーズに応じて履修する科目を組み合わせることのできる柔軟性を持たせることに意を用いた。

2014年度後期（現：秋～冬学期）からは緩やかな定員制を導入し、語学教育／多文化教育として適切なクラスサイズが実現できるようにした。2016年度・2018年度・2020年度には、それまで増やしてきたコマを整理し直し、学生の受講機会の維持に配慮しつつ、受講者の少なかった授業をそれぞれ2コマ・1コマ・1コマ削減した。

以上の留学生向け科目以外に、一般学生が受講する「学問への扉（マチカネゼミ）」「アドヴァンストセミナー」（いずれも「多文化コミュニケーション（日本語）」と合同開講）を加え、2023年度には計24コマ（実質16コマ）を提供した。

なお、日本語関係科目は、他の外国語関係科目と同様、2018年度に発足したマルチリンガル教育センターが所管することとなり、授業担当者全員が当該センターの兼任教員となっている。うち2名が運営に携わった。

○マルチリンガル教育センター兼任教員

有川 友子 教 授 村岡 貴子 教 授 義永 美央子 教 授
 難波 康治 准 教 授 西村 謙一 准 教 授 石倉 佑季子 准 教 授
 岡本 紗知 准 教 授 福良 直子 講 師（マルチリンガル教育センター広報委員会委員）
 大谷 晋也 准 教 授（マルチリンガル教育センター運営委員会およびカリキュラム委員会委員）

○提供科目とコマ数

(1) 第2外国語

- 総合日本語（1単位：春～夏学期2コマ・秋～冬学期1コマ計3コマ提供）
 大学生生活全般に役立つ総合的な日本語能力の養成を目的とする。
- 専門日本語（1単位：春～夏学期2コマ・秋～冬学期3コマ計5コマ提供）
 各自の専門を学習・研究する際に役立つ日本語能力の養成を目的とする。

(2) 国際教養2

- 多文化コミュニケーション（日本語）（2単位：春～夏学期5コマ・秋～冬学期3コマ計8コマ提供）

下記(3)のセミナー科目を受講する一般学生と、本科目を受講する留学生とが、協働してプロジェクトワークを実践する活動を通じ、多文化社会でのコミュニケーション能力の向上を目指す。

(3) 学問への扉（マチカネゼミ）（春～夏学期）・アドヴァンストセミナー（秋～冬学期）

・多文化コミュニケーションセミナー（2単位：春～夏学期5コマ・秋～冬学期3コマ計8コマ提供）

上記(2)の「多文化コミュニケーション（日本語）」と合同で開講。

○共通教育提供科目・担当者一覧

春～夏学期

秋～冬学期

(1) 第2外国語

授業科目名	担当者
総合日本語	福良 直子
総合日本語	難波 康治
専門日本語	義永美央子
専門日本語	難波 康治

授業科目名	担当者
総合日本語	福良 直子
専門日本語	難波 康治
専門日本語	義永美央子
専門日本語	村岡 貴子

(2) 国際教養2

授業科目名	担当者
多文化コミュニケーション（日本語）	岡本 紗知
多文化コミュニケーション（日本語）	西村 謙一
多文化コミュニケーション（日本語）	大谷 晋也
多文化コミュニケーション（日本語）	有川 友子
多文化コミュニケーションセミナー	石倉佑季子

授業科目名	担当者
多文化コミュニケーション（日本語）	岡本 紗知
多文化コミュニケーション（日本語）	西村 謙一
多文化コミュニケーション（日本語）	大谷 晋也

(3) 学問への扉（マチカネゼミ）

授業科目名	担当者
多文化コミュニケーションセミナー	岡本 紗知
多文化コミュニケーションセミナー	西村 謙一
多文化コミュニケーションセミナー	大谷 晋也
多文化コミュニケーションセミナー	有川 友子
多文化コミュニケーションセミナー	石倉佑季子

アドヴァンストセミナー

授業科目名	担当者
多文化コミュニケーションセミナー	岡本 紗知
多文化コミュニケーションセミナー	西村 謙一
多文化コミュニケーションセミナー	大谷 晋也

4. 国際交流科目

本学では、英語（もしくはその他の外国語）で実施する正規科目として国際交流科目を提供している。国際教育交流センターでは、同科目の枠組みで、短期留学生や大学院生を主な対象とする日本語科目（JA）およびグローバル理解演習科目（JGU）を提供している。これらの授業は、インターナショナルカレッジ（英語コース）学生のための共通教育日本語科目との同時開講の形で実施している。JAの各クラスでは、90分の授業が週に3コマ提供され、話す・聞く・読む・書くの各技能が総合的に習得できるようなカリキュラムを編成し、100（入門）から400（中級）の4レベルで各2トラック（秋～冬学期のJA100は4トラック）を開講した。トラック1は主としてiExPO等の短期留学生および大学院生、トラック2は主としてOUSSEP学生が受講している（秋～冬学期は短期留学生激増により大学院生の履修はJGUに限った）。どのレベルでも常勤教員が担当する授業（lecture）は複数トラックの合同クラスとして開講し、トラック間の交流を図るとともに、限られた人員・予算の中で学生数の増加に対応するよう努めている。また500レベル・600レベルの授業は内容・言語統合型学習（CLIL）を取り入れた「グローバル理解演習（JGU500・600）」という名称で実施している。

○提供科目と担当者一覧

春～夏学期		秋～冬学期	
授業科目名	担当者	授業科目名	担当者
JA100 トラック1	難波康治・住吉秀紀	JA100 トラック1	難波康治・住吉秀紀
JA100 トラック2	難波康治・上仲 淳・松下恵子	JA100 トラック2	難波康治・藤原京佳
JA200 トラック1	大谷晋也・矢部正人・寺尾彰二	JA100 トラック3	難波康治・安部陽子・松下恵子
JA200 トラック2	大谷晋也・半田佳奈子	JA100 トラック4	難波康治・稲垣理香・安部陽子
JA300 トラック1	中俣尚己・村田幸一・上田安希子	JA200 トラック1	大谷晋也・角田裕三・矢部正人
JA300 トラック2	中俣尚己・住吉秀紀・宮崎さとみ	JA200 トラック2	大谷晋也・尹 恵彦
JA400 トラック1	義永美央子・宮崎さとみ・尹 恵彦	JA300 トラック1	中俣尚己・住吉秀紀・上田安希子
JA400 トラック2	義永美央子・矢部正人・寺尾彰二	JA300 トラック2	中俣尚己・上田安希子・宮崎さとみ
JGU500-e	山田真知子	JA400 トラック1	義永美央子・宮崎さとみ・上仲 淳
JGU500-f	中俣尚己	JA400 トラック2	義永美央子・矢部正人
JGU600-e	大谷晋也	JGU500-a	藤原京佳
JGU600-f	矢部正人	JGU500-b	藤澤好恵
		JGU500-c	中俣尚己
		JGU600-a	松下恵子
		JGU600-b	大谷晋也

5. 学際融合教育科目

本学の大学院教育では、研究科等の枠にとらわれない、複眼的視野を養うための教育の充実を目指す学際融合教育科目が提供されている。大学院に在籍する留学生の増加に伴い、研究活動の遂行のために必要なアカデミックな日本語能力の必要性が高まっているが、本センターではこのようなニーズに対応するため、「上級専門日本語アカデミック・リーディング A・B」「上級専門日本語アカデミック・ライティング A・B」「上級専門日本語アカデミック・コミュニケーション A・B」の3科目を学際融合教育科目として提供している。さらに、自律的な研究者としての姿勢を涵養することを目的とした「研究活動に必要な日本語による音声・書記言語コミュニケーションの世界」(春～夏学期)や、自律的な言語学習およびその支援をテーマとする「第二言語学習方法論」(春～夏学期)・「言語学習アドバイジング入門」(秋～冬学期)、職業キャリア形成能力の養成を目的とした「ICTを活用した留学生のためのキャリアデザイン」(春学期)も開講している。各科目を履修し、所定の評価を得た受講生は1科目あたり2単位を取得することができる。これらの科目では、理系・文系を問わず、さまざまな国・地域からの留学生が集まる環境を生かし、言語・文化や専門分野を超えた対話や学びの場を提供するように努めている。学期ごとの開講科目名および担当者は下記の通りである。

○学際融合教育科目・担当者一覧

春～夏学期		秋～冬学期	
授業科目名	担当者	授業科目名	担当者
上級専門日本語 (アカデミック・リーディング) A	西村 謙一	上級専門日本語 (アカデミック・リーディング) B	西村 謙一
上級専門日本語 (アカデミック・ライティング) A	村岡 貴子	上級専門日本語 (アカデミック・ライティング) B	村岡 貴子
上級専門日本語 (アカデミック・コミュニケーション) A	瀬井 陽子	上級専門日本語 (アカデミック・コミュニケーション) B	瀬井 陽子
ICTを利用した留学生のためのキャリアデザイン*	魚崎 典子	言語学習アドバイジング入門	義永美央子
第二言語学習方法論	義永美央子		
研究活動に必要な日本語による音声・書記言語コミュニケーションの世界	村岡 貴子		

*春学期開講科目

6. その他

(a) OU マルチリンガルプラザ

国際教育交流センターでは、課外の自立的な日本語学習のサポートを行うセルフアクセスラーニングセンター「OU マルチリンガルプラザ」と日本語学習支援のためのポータルサイト「OU 日本語ひろば」を開設・運用している（OU マルチリンガルプラザの実施主体はマルチリンガル教育センターであるが、国際教育交流センターはその準備段階から企画に関与し、開設後は日本語学習支援の部分を担当している）。令和5年度に「OU マルチリンガルプラザ」で実施したサポート概要は以下の通りである。

【サポート概要】

(1) 日本語学習アドバイジング

日本語の学習方法、学習教材、進め方などについて日本語学習アドバイザーに相談ができる。40分のセッション。豊中キャンパスでの対面またはオンライン（Zoom）で実施。

(2) 会話練習パートナーとのセッション

会話練習パートナーである TA（ティーチングアシスタント）と20分間、1対1 または1対2 で進める会話セッション。豊中キャンパスでの対面またはオンライン（Zoom）で実施。

(3) 言語学習ポートフォリオを使ったワークショップ

「大阪大学言語学習ポートフォリオ」を使い、日本語学習アドバイザー、日本語を学ぶ仲間との活動を通して、自己主導型を進めるワークショップ。豊中キャンパスで対面実施。秋冬学期は（5）の TA イベントにて実施した。

(4) 日本語チュータリング

チューターである大学院生の TA がよりよい日本語の文章（レポート、論文、原稿などが対象）を書くためにサポートをする30分のセッション。オンライン（Zoom）で実施。

(5) TA の企画によるイベント

TA が企画・進行する日本語交流イベント。トピック会話や語彙を増やす活動を豊中キャンパスで対面実施。

(6) OMPIC サロン

参加者が好きな時に来室して自由に話すグループ会話。吹田キャンパス分室で実施。



写真1 会話パートナーとのセッションの様子



写真2 OMPIC サロンの様子

【参加者数の推移】

表1はOUマルチリンガルプラザのサポートを開始した令和2年秋冬学期からの内容別の参加者数である。

表1 学期ごとの参加者数

	会話練習	アドバイジング	ワークショップ	チュータリング	TA イベント	サロン	合計
R2 秋冬	64	10	—	—	—	—	74
R3 春夏	62	7	22	23	20	—	134
R3 秋冬	35	10	29	25	8	—	107
R4 春夏	43	19	6	20	7	37	132
R4 秋冬	37	17	4	24	14	44	140
R5 春夏	53	14	7	23	2	33	132
R5 秋冬	52	21	—*	26	20	43	162

※ R5 秋冬学期は春夏学期の様子を踏まえ、ワークショップと TA イベントを統合した形式で実施した。

【所属別参加者内訳】

表2はサポート別に参加者の所属を示したもので、表3は参加者を学生身分別にしたものである。日本語チュータリングは、日本語で論文執筆を行う人文学研究科の大学院生の参加が多く、日本語サロンは吹田キャンパスの歯学研究科はじめ理系の研究科からの参加が多かった。会話練習はセッションの数が多く、オンラインでの実施もあることから、様々な研究科、学部からの参加があった。

表2 サービスごとの参加者所属内訳

所属 ^{*1}	内訳						合計
	会話練習	アドバイ ジング	ワーク ショップ	チュータ リング	TA イベント	サロン	
人文学研究科 / 外国語学部	23	2	6	48		3	82
人間科学研究科 / 人間科学部	2					2	4
法学研究科	1					3	4
経済学研究科 / 経済学部	28	1				7	36
理学研究科	3	9					12
医学系研究科		1		1		1	3
歯学研究科		1				35	36
工学研究科	8	6				4	18
基礎工学研究科	1		1			3	5
国際公共政策研究科	34						34
情報科学研究科						1	1
生命機能研究科						2	2
連合小児発達学研究科						1	1
産業科学研究所		4					4
社会経済研究所						1	1
レーザー科学研究所		2					2
日本語日本文化教育センター	1						1
国際教育交流センター	3	9			22	7	41
その他	1					6	7
計	105	35	7	49	22	76	294

※1 学部生の参加があった5部局のみ、研究科と学部名を併記した

表3は、参加者の学生身分別の内訳である。参加者の3分の2を大学院生が占めていることがわかる。

表3 参加者数の学生身分別内訳

所属	学生身分別内訳					合計
	学部生	大学院生	研究生	特別聴講学生	研究員	
人文学研究科 / 外国語学部	2	72	8			82
人間科学研究科 / 人間科学部	1	3				4
法学研究科	3	1				4
経済学研究科 / 経済学部	4	28	2		2	36
理学研究科		12				12
医学系研究科		3				3
歯学研究科		32			4	36
工学研究科		12	2		4	18
基礎工学研究科		2			3	5
国際公共政策研究科		24	10			34
情報科学研究科		1				1
生命機能研究科		2				2
連合小児発達学研究科		1				1
産業科学研究所					4	4
社会経済研究所					1	1
レーザー科学研究所			2			2
日本語日本文化教育センター				1		1
国際教育交流センター				41		41
その他		6			1	7
計	10	199	24	42	19	294

なお、上記以外に33名の見学・自習利用者があった。

【アンケート結果】

アンケートの結果は「サービスに参加することで目標が達成できたと思うか」に対し「できた」が91%、「ややできた」が9%という結果であった。自由記述のコメントは以下の通りである。

- 部局の国際交流室に広報してくれるとより多くの人に伝わると思う。
- Waiting room に10分ぐらい待っていた。^{*2}
- 日本語の文法とか単語の修正をしてほしい。
- 色々お話することができました。ありがとうございました。
- Both of my teachers were very kind and helpful - I learned a lot from them. My Japanese definitely improved a lot, and I always enjoyed every session. 日本語で色々な話ができ、本当に感謝しています。ありがとうございました。
- Feel good
- ありがとうございました。(4件)
- 本当にありがとうございました。(4件)
- いつもありがとうございます。(4件)

*2 運営スタッフのミーティングで確認したところ、Zoomの待機室に長時間待たせる等のトラブルは確認されなかったため、開始時間より早く待機室に入っていた参加者の声であった可能性が高い。

(b) OU 日本語ひろば

日本語を学ぶ学生をウェブサイトという形で日本語学習を支援するのが「OU 日本語ひろば」である。ウェブサイトの構成は「日本語の授業を受けたい」「仲間と学びたい」「教材や学習方法を知りたい」の3部となっており、日本語、英語、中国語の3言語に対応している。日本語学習に関する情報発信の役割を担い、学内・学外の日本語教室の紹介、学習リソースや学習方法の紹介を行っている。

令和5（2023）年度も、大阪大学で日本語を学ぶ学習者向けのポータルサイトとして、引き続き学内・学外の日本語教室に関する情報の更新、言語教育を専門とする大学院生や日本語学習に取り組む留学生による学習コラムの掲載を行った。



写真3 OU日本語ひろばのページ



写真4 OUマルチリンガルプラザのポスター

IV. 国際教養・専門複合型プログラム

国際教養・専門複合型プログラム（英語名 OUSSEP）は、大阪大学短期留学特別プログラムとして運用を開始された1996年以来、国際交流委員会が管掌する本学の交換留学プログラムの中核として令和5年度春学期に97名、秋学期には143名の交換留学生を受け入れた。新型コロナウイルス感染症の蔓延により一時期交換留学生数が減少したが、アフターコロナになり留学への需要が高まり、交換留学生が本年度は倍増した。

プログラム修了要件として、OUSSEP用に用意された国際交流科目から14単位（ただしうち二単位については OUSSEP 科目外からでも可）の取得をするとともに、令和3年度からは「研修旅行参加」を修了要件に加えている。

なお、数多くの学生を受け入れる JYA として、すべての参加者の学問的専門性について満たすことが難しいため、プログラム独自の工夫として自主研究などの科目を用意してきた。方向性を変えて令和3年からは「インターンシップ科目」を国際交流科目のひとつに加え、学外機関での週一日の無給インターンシップ、一学期あたり15回の教育的実践活動に対し4単位を与えることにした。こうして外部機関と連携したプログラム運営についても道を開いている。

なおおむね10年近くにわたってプログラム独自に宿舍運営を行ってきた。しかし留学生宿舍充実策として「グローバルビレッジ津雲台」が大学によって供用開始されるのにあわせ、短プロチームによる「UR都市機構青山台団地」における借上宿舍の運営を停止し、借り上げを解消している。短プロチーム内で借上宿舍運用に当たってきた人的リソースは、上記インターンシップ科目運営に振り向けることになった。

また OUSSEP 向け英語授業担当者を対象とした FD 研修会を各学期授業前に開催し、英語授業の質の向上やノウハウの継承に努めている。また平成30年度末には10年単位で集めてきた授業アンケートデータを分析に取りかかり、その分析の成果については査読付きジャーナルへの発表を行った（中野遼子、伊藤駿、近藤佐知彦、2022）。

1. 行事

OUSSEP および国際交流科目関係の行事（2023年4月から2024年3月まで）

月	日	曜日	行 事 等
3	29	水	総合オリエンテーション・OUSSEP Registration オリエンテーション
4	3	月	2023春夏学期 OUSSEP オリエンテーション
	4	火	国際交流科目他全科目履修登録締切
	10	月	国際交流科目（2023度春・夏学期）開始
	10-13日の間		学生定期健康診断（豊中キャンパス）
	17	月	国際交流科目（2023年度春・夏学期）追加履修科目登録締切
			自主研究 Registration & Study Plan Form 提出締切
	20-27日の平日		学生定期健康診断（吹田キャンパス）
28	金	国際交流科目（2023度春・夏学期）履修登録変更届提出締切	
5	9	火	交換留学生・日本人学生交流会
6	30	金	2024秋冬学期履修登録締切
7	14	金	研修旅行（高野山）グループA 1日目
	15	土	研修旅行（高野山）グループA 2日目 グループB 1日目
	16	日	研修旅行（高野山）グループB 2日目
			日本食文化調理体験（宇治金時）（未実施） フェアウェルパーティ（未実施）
8	8	火	国際交流科目（2023年度 春・夏学期）終了
	9	水	夏季休業開始 終了学生随時帰国
9	5	水	総合オリエンテーション
	29	木	2023秋冬学期 OUSSEP オリエンテーション
10	1	土	国際交流科目（2023度秋冬学期）開始
	16	月	自主研究履修届締切
	11-13		秋季学生定期健康診断
	23	月	国際交流科目（2023度秋冬学期）履修登録変更届提出締切
11	14	火	交換留学交流イベント
12	10	日	広島研修旅行 被爆者講和
			日本食文化調理体験（お好み焼き）（未実施）
1			フェアウェルパーティ（未実施）
2	8	木	国際交流科目（2023年度 秋冬学期）終了
	9	金	春季休業開始 終了学生随時帰国

2. 2023年度春夏学期：OUSSEP 学生名簿と国際交流科目開講リスト

2023年度春夏学期 OUSSEP 学生名簿

No.	国籍 / 地域	出身校名	所属名
1	アメリカ合衆国	ジョージア大学	国際教育交流センター
2	アメリカ合衆国	ジョージア大学	国際教育交流センター
3	アメリカ合衆国	ジョージア大学	国際教育交流センター
4	アメリカ合衆国	バドュー大学	国際教育交流センター
5	アメリカ合衆国	バドュー大学	国際教育交流センター
6	アメリカ合衆国	バドュー大学	国際教育交流センター
7	アメリカ合衆国	バドュー大学	国際教育交流センター
8	アメリカ合衆国	オレゴン大学	国際教育交流センター
9	アメリカ合衆国	トロント大学	国際教育交流センター
10	インドネシア	インドネシア大学	国際教育交流センター
11	インドネシア	バンドン工科大学	国際教育交流センター
12	オーストラリア	アデレード大学	国際教育交流センター
13	オーストラリア	オーストラリア国立大学	国際教育交流センター
14	オーストラリア	モナシュ大学	国際教育交流センター
15	オーストラリア	モナシュ大学	国際教育交流センター
16	オーストリア	ミュンヘン工科大学	国際教育交流センター
17	カナダ	ブリティッシュ・コロンビア大学	国際教育交流センター
18	カナダ	ブリティッシュ・コロンビア大学	国際教育交流センター
19	カナダ	ブリティッシュ・コロンビア大学	国際教育交流センター
20	カナダ	マックマスター大学	国際教育交流センター
21	カナダ	マックマスター大学	国際教育交流センター
22	カナダ	マックマスター大学	国際教育交流センター
23	韓国	釜山大学校	国際教育交流センター
24	韓国	漢陽大学校	国際教育交流センター
25	韓国	漢陽大学校	国際教育交流センター
26	韓国	忠南大学校	国際教育交流センター
27	シンガポール	シンガポール国立大学	国際教育交流センター
28	シンガポール	シンガポール国立大学	国際教育交流センター
29	シンガポール	シンガポール国立大学	国際教育交流センター
30	スウェーデン	スウェーデン王立工科大学	国際教育交流センター
31	スウェーデン	スウェーデン王立工科大学	国際教育交流センター
32	スペイン	ソルボンヌ大学	国際教育交流センター
33	スペイン	マドリード自治大学	国際教育交流センター
34	スペイン	マドリード自治大学	国際教育交流センター
35	スペイン	マドリード自治大学	国際教育交流センター
36	タイ	マヒドン大学	国際教育交流センター

No.	国籍 / 地域	出身校名	所属名
37	タイ	マヒドン大学	国際教育交流センター
38	チェコ共和国	リーズ大学	国際教育交流センター
39	中国	アデレード大学	国際教育交流センター
40	中国	香港大学	国際教育交流センター
41	中国	香港中文大学	国際教育交流センター
42	中国	上海交通大学	国際教育交流センター
43	中国	上海交通大学	国際教育交流センター
44	中国	西安交通大学	国際教育交流センター
45	デンマーク	コペンハーゲン大学	国際教育交流センター
46	デンマーク	コペンハーゲン大学	国際教育交流センター
47	デンマーク	デンマーク大学	国際教育交流センター
48	デンマーク	南デンマーク大学	国際教育交流センター
49	ドイツ	アーヘン工科大学	国際教育交流センター
50	ドイツ	エアランゲン・ニュルンベルク・フリードリヒ・アレクサンダー大学	国際教育交流センター
51	ドイツ	ゲッティンゲン大学	国際教育交流センター
52	ドイツ	ハイデルベルク大学	国際教育交流センター
53	ドイツ	ハノーバー大学	国際教育交流センター
54	ドイツ	ビーレフェルト大学	国際教育交流センター
55	ドイツ	ビーレフェルト大学	国際教育交流センター
56	ドイツ	ベルリン工科大学	国際教育交流センター
57	ドイツ	ミュンヘン工科大学	国際教育交流センター
58	ドイツ	ミュンヘン工科大学	国際教育交流センター
59	ドイツ	ヨハン・ヴォルフガング・ゲーテ大学フランクフルト・アム・マイン	国際教育交流センター
60	日本	オレゴン大学	国際教育交流センター
61	日本	リーズ大学	国際教育交流センター
62	フィリピン	アテネオ・デ・マニラ大学	国際教育交流センター
63	フィリピン	アテネオ・デ・マニラ大学	国際教育交流センター
64	フィンランド	オーボアカデミー大学	国際教育交流センター
65	フランス	グルノーブル・アルプ大学	国際教育交流センター
66	フランス	ストラスブール大学	国際教育交流センター
67	フランス	ストラスブール大学	国際教育交流センター
68	フランス	ストラスブール大学	国際教育交流センター
69	フランス	ストラスブール大学	国際教育交流センター
70	フランス	ソルボンヌ大学	国際教育交流センター
71	フランス	ボルドー大学	国際教育交流センター
72	フランス	ボルドー大学	国際教育交流センター
73	フランス	ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン	国際教育交流センター
74	フランス	リール政治学院	国際教育交流センター
75	フランス	リール政治学院	国際教育交流センター

No.	国籍 / 地域	出身校名	所属名
76	ブルネイ	ブルネイ・ダルサラーム大学	国際教育交流センター
77	ブルネイ	ブルネイ・ダルサラーム大学	国際教育交流センター
78	ブルネイ	ブルネイ・ダルサラーム大学	国際教育交流センター
79	ベルー	ローマ教皇庁立ベルー・カトリック大学	国際教育交流センター
80	香港	香港科技大学	国際教育交流センター
81	香港	香港科技大学	国際教育交流センター
82	香港	香港大学	国際教育交流センター
83	香港	香港大学	国際教育交流センター
84	香港	香港大学	国際教育交流センター
85	香港	香港中文大学	国際教育交流センター
86	メキシコ	メキシコ国立自治大学	国際教育交流センター
87	メキシコ	メキシコ国立自治大学	国際教育交流センター
88	ルーマニア	ヨハン・ヴォルフガング・ゲーテ大学フランクフルト・アム・マイン	国際教育交流センター
89	ロシア	サンクトペテルブルク大学	国際教育交流センター
90	ロシア	サンクトペテルブルク大学	国際教育交流センター
91	英国	リーズ大学	国際教育交流センター
92	英国	ダーラム大学	国際教育交流センター
93	英国	ダーラム大学	国際教育交流センター
94	英国	ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン	国際教育交流センター
95	英国	リーズ大学	国際教育交流センター
96	台湾	国立台湾大学（工学院と電気情報学院）	国際教育交流センター
97	台湾	国立陽明交通大学	国際教育交流センター

2023年度春夏学期 国際交流科目開講リスト

No.	科目名 (和文)	科目名 (英文)	科目提供部局	主担当教員名
1	哲学的思考と日本の伝統	Philosophical Thinking and Japanese Traditions	文学研究科	舟場 保之
2	近代日本文学における大阪	Osaka in Modern Japanese Literature	人文学研究科	村上スミス・アンドリュ リュー
3	ジェンダー論	Gender Studies	人間科学部 (G30)	Paola Cavaliere
4	文化人類学入門	Introduction to Cultural Anthropology	人間科学部 (G30)	Mohacsi Gergely
5	知覚と認知の心理学	Psychology of Perception and Cognition	人間科学部 (G30)	森川 和則
6	多文化共生論	Seminar in Mutcultural Studies	人間科学部 (G30)	Kim Mawer
7	Academic Presentaion Course	Academic Presentaion Course	外国語学部	GREENING NEVILLE KAURI
8	日本法入門	Introduction to Japanese Law Topics in Japanese Law	法学研究科	Elbalti Beligh
9	比較法入門	Introduction to Comparative Law Topics in Comparative Law	法学研究科	Elbalti Beligh
10	イスラーム家族法	Islamic Family Law	法学研究科	Elbalti Beligh
11	身の回りの化学	Chemistry and Human Life	理学研究科	梶原 康宏
12	我が国の保健サービスと医療ケア	Health Service and Medical Care in Japan	医学系研究科 (医医)	祖父江 友孝
13	地球総合工学入門	Introduction to Global Architecture	工学研究科	飯島 一博 大沢 直樹
14	触媒化学入門	Introduction to Catalytic Chemistry	基礎工学研究科	水垣 共雄
15	UC Frontier Science I	UC Frontier Science I	大阪大学とカリフォル ニア大学との学術交流 推進室	John Hampton INO
16	科学英語入門	Introduction to Scientific English	国際教育交流センター	岡本 紗知
17	イノベーションの管理と変遷	Managing Innovation and Change	国際教育交流センター	近藤 佐知彦
18	日本の社会とイデオロギー	Japan; Society and Ideology	国際教育交流センター	近藤 佐知彦
19	日本における大学の国際化	Internationalization of Higher Education in Japan	国際教育交流センター	石倉 佑季子
20	オンライン・リソースを活用したL2 学習	Second Language Learning with Online Resources	国際教育交流センター	魚崎 典子
21	総合日本語 JA100	Japanese JA 100	国際教育交流センター	難波 康治
22	総合日本語 JA200	Japanese JA200	国際教育交流センター	大谷 晋也
23	総合日本語 JA300	Japanese JA300	国際教育交流センター	中俣 尚己
24	総合日本語 JA400	Japanese JA400	国際教育交流センター	義永 美央子
25	日本語・グローバル理解演習 JGU500e	Seminar in Japanese and global under- standing JGU500e	国際教育交流センター	山田 真知子
26	日本語・グローバル理解演習 JGU500f	Seminar in Japanese and global under- standing JGU500f	国際教育交流センター	中俣 尚己
27	日本語・グローバル理解演習 JGU600e	Seminar in Japanese and global under- standing JGU600e	国際教育交流センター	大谷 晋也
28	日本語・グローバル理解演習 JGU600f	Seminar in Japanese and global under- standing JGU600f	国際教育交流センター	矢部 正人

No.	科目名 (和文)	科目名 (英文)	科目提供部局	主担当教員名
29	自主研究 A 自主研究 B 自主研究 C	Independent Study A Independent Study B Independent Study C		各自主研究担当教員
30	インターンシップ実習 (春夏) -コース2 インターンシップ実習 (春夏) コース3-B インターンシップ実習 (春夏) コース3-C	Internship Course (Spring & Summer)- Course2 Internship Course (Spring & Summer)- Course3-B Internship Course (Spring & Summer)- Course3-C	国際教育交流センター	近藤 佐知彦

2023 春夏学期 国際交流特別講義開講リスト

No.	科目名 (和文)	科目名 (英文)	科目提供部局	主担当教員名
1	デザイン学—創造的プロセスと方法論	Design Studies — Creative Process and Methods	CO デザインセンター	イステッキ ジハンギル
2	倫理的・再生的都市	Ethical and Regenerative Cities	CO デザインセンター	ブレンダン・F.D.・バレット
3	科学と研究の効果的なコミュニケーション	Effectively Communicating Your Science & Research	CO デザインセンター	ブレンダン・F.D.・バレット
4	特別なトピックス・イン・デザイン	Special Topics in Design	CO デザインセンター	イステッキ ジハンギル
5	Osaka University Anniversary Lecture_SS	Osaka University Anniversary Lecture_SS	大阪大学周年事業 オンライン特別講義	藤田 清士
6	国際交流特別講義3 (知能と学習)	International Exchange Special Lecture 3 (Intelligence and Learning)	情報科学研究科	沼尾 正行
7	国際交流特別講義3 (ビッグデータ工学)	International Exchange Special Lecture 3 (Big Data Engineering)	情報科学研究科	鬼塚 真
8	国際交流特別講義2 (国際ナノ理工学特論 A)	International Exchange Special Lecture 2 (International Exchange Lecture on Nanoscience and Nanoengineering A)	基礎工学研究科	宮坂 博
9	国際交流特別講義2 (国際ナノ理工学特論 B)	International Exchange Special Lecture 2 (International Exchange Lecture on Nanoscience and Nanoengineering B)	基礎工学研究科	宮坂 博
10	国際交流特別講義2 (国際ナノ理工学特論 C)	International Exchange Special Lecture 2 (International Exchange Lecture on Nanoscience and Nanoengineering C)	基礎工学研究科	宮坂 博
11	国際交流特別講義2 (創薬化学特別講義)	International Exchange Special Lecture 2 (Pharmaceutical Chemistry Special Lecture)	薬学研究科	荒井 雅吉
12	国際交流特別講義2 (Current Topics 1)	International Exchange Special Lecture 2 (Current Topics 1)	薬学研究科	吉田 卓也
13	国際交流特別講義2 (Current Topics 2)	International Exchange Special Lecture 2 (Current Topics 2)	薬学研究科	中川 晋作
14	国際交流特別講義2 (Current Topics 3)	International Exchange Special Lecture 2 (Current Topics 3)	薬学研究科	深田 宗一朗
15	国際交流特別講義2 (Current Topics 4)	International Exchange Special Lecture 2 (Current Topics 4)	薬学研究科	辻川 和丈

3. 2023年度秋冬学期：OUSSEP 学生名簿と国際交流科目開講リスト

2023年度秋冬学期 OUSSEP 学生名簿

No.	国籍 / 地域	出身校名	所属名
1	アイルランド	グローニンゲン大学	国際教育交流センター
2	アメリカ合衆国	オレゴン大学	国際教育交流センター
3	イスラエル	ヘブライ大学	国際教育交流センター
4	イスラエル	ヘブライ大学	国際教育交流センター
5	イスラエル	ヘブライ大学	国際教育交流センター
6	イスラエル	ヘブライ大学	国際教育交流センター
7	イタリア	グローニンゲン大学	国際教育交流センター
8	インドネシア	インドネシア大学	国際教育交流センター
9	インドネシア	ガジャマダ大学	国際教育交流センター
10	インドネシア	グローニンゲン大学	国際教育交流センター
11	ウクライナ	サンクトペテルブルク大学	国際教育交流センター
12	オーストラリア	クイーンズランド大学	国際教育交流センター
13	オーストラリア	アデレード大学	国際教育交流センター
14	オーストラリア	アデレード大学	国際教育交流センター
15	オーストラリア	モナシュ大学	国際教育交流センター
16	オーストラリア	モナシュ大学	国際教育交流センター
17	オーストラリア	オーストラリア国立大学	国際教育交流センター
18	オーストリア	ウィーン大学	国際教育交流センター
19	オーストリア	ウィーン大学	国際教育交流センター
20	オランダ	グローニンゲン大学	国際教育交流センター
21	オランダ	グローニンゲン大学	国際教育交流センター
22	オランダ	グローニンゲン大学	国際教育交流センター
23	オランダ	グローニンゲン大学	国際教育交流センター
24	オランダ	デルフト工科大学	国際教育交流センター
25	オランダ	デルフト工科大学	国際教育交流センター
26	オランダ	デルフト工科大学	国際教育交流センター
27	オランダ	デルフト工科大学	国際教育交流センター
28	カザフスタン	サンクトペテルブルク大学	国際教育交流センター
29	カナダ	ブリティッシュ・コロンビア大学	国際教育交流センター
30	カナダ	ブリティッシュ・コロンビア大学	国際教育交流センター
31	カナダ	ブリティッシュ・コロンビア大学	国際教育交流センター
32	韓国	忠南大学校	国際教育交流センター
33	シンガポール	シンガポール国立大学	国際教育交流センター
34	スペイン	マドリード自治大学	国際教育交流センター
35	スペイン	マドリード自治大学	国際教育交流センター
36	スペイン	マドリード自治大学	国際教育交流センター
37	スペイン	マドリード自治大学	国際教育交流センター
38	スロバキア	エトヴェシュ・ロラード大学	国際教育交流センター
39	セルビア	ヘブライ大学	国際教育交流センター
40	チェコ	グローニンゲン大学	国際教育交流センター
41	中国	アデレード大学	国際教育交流センター
42	デンマーク	コペンハーゲン大学	国際教育交流センター
43	デンマーク	コペンハーゲン大学	国際教育交流センター

No.	国籍 / 地域	出身校名	所属名
44	デンマーク	南デンマーク大学	国際教育交流センター
45	デンマーク	南デンマーク大学	国際教育交流センター
46	デンマーク	南デンマーク大学	国際教育交流センター
47	ドイツ	アーヘン工科大学	国際教育交流センター
48	ドイツ	アーヘン工科大学	国際教育交流センター
49	ドイツ	アーヘン工科大学	国際教育交流センター
50	ドイツ	アウクスブルク大学	国際教育交流センター
51	ドイツ	アウクスブルク大学	国際教育交流センター
52	ドイツ	アウクスブルク大学	国際教育交流センター
53	ドイツ	アウクスブルク大学	国際教育交流センター
54	ドイツ	アウクスブルク大学	国際教育交流センター
55	ドイツ	エアランゲン・ニュルンベルク・フリードリヒ・アレクサンダー大学	国際教育交流センター
56	ドイツ	カールスルーエ工科大学	国際教育交流センター
57	ドイツ	カールスルーエ工科大学	国際教育交流センター
58	ドイツ	グローニンゲン大学	国際教育交流センター
59	ドイツ	グローニンゲン大学	国際教育交流センター
60	ドイツ	デュッセルドルフ大学	国際教育交流センター
61	ドイツ	デュッセルドルフ大学	国際教育交流センター
62	ドイツ	ハイデルベルク大学	国際教育交流センター
63	ドイツ	ハイデルベルク大学	国際教育交流センター
64	ドイツ	ハイデルベルク大学	国際教育交流センター
65	ドイツ	ハンブルク大学	国際教育交流センター
66	ドイツ	ハンブルク大学	国際教育交流センター
67	ドイツ	ビーレフェルト大学	国際教育交流センター
68	ドイツ	ベルリン工科大学	国際教育交流センター
69	ドイツ	ベルリン工科大学	国際教育交流センター
70	ドイツ	ベルリン工科大学	国際教育交流センター
71	ドイツ	ベルリン工科大学	国際教育交流センター
72	ドイツ	ミュンヘン工科大学	国際教育交流センター
73	ドイツ	ミュンヘン工科大学	国際教育交流センター
74	ドイツ	ミュンヘン工科大学	国際教育交流センター
75	ドイツ	ミュンヘン工科大学	国際教育交流センター
76	ドイツ	ミュンヘンルートヴィヒ・マクシミリアン大学	国際教育交流センター
77	ドイツ	ミュンヘンルートヴィヒ・マクシミリアン大学	国際教育交流センター
78	ドイツ	ミュンヘンルートヴィヒ・マクシミリアン大学	国際教育交流センター
79	ドイツ	ヨハン・ヴォルフガング・ゲーテ大学フランクフルト・アム・マイン	国際教育交流センター
80	ドイツ	ヨハン・ヴォルフガング・ゲーテ大学フランクフルト・アム・マイン	国際教育交流センター
81	ドイツ	ヨハン・ヴォルフガング・ゲーテ大学フランクフルト・アム・マイン	国際教育交流センター
82	ドイツ	ルール・ボーフム大学	国際教育交流センター
83	日本	ブリティッシュ・コロンビア大学	国際教育交流センター
84	日本	ハンブルク大学	国際教育交流センター
85	日本	デルフト工科大学	国際教育交流センター
86	バーレーン	パリ政治学院 (シアンスポ)	国際教育交流センター
87	フィンランド	オーボアカデミー大学	国際教育交流センター
88	フィンランド	オーボアカデミー大学	国際教育交流センター
89	フィンランド	ヘルシンキ大学	国際教育交流センター
90	フィンランド	ヘルシンキ大学	国際教育交流センター

No.	国籍 / 地域	出身校名	所属名
91	フランス	エクス・マルセイユ大学	国際教育交流センター
92	フランス	エクス・マルセイユ大学	国際教育交流センター
93	フランス	エクス・マルセイユ大学	国際教育交流センター
94	フランス	グルノーブル・アルプ大学	国際教育交流センター
95	フランス	ストラスブール大学	国際教育交流センター
96	フランス	ストラスブール大学	国際教育交流センター
97	フランス	パリ政治学院（シアンスポ）	国際教育交流センター
98	フランス	パリ政治学院（シアンスポ）	国際教育交流センター
99	フランス	ボルドー大学	国際教育交流センター
100	フランス	ボルドー大学	国際教育交流センター
101	ブルネイ	ブルネイ・ダルサラーム大学	国際教育交流センター
102	ブルネイ	ブルネイ・ダルサラーム大学	国際教育交流センター
103	ブルネイ	ブルネイ・ダルサラーム大学	国際教育交流センター
104	ベトナム	ミュンヘンルートヴィヒ・マクシミリアン大学	国際教育交流センター
105	バレー	ローマ教皇庁立バレー・カトリック大学	国際教育交流センター
106	メキシコ	メキシコ国立自治大学	国際教育交流センター
107	メキシコ	メキシコ国立自治大学	国際教育交流センター
108	メキシコ	メキシコ国立自治大学	国際教育交流センター
109	ラトビア	デュッセルドルフ大学	国際教育交流センター
110	ロシア	サンクトペテルブルク大学	国際教育交流センター
111	ロシア	サンクトペテルブルク大学	国際教育交流センター
112	ロシア	サンクトペテルブルク大学	国際教育交流センター
113	英国	ダーラム大学	国際教育交流センター
114	英国	バーミンガム大学	国際教育交流センター
115	英国	バーミンガム大学	国際教育交流センター
116	英国	ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン	国際教育交流センター
117	英国	ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン	国際教育交流センター
118	英国	リーズ大学	国際教育交流センター
119	英国	リーズ大学	国際教育交流センター
120	英国	リーズ大学	国際教育交流センター
121	韓国	釜山大学校	国際教育交流センター
122	韓国	釜山大学校	国際教育交流センター
123	韓国	釜山大学校	国際教育交流センター
124	韓国	高麗大学校	国際教育交流センター
125	香港	香港科技大学	国際教育交流センター
126	台湾	国立成功大学	国際教育交流センター
127	台湾	国立成功大学	国際教育交流センター
128	台湾	国立成功大学	国際教育交流センター
129	台湾	国立台湾大学	国際教育交流センター
130	台湾	国立台湾大学	国際教育交流センター
131	中国	エトヴェシュ・ロラーンド大学	国際教育交流センター
132	中国	ダーラム大学	国際教育交流センター
133	中国	ブリティッシュ・コロンビア大学	国際教育交流センター
134	中国	ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン	国際教育交流センター
135	中国	ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン	国際教育交流センター
136	中国	湖南大学	国際教育交流センター
137	中国	香港科技大学	国際教育交流センター

No.	国籍 / 地域	出身校名	所属名
138	中国	上海交通大学	国際教育交流センター
139	中国	上海交通大学	国際教育交流センター
140	中国	西安交通大学	国際教育交流センター
141	中国	西安交通大学	国際教育交流センター
142	中国	同済大学	国際教育交流センター
143	中国	浙江大学	国際教育交流センター

2023年度秋冬学期 国際交流科目開講リスト

No.	科目名 (和文)	科目名 (英文)	科目提供部局	主担当教員名
1	日本における文化と言語の多様性	Cultural and Linguistic Diversity in Japan	文学研究科	安岡 健一
2	近代・現代日本文学	Japanese Literature, Modern and Contemporary	人文学研究科	村上スミス・アンドリュース
3	社会学	Sociological Theory	人間科学部 (G30)	Christian Etzrodt
4	多変量統計科学	Multivariate Statistical Science	人間科学部 (G30)	山本 倫生
5	日本のサル学	Primateology in Japan	人間科学部 (G30)	Jim Anderson
6	移動の社会学	Sociology of Migration	人間科学部 (G30)	Kim Mawer
7	グローバル化と大学教育	Global Issues in Education	人間科学部 (G30)	Kim Mawer
8	気候変動とエネルギーtransitionガバナンス	Climate Change and Energy Transition Governance	人間科学部 (G30)	BABOVIC ALEKSANDRA
9	東アジア国際関係	East Asian International Relations	人間科学部 (G30)	BABOVIC ALEKSANDRA
10	日本の外交	Japanese Diplomacy	人間科学部 (G30)	BABOVIC ALEKSANDRA
11	日本語で社会科学を読む	Social Science Japanese Texts Reading	人間科学部 (G30)	CAVALIERE Paola
12	異文化研究：文化のバリエーションをマッピングする	Cross Culture Studies: Mapping Variations of Cultures	人間科学部 (G30)	ETZRODT CHRISTIAN
13	心理学における論点	Talking Points in Psychology	人間科学部 (G30)	James Anderson
14	東アジア政治学	East Asian Politics	人間科学部 (G30)	POZSGAI ALVAREZ Joseph
15	Academic Presentaion Course	Academic Presentaion Course	外国語学部	GREENING NEVILLE KAURI
16	特別講義 (比較契約法・不法行為法の諸問題)	Special lecture (Topics in Comparative Contract and Torts Law)	法学研究科	Leonardo Ciano
17	私法の諸問題	Private Law in Japan	法学研究科	Elbalti Beligh
18	コモンロー入門	Introduction to Common Law	法学研究科	Elbalti Beligh
19	中東の法と社会	Law and Society in the Middle East	法学研究科	Elbalti Beligh
20	統計学入門	Introduction to Statistics	経済学研究科	POIGNARD Benjamin
21	現代物理学の最前線	Current Topics in Modern Physics	理学研究科	越野 幹人
22	情報システム工学基礎論	INTRODUCTION TO INFORMATION SYSTEMS ENGINEERING	工学研究科	三浦 典之
23	応用物理学入門	Inrtroduction to Applied Physics	工学研究科	吉川 洋史
24	国際理解入門	Introduction of International Understandings	工学研究科	堀 さやか

No.	科目名 (和文)	科目名 (英文)	科目提供部局	主担当教員名
25	異文化理解入門	Introduction to Cross-cultural Understanding	工学研究科	中橋 真穂
26	UC Frontier Science II	UC Frontier Science II	大阪大学とカリフォルニア大学との学術交流推進室	John Hampton INO
27	UC Frontier Science (Science of Coffee)	UC Frontier Science (Science of Coffee)	大阪大学とカリフォルニア大学との学術交流推進室	Kuhl, Tonya Lynn
28	文化：その理解へのアプローチ	Approaches to Understanding Cultures	国際教育交流センター	有川 友子
29	科学と社会	Science and Society	国際教育交流センター	岡本 紗知
30	ソーシャルイノベーションとソーシャルデザイン	Social Innovation & Social Design	国際教育交流センター	近藤 佐知彦 三森 八重子
31	日本のメディアとコミュニケーション	Media and Communications in Japan	国際教育交流センター	近藤 佐知彦
32	異文化コミュニケーション入門	Introduction to Intercultural Communication	国際教育交流センター	石倉 佑季子
33	日本の社会とイデオロギー (FW)	Japan: Society and Ideology (FW)	国際教育交流センター	近藤 佐知彦
34	日本の社会とビッグデータ	Japan: Society and Big Data	国際教育交流センター	井奥 智大
35	総合日本語 JA100	Japanese JA100	国際教育交流センター	難波 康治
36	総合日本語 JA200	Japanese JA200	国際教育交流センター	大谷 晋也
37	総合日本語 JA300	Japanese JA300	国際教育交流センター	中俣 尚己
38	総合日本語 JA400	Japanese JA400	国際教育交流センター	義永 美央子
39	日本語・グローバル理解演習 JGU500a	Seminar in Japanese and Global Understanding JGU500a	国際教育交流センター	藤原 京佳
40	日本語・グローバル理解演習 JGU500b	Seminar in Japanese and Global Understanding JGU500b	国際教育交流センター	藤澤 好恵
41	日本語・グローバル理解演習 JGU500c	Seminar in Japanese and Global Understanding JGU500c	国際教育交流センター	中俣 尚己
42	日本語・グローバル理解演習 JGU600a	Seminar in Japanese and Global Understanding JGU600a	国際教育交流センター	松下 恵子
43	日本語・グローバル理解演習 JGU600b	Seminar in Japanese and Global Understanding JGU600b	国際教育交流センター	大谷 晋也

2023年度秋冬学期 国際交流特別講義開講リスト

No.	科目名 (和文)	科目名 (英文)	科目提供部局	主担当教員名
1	人間中心のデザイン概論	Introduction to Human-centered Design	CO デザインセンター	イステッキ ジハンギル
2	アジア太平洋地域の気候変動 — 科学と解決策	Climate Change in Asia Pacific — Science and Solutions	CO デザインセンター	ブレンダン・F.D.・バレット
3	共同・参加型デザイン	Collaborative and Participatory Design	CO デザインセンター	イステッキ ジハンギル
4	Osaka University Anniversary Lecture (FW)	Osaka University Anniversary Lecture (FW)	大阪大学周年事業 オンライン特別講義	藤田 清士
5	化学基礎工学： 基礎と Bio-Inspired アプローチ	Introduction to Chemical Engineering Science: Basic and Bio-Inspired Approach	基礎工学研究科	馬越 大
6	化学基礎工学： 分子集合体の基礎と応用	Introduction to Chemical Engineering Science: Basics and Applied Aspect of Molecular Self-Assembly	基礎工学研究科	馬越 大

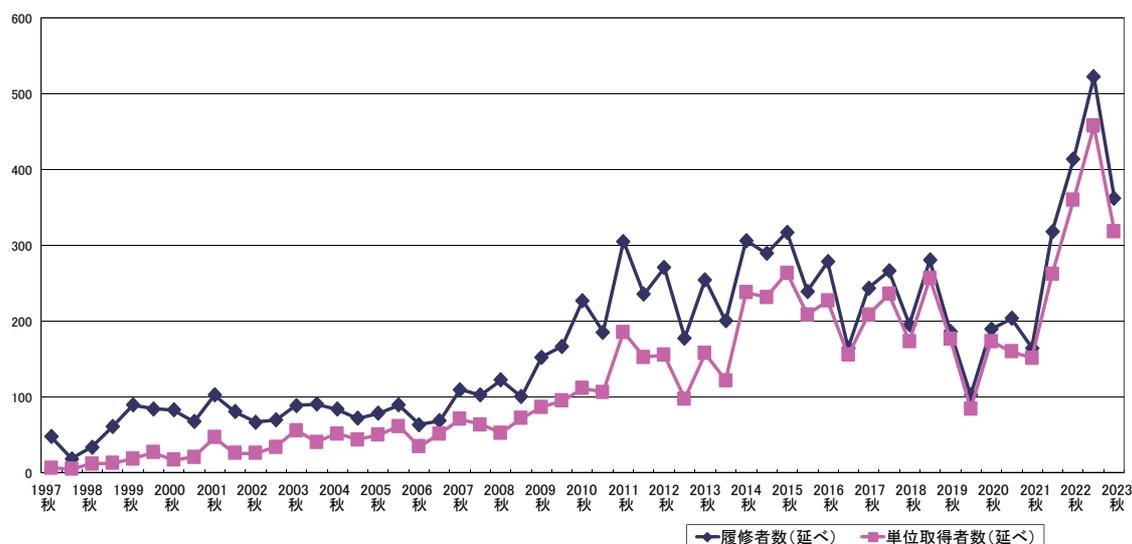
No.	科目名 (和文)	科目名 (英文)	科目提供部局	主担当教員名
7	国際交流特別講義2 (構造有機化学)	International Exchange Special Lecture 2 (Structural Organic Chemistry)	理学研究科	久保 孝史
8	国際交流特別講義2 (生物発想化学工学1)	International Exchange Special Lecture 2 (Bio-Inspired Chemical Engineering 1)	基礎工学研究科	馬越 大
9	国際交流特別講義2 (生物発想化学工学2)	International Exchange Special Lecture 2 (Bio-Inspired Chemical Engineering 2)	基礎工学研究科	馬越 大

4. 国際交流科目履修者数と単位取得者数

部局別：国際交流科目履修者数と単位取得者数

学部	文	人科	外	法	経済	理	医	歯	薬	工	基工	人文	国公	情報	生命	高司	計	G/R																	
2023春	17	(15)	85	(79)	31	(29)	83	(75)	47	(30)	5	(3)	6	(5)	1	(1)	1	(1)	24	(17)	13	(11)	9	(9)	2	(0)	0	(0)	1	(1)	0	(0)	325	(276)	0.85
2023秋	29	(29)	37	(34)	13	(10)	38	(37)	39	(35)	5	(2)	5	(4)	0	(0)	0	(0)	24	(19)	9	(8)	11	(11)	2	(0)	0	(0)	1	(0)	0	(0)	213	(189)	0.89
2023春・秋合計	46	(44)	122	(113)	44	(39)	121	(112)	86	(65)	10	(5)	11	(9)	1	(1)	1	(1)	48	(36)	22	(19)	20	(20)	4	(0)	0	(0)	2	(1)	0	(0)	538	(465)	0.86
1996春から2023秋の合計	577	(402)	918	(637)	1156	(717)	909	(621)	806	(577)	496	(318)	164	(84)	15	(10)	57	(33)	927	(553)	646	(429)	110	(90)	65	(42)	31	(22)	36	(18)	3	(1)	6916	4554	0.66

いずれも延べ数。() 内の数字は単位取得者数を表す。G/Rは、履修者数に対する単位取得者数の割合を示す。



国際交流科目受講状況および単位取得状況の推移 (OUSSEP学生以外)

5. 国際交流科目における授業の質保証の取り組み

近年の教育の国際化にともない英語での授業科目が増えている。国際交流科目は、本学の日本人学生や正規留学生などの一般学生と協定校からの交換留学生がともに英語でさまざまな授業を受講する科目であり、その数は年々増え、2023年度も、国際教育交流センターを含む全学のさまざまな部局から多様な授業が提供された。国際教育交流センターではカリキュラムの時間割調整や授業コーディネートをを行っている。

(1) FD オリエンテーション

英語による専門科目授業の質保証のため、当センターでは学期毎に授業担当教員およびTA（ティーチングアシスタント）を対象にFD オリエンテーションを実施している。2018年度から2019年度にかけて、全学教育推進機構教育学習支援部（TLSC）の佐藤浩章准教授のご支援・ご監修のもと、FD 研修内容の改善に努め、「国際交流科目ティーチング・ティップス集」や「国際交流科目受講学生へのラーニング・ティップス集」の作成にも取り組んだ。また、本年度よりFD オリエンテーションは、新任教員研修プログラムとして認定され、新任教員の参加も増えつつある。

2020年度から新型コロナウイルス感染拡大の影響により、FD オリエンテーションは、オンラインでの開催をしている。また本年度のFD は、FD を通してシラバスの見直しをすることに努めた。特に近年シラバスの整備や充実が求められており、シラバスをより具体化することで授業の質の向上に繋がると言われている。引き続き国際交流科目の授業の質向上につながるようなFD 研修を提供していきたい。

**2023年度春夏学期国際交流科目担当教員及び
TA 予定者対象オリエンテーション並びにFD 研修の実施について**

- 日 時 2023年8月21日(月) 13:30～15:00
場 所 オンラインでの実施（ZoomのIDおよびパスワードは後日メールでお知らせします）
対 象 2022年度秋冬学期・2023年度春夏学期の国際交流科目担当教員およびTA 予定者
内 容
- I. オリエンテーション（国際教育交流センター 教授 近藤 佐知彦）
「通常の授業と国際交流科目はここが違う！」
 - II. FD 研修（国際教育交流センター 准教授 石倉 佑季子）
「国際交流科目のシラバスをブラッシュアップする～学生がわかりやすいシラバスとは～」
 - III. 授業実施に関わる情報交換会

**2024年度春夏学期・2024年度秋冬学期国際交流科目担当教員及び
TA 予定者対象オリエンテーション並びにFD 研修の実施について**

- 日 時 2023年3月11日(月) 13:30～15:00
場 所 オンラインでの実施（ZoomのIDおよびパスワードは後日メールでお知らせします）
対 象 2023年度春夏学期・2023年度秋冬学期の国際交流科目担当教員およびTA 予定者
内 容
- I. オリエンテーション（国際教育交流センター 教授 近藤 佐知彦）
「通常の授業と国際交流科目はここが違う！」
 - II. FD 研修（国際教育交流センター 准教授 石倉 佑季子）
「国際交流科目のシラバスをブラッシュアップする～学生がわかりやすいシラバスとは～」
 - III. 授業実施に関わる情報交換会

(2) 授業評価アンケートの実施とフィードバック

授業の質保証の取り組みとして、2019年度までは毎学期2回、2020年度からは教員の負担軽減のため毎学期1回、授業中に時間をとって受講生による授業評価アンケートを実施している。アンケートは集計して個別の授業の結果及び全体の集計結果を返送し、授業改善に役立てていただいている。詳しくは巻末資料編の資料5のアンケートのサンプルを参照いただきたい。また、2019年度秋冬学期からは、集計の簡略化や紙資源の削減を目的として、KOANによるオンラインアンケートを開始した。そして、2020年度以降は、大半の授業がオンライン形式となったため、オンライン授業に関する質問項目を追加し、さらに、同期型・非同期型授業用の「実施要項」も新たに作成し、対応した。

2023年7月3日

2023年度 春夏学期国際交流科目 担当教員 殿

国際教育交流センター長

有川 友子

「国際教養・専門複合型プログラム (OUSSEP)」に係る
国際交流科目の受講学生を対象とした「授業アンケート」の実施について (依頼)

標記「国際交流科目」につきまして、平素から御理解と御協力を賜り誠にありがとうございます。先生方にご開講頂いております国際交流科目は「大学の国際化」という大きな目標の中で、海外協定校等へ留学する学生にとって重要な準備過程の一環であり、また同時に（その交換留学派遣のために不可欠である）海外協定校からの交換留学生の受入れに大きく貢献している講義群であることから、その質の確保と共に本学の学生に対する効果検証が強く求められております。

このような趣旨に基づき、毎学期、受講学生を対象とした「授業アンケート」を実施しております。

今回も貴重な授業時間を割いて頂くこととなり誠に恐縮ですがなにとぞご高配賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。2019年度秋冬学期より、KOANによるオンラインアンケートを実施しており、具体的なアンケート実施方法の詳細につきましては、添付の「実施要項」をご参照ください。

なお本アンケートの結果は各科目（主）担当の先生へお送り申し上げます。授業の成果検証および授業設計の資料等としてご活用頂ければ幸いです。

また同結果は国際交流科目担当教員FDの企画等の参考にもさせて頂きたく、併せてよろしくお願い申し上げます。もちろん集計データ等から個々の科目や受講学生が特定されることの無いよう情報の取扱いにつきましては十分注意させていただきます。

ご多忙のところ恐れ入ります。何卒よろしくお願い申し上げます。

なおこの件に関し、ご質問のある方は以下までご連絡のほどよろしくお願い申し上げます。

国際教育交流センター 柏原 美佐緒

kashiwabara-m@office.osaka-u.ac.jp

Tel : 06-6879-7128 (内線7128)

2024年1月11日

2023年度 秋冬学期国際交流科目 担当教員 殿

国際教育交流センター長
有川 友子「国際教養・専門複合型プログラム (OUSSEP)」に係る
国際交流科目の受講学生を対象とした「授業アンケート」の実施について (依頼)

標記「国際交流科目」につきまして、平素から御理解と御協力を賜り誠にありがとうございます。先生方にご開講頂いております国際交流科目は「大学の国際化」という大きな目標の中で、海外協定校等へ留学する学生にとって重要な準備過程の一環であり、また同時に（その交換留学派遣のため不可欠である）海外協定校からの交換留学生の受入れに大きく貢献している講義群であることから、その質の確保と共に本学の学生に対する効果検証が強く求められております。

このような趣旨に基づき、毎学期、受講学生を対象とした「授業アンケート」を実施しております。今回も貴重な授業時間を割いて頂くこととなり誠に恐縮ですがなにとぞご高配賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。2019年度秋冬学期より、KOANによるオンラインアンケートを実施しており、具体的なアンケート実施方法の詳細につきましては、添付の「実施要項」をご参照ください。

なお本アンケートの結果は各科目（主）担当の先生へお送り申し上げます。授業の成果検証および授業設計の資料等としてご活用頂ければ幸いです。

また同結果は国際交流科目担当教員FDの企画等の参考にもさせて頂きたく、併せてよろしくお願い申し上げます。もちろん集計データ等から個々の科目や受講学生が特定されることの無いよう情報の取扱いにつきましては十分注意させて頂きます。

ご多忙のところ恐れ入ります。何卒よろしくお願い申し上げます。

なおこの件に関し、ご質問のある方は以下までご連絡のほどよろしくお願い申し上げます。

国際教育交流センター 川上 由樹子
kawakami-yuki@office.osaka-u.ac.jp
Tel : 06-6879-7128 (内線7128)

End of semester Evaluation Questionnaire manual (for instructors)

1. When

During class from January 18th (Thursday) to February 8th (Thursday), 2024.
(The time required: about 1.5 min)

2. Questionnaire

Please provide the following instruction to students to answer the questionnaire:

1. Log in to KOAN with a PC or a smart phone
2. Choose the Surveys tab and answer End of semester Evaluations Questionnaire (International Exchange Subjects) for this course.
3. Read the instruction before you answer the questionnaire
4. When finished answering, click Check Responses and Submit

*To instructors:

If you give in-person or synchronous online classes, please conduct the questionnaire during class.

If you give asynchronous online classes, please tell students to answer the questionnaire by the due date.

3. Remarks

- The survey results will be sent to the (representative) professor/instructor after tallying them up. We would really appreciate it if the results could be some help for reconfirming the contents and design of your class.
- Please note that the survey results may be used by the faculty to improve the academic program and teaching, and other research purposes in an anonymous form.

[Contact]

KAWAKAMI, Yukiko (Ms.)

E-mail: kawakami-yuki@office.osaka-u.ac.jp

Phone: 06-6879-7128 (ext.7128)

期末アンケート実施要項

1. 日時

2023年 1月 18日(水) ~ 2月 8日 (水) の授業時間中 (所要時間：約15分)

2. 実施

1. 学生にパソコンかスマートフォンからKOANIにログインさせてください。
2. KOANIにログイン後、「Surveys」に進み、ご担当の授業科目の「2022FW End of semester Evaluation Questionnaire (International Exchange Subjects)」を回答するよう指示してください。
3. アンケート概要を良く読んでから回答を開始するようご指示ください。
4. 回答が終わったら、「Check Responses」→「Submit」で提出完了です。

※ 対面/同期型の授業を実施されている先生は、授業中の実施をお願いします。
※ 非同期型の授業を実施されている先生は、期日までにアンケートを回答するよう指示をお願いします。

3. その他

- 回収したアンケート結果は集計後、先生方へ送付いたします。
授業の成果検証および授業改善の資料等としてご活用いただけます。
- 同結果は、個別の科目名等が特定されないよう配慮した上で、FD等研修や教育研究目的に活用させていただきます。予めご了承下さい。

【お問い合わせ先】

国際教育交流センター

短期プログラム開発研究チーム 柏原 美佐緒

メール: kashiwabara-m@office.osaka-u.ac.jp

電話: 06-6879-7128 (内線: 吹田 7128)

6. OUSSEP 学生対象国際交流科目「インターンシップ実習」

2021年度より、OUSSEP 学生対象の「インターンシップ実習」を実施している。2023年度はコース2（石橋商店街による「社会福祉とインクルーシブな地域環境づくりコース」）を火曜日に開講し、コース3（株式会社キンダーキッズによる「英語教育コース」）は水曜日と木曜日に開講している（コース1（キッザニア甲子園による「児童英語教育コース」）は不開講）。

コース2に春夏学期2名、秋冬学期4名の計6名が参加した。参加学生は石橋商店街で地域と関わりながら、まちづくりと地域活性化に貢献し、職業体験やイベント企画などの活動を通して、日本の地域社会への理解を深めた。石橋商店街に限らず、石橋南小学校を訪問し、子どもと触れ合いながら日本文化を学ぶとともに、自国の文化を紹介した。また、應典院を訪れ、福祉と宗教、地域活動にどのような関係があるか学んだ。

コース3に春夏学期3名、秋冬学期3名の計6名が参加し、キンダーキッズインターナショナルスクールの豊中校、彩都校において幼児を対象とした英語教育に従事した。参加学生は子どもたちの学習や生活のサポートを行うことで、英語教育の方法論を理解するだけでなく、幼児教育に必要な技能を知ることができた。さらに、教員との交流を通じて、自分の将来についてより具体的に考え、出身国における教育と日本の教育を比較する機会となっていた。

2023年度 OUSSEP インターンシップ実習受講者一覧

		国籍／地域	出身大学	専攻	
初夏学期	コース2	1	ドイツ	ゲッティンゲン大学	医学部
		2	オーストラリア	オーストラリア国立大学	芸術社会科学部
	コース3-B	1	インドネシア	インドネシア大学	工学部
		2	スウェーデン	スウェーデン王立工科大学	経営工学部
		3	アメリカ合衆国	パデュー大学	電子工学部
秋冬学期	コース2	1	中国	エトヴェッシュ・ロラード大学	法学部
		2	フランス	ボルドー大学	経済学部
		3	インドネシア	グローニンゲン大学	空間科学部、空間科学研究科
		4	ドイツ	グローニンゲン大学	行動・社会科学部
秋冬学期	コース3-B	1	スロバキア	エトヴェッシュ・ロラード大学	人文学部
		2	韓国	釜山大学	人文学部
秋冬学期	コース3-C	1	中国	ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン大学	教育学部

V. 授業料徴収型『超短期』プログラム

1. Faculty-led プログラム UMOS

2019年度より、メルボルン大学からの要請に応じてUMOS (University of Melbourne Overseas Subject) という Faculty-led プログラムを実施している。2020年度から2021年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて中止となっていたが、2022年度よりプログラムを再開することができた。

UMOS は、メルボルン大学で開講されている科目と同等の授業を海外の大学で実施し、メルボルン大学の単位として認定するプログラムである。大阪大学では、「Variation in Japanese Language」という科目が開講され、大阪大学の単位（4単位）が付与される。授業の目的は、日本語上級レベルを持つメルボルン大学の学生が、授業、職業体験、ホームステイおよび文化体験を通して日本語のバリエーションについて学ぶことである。メルボルン大学の渡邊泰久上級講師が招へい教員・プログラムコーディネーターとして引率および半分以上の授業を担当し、約3週間で計30コマが実施される。

2022年度は、主に大阪大学吹田キャンパスにおいて授業を実施し、吹田市旭通商店街でのフィールドワークも行った。希望者には、旭通商店街における着付け体験の機会を設けた。また、JTB のコーディネートにより東急レイホテル新大阪江坂にて2日間のインターンシップを実施した。新入社員研修やホテル館内見学に加え、ベッドメイキングやロビーアテンダントの実践を行った。

本年度は、2024年1月22日(月)から2月9日(金)の期間、主に大阪大学吹田キャンパスにおいて授業を実施した。1月24日(水)と2月6日(火)には石橋南小学校を訪問し、留学生は日本の子どもたちとの交流を通じて日本の伝統文化(落語、習字、太鼓など)を学んだ。また、1月31日(水)から2月1日(木)の2日間は、昨年度に引き続きJTB のコーディネートにより、東急レイホテル新大阪江坂にてインターンシップを実施した。オリエンテーションにて説明を受けた後、ホテル館内を見学し、ベッドメイキング研修を受講した。2日目にはフロント研修を受講し、チェックイン手続きを実践するなど、就労現場での日本語のバリエーションを習得する機会となった。

2023年度 UMOSプログラム (2024.1.22-2.10実施)

	在籍校	国籍	専攻
1	メルボルン大学	オーストラリア	歴史
2	メルボルン大学	オーストラリア	日本語、言語学
3	メルボルン大学	オーストラリア	日本語、世界古代史
4	メルボルン大学	中華人民共和国	心理学
5	メルボルン大学	中華人民共和国	グラフィックデザイン
6	メルボルン大学	中華人民共和国	文学
7	メルボルン大学	中華人民共和国	英語、演劇学
8	メルボルン大学	オーストラリア	確率統計学
9	メルボルン大学	オーストラリア	日本語
10	メルボルン大学	オーストラリア	数学、統計学

2. 『ショートステイ学期内日本語専修プログラム』J-ShIP（国際交流基金関西国際センターとの連携による日本語教育プログラム）

J-ShIPは、2011年度夏に新たに創設された。設立に至る経緯や、プログラムのねらいについては近藤（2012）等に譲るが、日本語をキラーコンテンツとし、2011年度に新設された Short-Stay プログラム奨学金を最大限獲得する設計のプログラムである。2012年度には、新たに「夏プログラム」も増設し、カリフォルニア大学（UC）を中心とした米国の協定校の「夏休み」期間にあわせた開講プランを作り、数多くのアメリカ人学生に対して、日本語に親しみ、また日本語の単位を在籍校において互換しうる機会を提供してきている。

2014年度以降は、米国向け90コマ8週間のサマーインスティテュート（6-8月）、および豪州向け45コマ5週間のウィンターインスティテュート（12-1月）の2サイクルを運営することになった。ハード面では、旧箕面キャンパスに教室および職員室を増設して3～4教室体制を整備した。また、非常勤講師のボランティアに頼っていた「オフィスアワー」を制度化し、参加学生の旺盛な学習ニーズに応えている。2017年度の夏からは海外などで活躍する日本語教師の先生方を期間中に特任教員として雇用し、J-ShIPの一部の運営をお任せするなど、実験的なプログラムとしても先進的に運用を続けている。2018年度の夏は、大阪北部地震や西日本豪雨の自然災害に加え、2019年度は2名の学生が体調不良により途中帰国を余儀なくされ、対応に追われたが、多くの方々からの協力により、最後までプログラムを実施することができた。今後プログラムを継続するにあたって、危機管理体制を整える契機となった。2020年度および2021年度は、2019年度同様、夏J-ShIPおよび冬J-ShIPを実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、すべて中止となった。しかし、2020年度は冬季のみであったが、3週間の Winter Online Japanese Course を新たに開発し、実施することができた。2021年度は、3週間の Summer Online Japanese Course と、5週間（授業は週3回）の Winter Online Japanese Course を実施した。

2022年度については、国際交流基金関西国際センターと連携し、冬J-ShIPを対面で実施することができ、計19名の学生を受け入れた。

2023年度は、「本年度のトピックス」でも述べたように、引き続き国際交流基金関西国際センターと連携し、夏J-ShIPおよび冬J-ShIPを対面で実施することができた。夏J-ShIPでは計47名の学生、冬J-ShIPでは計19名の学生を受け入れた。

- 近藤佐知彦（2012）SSプログラムJ-ShIPの1年目：新コンセプトの超短期日本語プログラムへの挑戦 大阪大学国際教育交流センター研究論集 多文化社会と留学生交流16 97-106

2023年度 夏J-SHIPプログラム（2023.6.18-8.11実施）

	在籍校	国籍	専攻
1	ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン	ブルガリア	InternationalSocial & Political Studies
2	セントラルフロリダ大学	アメリカ	Computer Science
3	ヒューストン大学	アメリカ	College of Technology
4	デポール大学	アメリカ	Music Composition
5	カリフォルニア大学 サンディエゴ校	アメリカ	Engineering
6	カリフォルニア大学 バークレー校	アメリカ	Environmental Sciences
7	カリフォルニア大学 バークレー校	アメリカ	English
8	カリフォルニア大学 バークレー校	アメリカ	Art Practice
9	カリフォルニア大学 サンディエゴ校	アメリカ	Cognitive Science
10	カリフォルニア大学 バークレー校	アメリカ	Natural Resources
11	カリフォルニア大学 サンタクルーズ校	アメリカ	Computer Science: Game Design
12	カリフォルニア大学 サンタクルーズ校	アメリカ	Computer Science: Game Design
13	カリフォルニア大学 アーバイン校	アメリカ	English、 Psychology
14	カリフォルニア大学 バークレー校	アメリカ	Environmental Economics & Policy
15	カリフォルニア大学 ロサンゼルス校	アメリカ	Art
16	カリフォルニア大学 バークレー校	アメリカ	Molecular and Cellular Biology
17	カリフォルニア大学 ロサンゼルス校	アメリカ	Humanities
18	カリフォルニア大学 バークレー校	大韓民国	Chemical Engineering
19	カリフォルニア大学 バークレー校	アメリカ	Sociology
20	カリフォルニア大学 サンディエゴ校	アメリカ	Cognitive Science
21	カリフォルニア大学 サンタバーバラ校	アメリカ	Data Science & Statistics
22	カリフォルニア大学 サンタバーバラ校	アメリカ	Biology
23	カリフォルニア大学 デイビス校	アメリカ	Letters & Science
24	カリフォルニア大学 バークレー校	中華人民共和国	Computer Science
25	カリフォルニア大学 ロサンゼルス校	アメリカ	Environmental Science
26	カリフォルニア大学 バークレー校	アメリカ	Data Science
27	カリフォルニア大学 サンディエゴ校	アメリカ	Computer Science
28	カリフォルニア大学 ロサンゼルス校	アメリカ	Cognitive Science
29	カリフォルニア大学 サンディエゴ校	アメリカ	International Business
30	カリフォルニア大学 マーセッド校	アメリカ	Cognitive Science
31	カリフォルニア大学 ロサンゼルス校	アメリカ	Film and Television
32	カリフォルニア大学 ロサンゼルス校	アメリカ	Engineering
33	カリフォルニア大学 マーセッド校	アメリカ	Anthropology
34	カリフォルニア大学 ロサンゼルス校	アメリカ	Education & Social Transformation
35	カリフォルニア大学 デイビス校	アメリカ	Letters & Science
36	カリフォルニア大学 バークレー校	アメリカ	Letters & Science
37	カリフォルニア大学 ロサンゼルス校	アメリカ	Music Education
38	カリフォルニア大学 デイビス校	アメリカ	Letters & Science
39	カリフォルニア大学 ロサンゼルス校	アメリカ	Computer Science & Math
40	カリフォルニア大学 ロサンゼルス校	アメリカ	History
41	カリフォルニア大学 アーバイン校	アメリカ	Informatics
42	カリフォルニア大学 バークレー校	アメリカ	Environmental Economics
43	カリフォルニア大学 サンタバーバラ校	アメリカ	Engineering
44	カリフォルニア大学 サンディエゴ校	アメリカ	Biology
45	カリフォルニア大学 ロサンゼルス校	アメリカ	Computer Science
46	カリフォルニア大学 サンタバーバラ校	中華人民共和国	Art
47	カリフォルニア大学 ロサンゼルス校	アメリカ	Letters & Science

2023年度 冬J-ShIPプログラム（2024.1.8-2.4実施）

	在籍校	国籍	専攻
1	オーストラリア国立大学	中華人民共和国	日本語
2	オーストラリア国立大学	オーストラリア	日本語、コンピュータサイエンス
3	オーストラリア国立大学	中華人民共和国	Biochemistry
4	オーストラリア国立大学	オーストラリア	日本語、心理学、言語学
5	オーストラリア国立大学	オーストラリア	日本語
6	オーストラリア国立大学	中華人民共和国	国際関係
7	オーストラリア国立大学	オーストラリア	日本語
8	オーストラリア国立大学	オーストラリア	日本語
9	モナッシュ大学	オーストラリア	日本語
10	モナッシュ大学	オーストラリア	日本語
11	モナッシュ大学	オーストラリア	教育、日本語
12	漢陽大学 ERICA	大韓民国	宝飾ファッションデザイン
13	漢陽大学 ERICA	大韓民国	日本語
14	漢陽大学 ERICA	大韓民国	日本語
15	漢陽大学 ERICA	大韓民国	文化／コンテンツ
16	ニューサウスウェールズ大学	中華人民共和国	日本語
17	吉林大学	中華人民共和国	公共健康医学
18	台湾大学	中華民国（台湾）	医学部
19	陽明交通大学	中華民国（台湾）	人文社会科学

VI. 留学生支援

国際教育交流センター交流アドバイジング研究チームは、吹田キャンパスは留学生交流情報室（IRIS: Information Room for International Students）、豊中キャンパスは国際教育交流センター豊中分室に、箕面キャンパスは国際教育交流センター箕面分室に生活相談に対応するスタッフを配置し、アドバイジング担当教員との密接な連携のもと、留学生支援を継続的に行っている。留学生が気軽に入出入りできるスペースを提供するとともに、相談しやすい雰囲気を作り、関係部局とも連携しながら、迅速に対応している。定期的に発行する IRIS レター等のメールによる情報提供も行っている。このほか、学生間の交流の促進の観点から、大阪大学留学生会（OUISA: Osaka University International Student Association）や B.S.P.（Brothers and Sisters Program）の支援も継続して行っている。更に、地域の国際交流団体やボランティアグループとの連携、地域の学校の国際理解教育プログラムへの協力も継続して行っている。このほか、短期プログラム開発研究チームの一般学生の海外留学支援にも協力している。

1. 生活・就学支援

(1) 国際教育交流センターにおける相談対応

国際教育交流センターでは、留学生とその家族が日本で生活する上で、生活習慣や文化に円滑に適応できるようにアドバイスにあたりるとともに、さまざまな留学生関連プログラムなどの情報提供をしている。また、国際交流活動等についての相談にも応じるなど、留学生に対する総合的な支援をしている。

こうした相談や情報提供は、吹田地区ではセンター内の留学生交流情報室（IRIS（あいらす）は Information Room for International Students の略。以下 IRIS と記す。）にて平日 8 時半～18 時の間、豊中地区では学生交流棟 2 階の豊中分室、箕面地区では外国語学研究講義棟 5 階の箕面分室で、平日 10 時半～17 時の間、原則として休業日を除く学期期間中に行っている。表 1 に IRIS、表 2 に豊中分室、表 3 に箕面分室への対応件数を記す。各種情報提供のほか、相談内容により担当教員との連携および、関係部局との連携をしながら留学生の相談対応を実施した。

(2) 新規来日留学生への支援

例年国際教育交流センターが関わる新規来日留学生に対して、情報提供を含め、来日前からコンタクトを取っている。また例年来日当初のオリエンテーションプログラムを、国際学生交流課や国際教育交流センター日本語教育研究チーム、短期プログラム開発研究チーム等と連携して実施し、学生の円滑な留学がスタートできるように支援しており、それぞれオンラインや対面でのオリエンテーションを実施した。

国際教育交流センターは、例年留学生および地域社会がお互いの文化・習慣を正しく認識し、相互理解を深めることを目的として、大阪大学留学生ホストファミリープログラム（略称 OHP）を実施している。学生間の交流や支援の観点から、B.S.P.の学生によるキャンパスツアー、大阪大学留学生会（OUISA）の活動の紹介を学生達と連携して行った。

表1 大阪大学国際教育交流センター留学生交流情報室「IRIS」の相談状況及び来室・利用状況

令和5年度相談対応延べ状況

項目	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
交 流		41	44	16	33	8	11	16	6	10	11	3	6	205
日 本 語		15	2	5	2	2	2	15	8	5	6	1	1	64
奨 学 金 等		1	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	5	10
学 習 ・ 研 究		2	0	1	3	4	0	0	1	0	1	1	0	13
行 政 手 続		7	10	18	23	0	7	10	3	3	3	8	1	93
事 故 ・ ト ラ ブ ル		0	0	0	3	3	0	0	0	2	2	1	1	12
入 管 関 係		5	1	0	2	0	5	5	1	0	1	0	2	22
就 職		2	2	1	0	2	1	0	0	0	0	0	2	10
住 居 関 係		6	0	9	6	6	14	5	0	3	3	2	4	58
ア ル バ イ ト		0	2	0	0	0	0	3	0	0	1	0	0	6
医 療		8	2	5	5	1	2	3	2	2	0	1	0	31
ホ ス ト フ ァ ミ リ ー		0	15	46	65	27	13	53	39	14	48	38	29	387
生 活 用 品		0	1	0	6	1	2	1	1	0	1	0	1	14
国 際 理 解 教 育 プ ロ グ ラ ム		14	39	17	22	4	13	49	41	63	46	19	16	343
各 種 情 報 提 供		47	37	26	29	11	5	43	24	9	13	17	9	270
海 外 留 学 相 談		1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	3
学 外 か ら の 問 い 合 わ せ 等		1	2	4	3	7	4	3	2	5	1	1	1	34
そ の 他		18	9	5	20	5	6	10	3	2	4	5	1	88
計		168	166	153	223	81	86	217	132	118	142	98	79	1,663

相談対応件数推移

年 度	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
件 数	2,877	3,496	3,461	4,125	4,246	5,163	5,280	5,366	5,405	5,124	5,087	4,675	4,880	4,489	4,413	5,112	4,517

年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31/R1	R2	R3	R4	R5
件 数	5,553	6,114	8,106	7,106	7,398	8,104	9,860	6,133	6,837	2,236	1,663

*ここでいう「相談対応」は項目に関する相談受付及びその対応回数の延べ（電話・メールも含む）を示す。

来室者推移

年 度	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31/R1
件 数	16,450	17,848	17,996	18,025	18,077	19,255	19,356	19,934	19,532	19,574	20,909	20,107	20,176	19,170	19,252	19,858	15,076

年 度	R2	R3	R4	R5
件 数	2,745(932)	3,799(1,316)	6,176(564)	6,091(193)

留学生交流情報室「IRIS」の利用延べ状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
留 学 生	469(1)	562(13)	706(3)	564(1)	53(0)	137(2)	507(27)	605(57)	630(8)	786(31)	317(5)	87(0)	5,423(148)
日 本 人 等 一 般 学 生	40(8)	42(4)	61(19)	47(0)	0(0)	13(2)	88(1)	57(1)	63(0)	40(2)	6(0)	11(2)	468(39)
教 職 員 ・ 学 外 等	5(1)	18(0)	22(0)	4(0)	29(0)	16(0)	26(5)	25(0)	20(0)	13(0)	14(0)	8(0)	200(6)
合 計	514(10)	622(17)	789(22)	615(1)	82(0)	166(4)	621(33)	687(58)	713(8)	839(33)	337(5)	106(2)	6,091(193)

*ここでいう「利用」は留学生交流情報室「IRIS」に来室した延べ人数（イベント等含む）を示す。

*その他・一般はホストファミリー、国際理解教育関連（小・中・高校の教師）、ボランティアなどである。

*（ ） 書きはオンラインイベント参加者数（内数）である。

表2 大阪大学国際教育交流センター豊中分室の相談状況及び来室・利用状況

令和5年度相談対応延べ状況

項目	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
交 流		45	42	37	40	23	17	33	35	25	23	10	17	347
日 本 語		4	2	5	0	0	4	13	1	0	2	0	1	32
奨 学 金 等		12	2	2	7	0	2	2	1	1	0	0	2	31
学 習 ・ 研 究		10	9	14	23	7	2	12	10	7	3	0	0	97
行 政 手 続		11	7	7	5	3	0	8	3	0	3	1	3	51
事 故 ・ ト ラ ブ ル		0	3	1	3	1	1	6	0	1	1	2	0	19
入 管 関 係		3	2	2	1	1	0	6	2	5	2	1	1	26
就 職		3	2	4	1	2	1	8	2	3	3	1	1	31
住 居 関 係		6	2	6	1	0	2	1	0	0	1	1	1	21
ア ル バ イ ト		1	0	5	2	3	1	6	0	0	0	0	0	18
医 療		3	0	4	2	1	0	1	1	0	0	1	1	14
ホ ス ト フ ァ ミ リ ー		1	1	0	0	0	0	6	0	2	0	0	0	10
生 活 用 品		5	0	3	1	0	2	5	0	0	0	2	3	21
国 際 理 解 教 育 プ ロ グ ラ ム		1	2	3	0	0	0	4	2	3	6	0	0	21
各 種 情 報 提 供		38	20	21	17	10	14	46	15	9	13	12	8	223
海 外 留 学 相 談		18	12	8	9	7	1	11	5	0	3	1	1	76
学 外 か ら の 問 い 合 わ せ 等		2	3	4	3	2	1	0	0	0	0	0	1	16
そ の 他		1	1	2	1	0	0	0	1	0	0	1	0	7
計		164	110	128	116	60	48	168	78	56	60	33	40	1,061

相談対応件数推移

年 度	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
件 数	2,843	2,294	1,352	1,164	1,139	805	916	1,253	1,271	993	906	1,302	2,192	2,721

年 度	H30	H31/R1	R2	R3	R4	R5
件 数	2,713	3,080	1,306	1,551	1,099	1,061

*ここでいう「相談対応」は項目に関する相談受付及びその対応回数の延べ（電話・メールも含む）を示す。

来室者数推移

年 度	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
件 数	8,320	7,524	5,183	5,324	7,508	5,212	6,029	9,065	11,230	10,563	9,580	9,612	12,806	13,406

年 度	H30	H31/R1	R2	R3	R4	R5
件 数	12,618	12,769	2,189 (407)	3,427 (216)	6,016 (47)	8,302 (18)

豊中分室の利用延べ状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
留 学 生	935	946	943	812	70(4)	203(3)	699	514	545	604	69	61(2)	6,401(9)
日 本 人 等 一 般 学 生	179	175	136	168	39(3)	26(2)	208	155	187	193	50(2)	43(2)	1,559(9)
教 職 員 ・ 学 外 な ど	27	43	48	39	18	27	24	39	19	29	16	13	342
合 計	1,141	1,164	1,127	1,019	127(7)	256(5)	931	708	751	826	135(2)	117(4)	8,302(18)

*ここでいう「利用」は国際教育交流センター豊中分室に来室した延べ人数（イベント等含む）を示す。

*その他・一般はホストファミリー、国際理解教育関連（小・中・高校の教師）、ボランティアなどである。

*（ ） 書きはオンラインイベント参加者数（内数）である。

表3 大阪大学国際教育交流センター箕面分室の相談状況及び来室・利用状況

令和5年度相談対応延べ状況

項目	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
交 流		23	27	12	15	17	8	39	27	33	23	12	2	238
日 本 語		5	5	0	1	0	0	4	0	2	2	1	0	20
奨 学 金 等		0	0	0	0	1	1	2	1	0	0	0	1	6
学 習 ・ 研 究		7	7	10	9	4	2	4	33	33	37	10	3	159
行 政 手 続		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
事 故 ・ ト ラ ブ ル		6	1	1	3	0	0	0	1	0	0	0	0	12
入 管 関 係		0	1	0	0	0	0	2	2	0	3	1	1	10
就 職		1	4	1	2	0	2	1	5	3	2	0	0	21
住 居 関 係		0	0	0	0	0	0	1	0	0	6	4	4	15
ア ル バ イ ト		2	1	0	1	0	0	1	1	3	1	6	0	16
医 療		0	2	2	1	0	0	0	1	0	2	3	2	13
ホ ス ト フ ァ ミ リ ー		0	0	0	0	0	0	10	0	1	2	0	0	13
生 活 用 品		5	2	13	10	1	6	1	1	0	1	0	0	40
国 際 理 解 教 育 プ ロ グ ラ ム		0	0	0	0	0	0	2	0	5	2	0	0	9
各 種 情 報 提 供		16	18	13	14	8	11	20	20	14	23	8	8	173
海 外 留 学 相 談		6	12	6	2	1	0	2	1	1	2	1	1	35
学 外 か ら の 問 い 合 わ せ 等		1	3	1	1	0	9	7	5	2	0	3	3	35
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	4	3	5	5	0	17
計		72	83	59	59	32	39	96	102	100	111	55	25	833

相談対応件数推移

年 度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31/R1
件 数	1,488	966	840	661	831	797	731	854	788	699	591	885

年 度	R2	R3	R4	R5
件 数	718	1,469	751	833

*ここでいう「相談対応」は項目に関する相談受付及びその対応回数の延べ（電話・メールも含む）を示す。

来室者推移

年 度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31/R1
件 数	2,893	3,517	4,477	5,249	5,703	5,024	4,570	4,525	3,907	4,867	4,403	4,421

年 度	R2	R3	R4	R5
件 数	1,479 (151)	4,282 (141)	6,197 (4)	8,962

箕面分室の利用延べ状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
留 学 生	350	378	391	348	90	26	563	519	688	740	433	86	4,612
日 本 人 等 一 般 学 生	512	486	513	459	91	40	508	460	516	447	78	57	4,167
教 職 員 ・ 学 外 等	7	8	14	3	44	10	34	13	11	7	14	18	183
合 計	869	872	918	810	225	76	1,105	992	1,215	1,194	525	161	8,962

*ここでいう「利用」は国際教育交流センター箕面分室に来室した延べ人数（イベント等含む）を示す。

*その他・一般はホストファミリー、国際理解教育関連（小・中・高校の教師）、ボランティアなどである。

*（ ） 書きはオンラインイベント参加者数（内数）である。

(3) 学生交流支援

学生支援については、B.S.P.と大阪大学留学生会（OUISA）の活動の支援を行った。新型コロナウイルスの感染状況により、適宜、オンライン、ハイブリッド、対面形式で実施した。表4-1及び4-2にB.S.P.の活動、表5に大阪大学留学生会（OUISA）の活動を記す。

表4-1 令和5年度B.S.P.の活動内容（言語カフェを除く）

月	日	イベント名	参加人数			形式	キャンパス	備考
			留学生	一般学生	合計			
4	5	キャンパスツアー&おしゃべり会	16	5	21	対面	豊中	
	6	相談質問週間（4月6～13日）	12	33	45	対面	豊中	
	12	相談期間（4月10～12日）	3	3	6	対面	箕面	
	13	キャンパスツアー	11	5	16	対面	箕面	
	14	Welcome Event	50	11	61	対面	吹田	OUISA 共催
	21	Welcome Party	43	26	69	対面	豊中	
	27	書道イベント	28	9	37	対面	豊中	
	28	Welcome Party	20	37	57	対面	箕面	
	30	いちよう祭イベント	54	52	106	対面	吹田	OUISA 共催
5	1	いちよう祭イベント	26	62	88	対面	吹田	OUISA 共催
	8	スモア作り	4	9	13	対面	豊中	
	23	クッキングイベント	9	7	16	対面	箕面	
	25	たこ焼き手作り体験	9	6	15	対面	吹田	
	25	Game Event	4	16	20	対面	豊中	
6	3	スポーツフェスティバル	55	13	68	対面	吹田	OUISA 共催
	10	CITY WALK（大阪科学博物館）	15	4	19	対面	吹田	
	15	わらび餅作り	14	4	18	対面	吹田	
	15	たこ焼き	8	9	17	対面	豊中	
	23	クッキングパーティー	6	7	13	対面	箕面	
	26	Tea Party	3	5	8	対面	豊中	
	30	読書会	0	3	3	対面	箕面	
7	4	七夕イベント（笹とり）	1	3	4	対面	豊中	
	5	七夕短冊	1	0	1	対面	豊中	
	6	七夕飾り	10	9	19	対面	豊中	
	6	七夕短冊	3	1	4	対面	豊中	
	7	七夕短冊	13	12	25	対面	豊中	
	3～7	七夕イベント	9	1	10	対面	吹田	
	11	韓国お菓子タイム	12	9	21	対面	豊中	
	13	明石焼き作り	5	10	15	対面	吹田	
	21	Farewell Party	23	20	43	対面	箕面	
9	28～29	キャンパスツアー	57	4	61	対面	B.S.P.	OUISA 共催
	29	キャンパスツアー & 交流会	42	2	44	対面	豊中	
10	5	IJ キャンパスツアー	10	5	15	対面	吹田	
	2～6	Start Up Week	37	22	59	対面	豊中	
	6	キャンパスツアー	58	8	66	対面	箕面	
	18	Welcome Party	63	29	92	対面	豊中	
	20	Welcome Party	63	21	84	対面	箕面	
	27	Welcome Event	39	17	56	対面	吹田	OUISA 共催

月	日	イベント名	参加人数			形式	キャンパス	備考
			留学生	一般学生	合計			
11	13	おにぎり作り	12	3	15	対面	豊中	
	20	おにぎり作り	10	6	16	対面	吹田	
	26	Nature Walk to Uji	8	3	11	対面	吹田	
	28	韓国語おしゃべり会	9	3	12	対面	豊中	
12	1	たこやきパーティー	13	5	18	対面	箕面	
	6	おりがみ作り	13	8	21	対面	豊中	
	12	ナイトウォーク	13	5	18	対面	吹田	
	13	ディベートイベント	8	6	14	対面	豊中	
	14	ダルゴナ作り	16	7	23	対面	豊中	
	21	ナイトウォーク	12	5	17	対面	豊中	
	21	お茶会&スコーン作り	6	5	11	対面	吹田	
25	年越しそば&うどん	10	3	13	対面	箕面		
1	9	書き初め	14	8	22	対面	豊中	
	9	書き初め	11	4	15	対面	吹田	
	10	ディベートイベント	9	5	14	対面	豊中	
	11	書き初め	18	8	26	対面	箕面	
	16	ゲームイベント	5	5	10	対面	豊中	
	16	日本の遊び	13	1	14	対面	吹田	
	17	フルーツ飴作り	9	6	15	対面	豊中	
	19	ベビーカステラ作り	12	4	16	対面	豊中	
	26	餅作りイベント	5	6	11	対面	豊中	
26	フェアウェルパーティ	18	13	31	対面	箕面		
2	8	ディベートイベント	3	4	7	対面	豊中	

表 4-2 令和5年度B.S.P.の活動内容（言語カフェ）

学期	イベント名	実施回数	参加人数			キャンパス	備考
			留学生	一般学生	合計		
春・夏学期	日本語カフェ	9	65	44	109	吹田	
	日本語カフェ	13	280	113	393	豊中	
	日本語カフェ	15	126	98	224	箕面	
	英語カフェ	9	55	53	108	吹田	
	英語カフェ	3	38	30	68	豊中	
	英語カフェ	4	30	43	73	箕面	
	中国語カフェ	2	20	4	24	豊中	
	中国語カフェ	4	35	33	68	箕面	
	韓国語カフェ	2	24	9	33	豊中	
	韓国語カフェ	3	11	29	40	箕面	
	フランス語カフェ	7	18	42	60	箕面	
	ロシア語カフェ	4	33	27	60	箕面	
	トルコ語カフェ	3	19	26	45	箕面	
	イタリア語カフェ	4	10	23	33	箕面	
	アラビア語カフェ	2	5	18	23	箕面	
	スペイン語カフェ	2	8	40	48	箕面	
	ドイツ語カフェ	2	14	20	34	箕面	
	ヒンディー語カフェ	3	16	15	31	箕面	
	ポルトガル語カフェ	3	19	8	27	箕面	

学期	イベント名	実施回数	参加人数			キャンパス	備考
			留学生	一般学生	合計		
秋・冬学期	日本語カフェ	12	83	42	125	吹田	
	日本語カフェ	12	258	90	348	豊中	
	日本語カフェ	11	167	67	234	箕面	
	英語カフェ	10	60	47	107	吹田	
	英語カフェ	2	25	14	39	豊中	
	英語カフェ	7	41	41	82	箕面	
	アラビア語	1	3	1	4	箕面	
	イタリア語	1	2	3	5	箕面	
	インドネシア語	2	15	17	32	箕面	
	英語	7	41	41	82	箕面	
	韓国語	3	13	15	28	箕面	
	スウェーデン語	2	1	7	8	箕面	
	スペイン語	4	22	26	48	箕面	
	タイ語	1	4	1	5	箕面	
	中国語	6	33	24	57	箕面	
	ドイツ語	3	16	16	32	箕面	
	トルコ語	4	17	16	33	箕面	
	日本語	11	167	67	234	箕面	
	ビルマ語	1	1	4	5	箕面	
	ヒンディー語	1	5	3	8	箕面	
	フランス語	1	8	6	14	箕面	
	ベトナム語	2	13	8	21	箕面	
	ポルトガル語	2	4	15	19	箕面	
	モンゴル語	1	1	1	2	箕面	
ロシア語	3	19	12	31	箕面		

表5 令和5年度大阪大学留学生会（OUISA）の活動内容

月	日	イベント名	参加人数			キャンパス	備考
			留学生	一般学生	計		
4	14	Welcome Event	50	11	61	吹田	B.S.P. 共催
	18	Daily life orientation	0	0	0	吹田	
	20	Book Swap Fair	8	0	8	吹田	
	24	OUISA HOUR ～ VIETNAM ～	5	3	8	吹田	形態：ハイブリッド（うちオンライン 留学生2人、一般学生1人）
	30	いちょう祭イベント	54	52	106	吹田	B.S.P. 共催
5	1	いちょう祭イベント	26	62	88	吹田	B.S.P. 共催
	19	OUISA HOUR ～ Argentina ～	10	1	11	吹田	形態：ハイブリッド（うちオンライン 留学生2人、一般学生1人）
6	3	スポーツフェスティバル	55	13	68	吹田	B.S.P. 共催
	26	OUISA HOUR ～ PAKISTAN ～	18	1	19	吹田	形態：ハイブリッド（うちオンライン 留学生3人、一般学生1人）
7	27	OUISA HOUR ～ KOREA ～	8	0	8	吹田	形態：ハイブリッド（うちオンライン 留学生1人）
9	17	OUISA Nature Walk ～ Minoh Waterfalls ～	9	1	10		
	28～29	キャンパスツアー	57	4	61	吹田	B.S.P. 共催
10	20	Daily life orientation	10	0	10	吹田	
	27	Welcome Event	39	17	56	吹田	B.S.P. 共催

月	日	イベント名	参加人数			キャンパス	備考
			留学生	一般学生	計		
11	19	OUISA Nature Walk ~ Kurama ~	24	2	26		
	24	Lunch Hour	12	0	12	吹田	
12	6	OUISA HOUR ~ Serbia ~	7	0	7	吹田	
	15	Lunch Hour	8	0	8	吹田	
	20	Secret Gift Swap	15	5	20	吹田	
1	14	City Walk ~ Osaka Castle Illumination ~	13	1	14		
	19	Lunch Hour	6	1	7	吹田	
	22	OUISA HOUR ~ France ~	10	2	12	吹田	形態：ハイブリッド（うちオンライン 留学生1人、一般学生1人）
	26	Mochi Making	16	3	19	吹田	
2	6	OUISA HOUR ~ Mexico ~	10	1	11	吹田	形態：ハイブリッド（うちオンライン 留学生1人）
	13	OUISA LUNCH HOUR	4	0	4	吹田	
3	8	OUISA LUNCH HOUR	3	0	3	吹田	

(4) 学内連携

国際教育交流センターは、学内の各部署の留学生関係者との連携の強化も継続して実施している。各部署の留学生相談室フロントスタッフと連携した組織「大阪大学留学生支援フロントスタッフネットワーク」の定例ミーティングを定例で計4回実施し、それ以外にも必要に応じて電話やメール等で連絡や意見交換を行った。毎年開催されている国際教育交流センター及びキャンパスライフ健康支援・相談センター共催の国際教育交流／留学生支援連絡会は、令和5年8月28日に開催した。

2. 地域との連携

(1) 留学生支援ボランティアとの連携

地域との連携も引き続き積極的に行っている。ホストファミリープログラムについては、コロナ禍により見合わせていた大阪大学留学生ホストファミリープログラムを、2023年度秋冬学期に再開した。また連絡協議会を6月30日と1月19日の2回開催し、留学生の来日時期に合わせて、ホストファミリーの組み合わせの連絡調整や、ホストファミリープログラム等に関する意見交換を行い、ホストファミリーや地域のボランティアや関係者との連絡を緊密に取っている。表6は本年度までの団体別のホストファミリーと留学生の組み合わせ数である。

表6 大阪大学留学生ホストファミリープログラム組合せ団体別数推移

	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31/R1	R2	R3	R4	R5	計		
ホストファミリーグループ アミーゴ	4	7	8	8	7	15	8	16	8	12	11	11	9	15	10	13	14	12	16	13	11	10	7	9	8	11					5	273	
茨木市国際親善都市協会	4	13	12	8	11	18	8	7	8	11	7	12	11	15	13	10	9	6	8	7	10	7	10	16	10	14					8	265	
(公財)とよなか国際交流協会	0	18	15	7	17	20	19	14	19	27	16	14	29	42	85	80	73	68	80	73	63	62	65	79	73	67					16	1125	
(公財)箕面市国際交流協会	0	10	6	11	12	10	6	11	15	16	13	10	9	22	36	23	28	36	35	32	42	50	39	24	32	33					31	561	
NPO 法人トアエル*6	0	12	11	7	9	10	7	9	11	9	15	10	15	14	13	12	8	8	4	8	8	7	9	6	6	6					1	234	
(公財)吹田市国際交流協会	0	1	18	7	23	19	12	14	20	14	9	16	15	16	30	28	24	29	32	39	41	47	62	61	61	64	新型コロナウイルスのため中止	新型コロナウイルスのため中止	新型コロナウイルスのため中止		13	702	
国際交流の会とよなか(TIFA)	0	1	6	9	9	9	10	9	13	11	25	20	18	14	12	14	15	15	13	19	18	11	14	13	13	15					6	326	
川西市国際交流協会*1									11	13	14	9	9	19	16	12	11	9	6	15	14	15	10	7	10	14					4	214	
留学生さとおやの会*2													5	8	7	6	7	6	6	7	10	8	11	9	10	13	13					4	126
海外協力グループクスクス*3															7	12	11	13	6	4	6	10	9	11	11	9					5	109	
国際交流グループチャーターボックス*4																11	12	9	8	12	10	11	13	8	10	9						113	
三井ボランティアネットワーク事業団*7																							3	3	3	4					2	13	
シルバーアドバイザーネットワーク大阪*8																									8	11					6	19	
SA 豊中																															1		
OHP/IRISに直接登録*5	3	3	6	5	8	17	20	17	20	2	5	6	4	6	19	17	20	15	25	27	24	32	29	35	38	14					N/A	417	
計	11	65	82	62	96	118	90	97	125	115	115	113	127	170	247	239	231	226	240	259	255	273	279	282	296	284					102	4497	

*1 川西市国際交流協会のメンバーと留学生とのホストファミリー組合せは平成14年10月開始

*2 留学生さとおやの会のメンバーと留学生とのホストファミリー組合せは平成17年4月開始

*3 海外協力グループクスクスのメンバーと留学生とのホストファミリー組合せは平成20年9月開始

*4 チャーターボックスのメンバーと留学生とのホストファミリー組合せは平成21年4月開始

*5 ホストファミリーの学内公募平成19年8月開始

*6 池田ホームステイ友の会は平成24年3月で終了、平成24年9月より池田市国際交流協議会、平成29年4月より池田市公益活動促進協議会として参加

令和5年7月よりNPO法人トアエルに名称変更

*7 三井ボランティアネットワーク事業団のメンバーと留学生とのホストファミリー組合せは平成28年10月開始

*8 シルバーアドバイザーネットワーク大阪のメンバーと留学生とのホストファミリー組合せは平成30年4月開始

(2) 国際理解教育への協力

地域の学校における国際理解教育プログラムへの協力も引き続き実施した。表7は、令和5年度に国際理解教育プログラムにおいて協力した学校名、派遣した留学生数である。

近隣の市町の教育委員会とも連携しながら、地域の小中高等学校へ留学生を派遣した。留学生の派遣は、地域の学校からの依頼に対して、学校交流ボランティアに登録している留学生にメール等で案内を出して希望者を募り、学校側と留学生との事前打ち合わせを行い、実施後、実施校から報告書の提出、IRISで取りまとめ事例集の発行というプロセスで実施している。

表7 令和5年度「国際理解教育」実施状況

No	月	日	学校／プログラム名	派遣人数	派遣学生国籍
1	6	12	かんらんこども園	2	パキスタン、ドイツ
2	7	11	川西北陵高等学校	8	キューバ、ホンジュラス、バングラデシュ、パキスタン、トルコ、コロンビア、ミャンマー
3	10	17	茨木市立春日丘小学校	5	バングラデシュ、ホンジュラス、ウガンダ、ペルー、ドイツ
4	10	27	茨木市立豊川中学校	3	パキスタン、ペルー、ウガンダ
5	11	9	吹田市立第二中学校	4	タイ、ミャンマー、ウガンダ、中国
6	11	16	茨木市立平田中学校	5	ミャンマー、ウガンダ、中国、台湾、タイ
7	12	1	能勢町立能勢ささゆり学園	6	ミャンマー、カナダ、ウガンダ、中華人民共和国、ホンジュラス、台湾
8	12	4	豊能町立東能勢中学校	6	ケニア、ロシア、バングラデシュ、台湾、インドネシア、カナダ
9	12	19	関西大倉高等学校	20	インドネシア、ナイジェリア、バングラデシュ、ケニア、イラン、オランダ、チェコ、スリランカ、ミャンマー、台湾、カナダ、中華人民共和国、チュニジア
10	1	12	大阪府立豊中高等学校	26	オランダ、ホンジュラス、韓国、バングラデシュ、ウガンダ、中国、チェコ、ロシア、ミャンマー、スリランカ、カナダ、台湾、オーストリア、パキスタン、インドネシア、フランス
11	1	13	大阪府立茨木高等学校	45	オランダ、バングラデシュ、ホンジュラス、ウガンダ、インドネシア、中華人民共和国、ロシア、ミャンマー、ケニア、ペルー、フィリピン、カナダ、ルワンダ、台湾、パキスタン、チェコ、フランス、スリランカ、インド、韓国、タイ、インド、韓国、タイ
12	2	3	大阪府立千里高等学校	12	ロシア、ペルー、パキスタン、中国、台湾、キューバ、イラン、韓国、ラトビア
13	2	8	大阪府立住吉高等学校	11	中華人民共和国、ミャンマー、ホンジュラス、ナイジェリア、ラトビア、ウガンダ、カナダ、フランス、台湾、インドネシア
14	2	14	能勢町立能勢ささゆり学園	10	ホンジュラス、大韓民国、ラトビア、カナダ、ミャンマー、台湾、ロシア、ケニア、インドネシア、ウガンダ

計：14件／163名

(3) 大阪大学国際同窓会

大阪大学国際同窓会（OUIAA）は、阪大に在籍し、卒業・評価修了した元留学生の同窓会として、2010年9月25日、大阪大学創立80周年記念事業の一環として設立された。OUIAAの主な目的は、同窓生の国際的なソーシャルネットワークを構築し、本学と地域社会との関係を強化することである。「Live Locally, Support Globally」というモットーの元、阪大を卒業した留学生らが積極的に活動している。

表8 令和5年度大阪大学国際同窓会（OUIAA）の活動内容

No	年	月	日	イベント名	参加人数
1	2023	4	1	OUIAA Reunion	8名
2		5	13	Welcome Party 2023（対面）	27名（CIEE 2名）
3		6	17	Career Talk	30名（CIEE 3名、OUIAA 2名）
4		9	24	餃子パーティ&定例会議	11人
5		10	21	ピクニック&フリスビー（代々木公園）	10人
6		11	25	ハイキング（神奈川県大山）	12名
7		12	2	ポットラック忘年会	9名（online 2名）
8		12	13	定例会議	6名（online 1名）
9		12	26	オンライン忘年会	10名
10	2024	1	27	OUIAA Game Party	7名
11		3	9	定例会議	8名（online 5名）

3. 留学生に対するキャリア支援

日本での就職を希望している外国人留学生を支援する目的で、令和5年度、国際教育交流センターでは、「留学生のための就職対策講座」を全9回開催した。また個々の相談に対応するため就職相談コーナーを開設した。

(1) 留学生のためのキャリアセミナーシリーズ

2023年11月より2024年2月にかけて「留学生のためのキャリアセミナーシリーズ」を開催した。



今年度は、博士課程の学生を対象とした内容や、英語で行われるセミナー（図1参照）の割合を増やした。外部講師や学内のキャリアカウンセラー、内定者の留学生、OB・OGなどの協力を得て、全9回のセミナーが開催され、参加者数は合計176名となった



図1 キャリアセミナーシリーズポスター

(i) アンケート調査結果

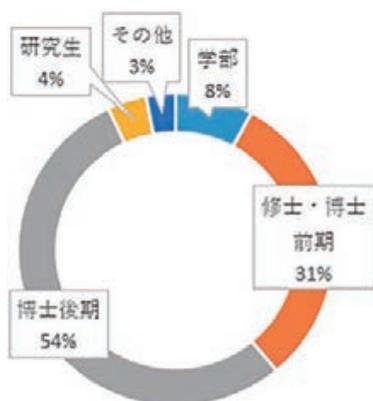


図2 申込者の学年

申込者の所属別では工学系が最も多く104名であった(図2)。学年では博士後期の学生が最も多く166名で、全体の54%を占めた(図3)。全9回のうち、第1回「日本就職対策」の参加者が最も多く30名、次に第4回「博士のキャリア・デヴェロップメントを考える」の26名が続いた(表1)。

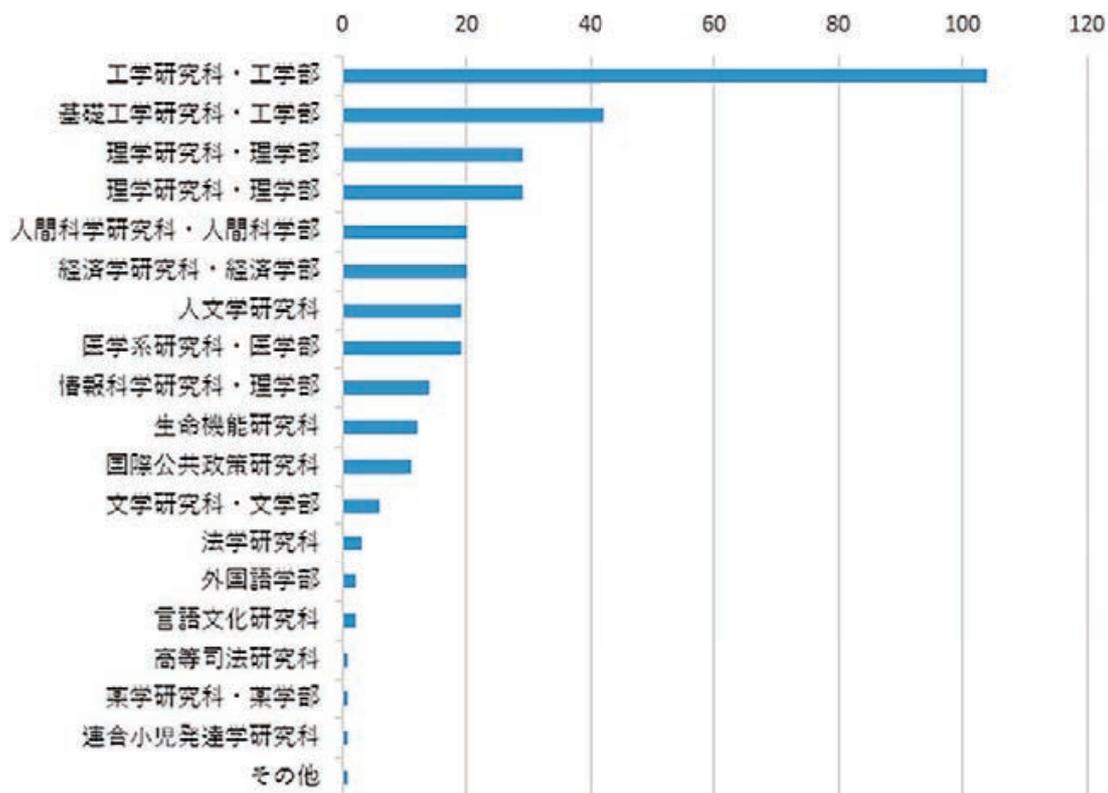


図3 申込者の所属

表1 各回の参加状況およびアンケート好評率

	セミナータイトル	開催言語	開催形式	申込者数	参加者数 (参加率)	アンケート回 答数 (回答率)	好評率 5段階評価の「非常に良 かった」&「良かった」
1	日本就職対策	英語	Online	45	30 (67%)	13 (43%)	100%
2	内定者による経験談	日本語	Online	26	23 (88%)	5 (22%)	100%
3	内定者による経験談&阪大の就活 支援に関する説明	英語	Online	33	21 (64%)	7 (33%)	86%
4	博士のキャリア・デヴェロップメ ントを考える	英語	対面	45	26 (58%)	24 (92%)	100%
5	博士のための就職対策	英語	対面	49	21 (43%)	18 (86%)	83%
6	就職面接試験のマナー&グループ ディスカッション対策	日本語	対面	21	13 (62%)	13 (100%)	92%
7	OB-OG 体験談	日本語	Online	29	16 (55%)	9 (56%)	89%
8	就職面接試験練習会	日本語	対面	17	9 (53%)	9 (100%)	89%
9	理系留学生 (研究職・技術職) の ための就職セミナー	英語	Online	42	17 (40%)	12 (71%)	92%
				307	176 (58%)	110 (63%)	93%

(2) 留学生のためのキャリア相談コーナー

留学生の就職活動に対する「迷い」や「悩み」に対処するため留学生のためのキャリア・進路相談を行っている。対面は吹田、豊中および箕面キャンパスで週1回開室している。2023年度利用者数はのべ148名、うち対面相談が延べ57名（昨年度36名）、ZOOM相談が延べ15件（昨年度24件）、メールによる相談は延べ76件（昨年度168件）となっている。（図4～6、表2 & 3参照）

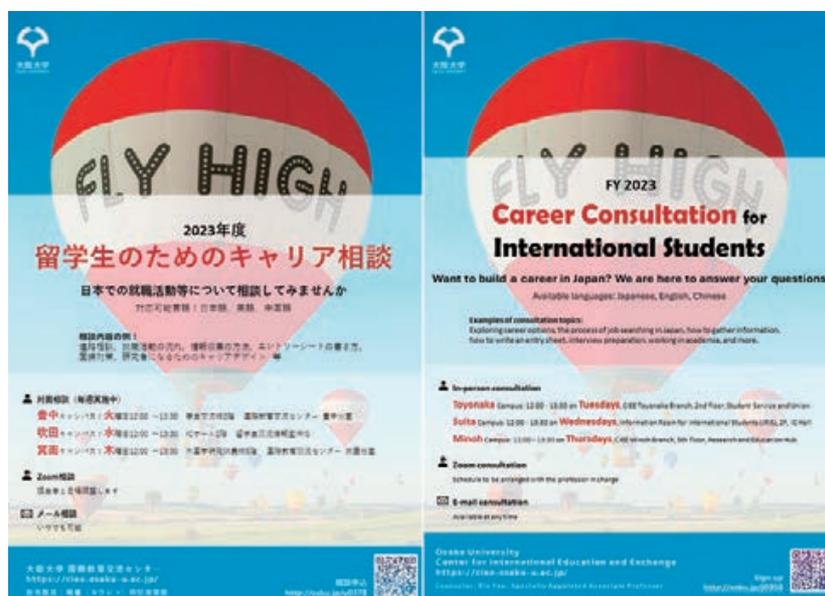


図4 キャリア相談ポスター

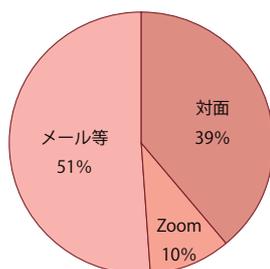


図5 相談形式

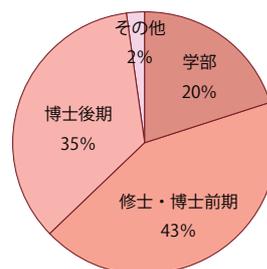


図6 利用者の学年

表2 利用者の所属

所属	のべ人数
経済	31名
理学	24名
人文	20名
工学	16名
国際公共政策	10名
医学、基礎工、人科、法学、その他（交換留学生等）	各7名
生命	5名
連合小児	3名
情報	2名
産研、外国語学部	各1名

表3 利用者の国籍・地域

国籍	のべ人数
China	83名
Korea	18名
Indonesia	9名
Malaysia	7名
SriLanka	4名
Taiwan	4名
Egypt, Iran, Jordan, The Netherlands	各2名
Bangladesh, Cuba, Czech, El Salvador, Germany, India, Kazakhstan, Kenya, Myanmar, New Zealand, Pakistan, Singapore, Sudan, Tunisia, US	各1名

主な相談内容は以下の通りである。

日本での就職の流れ、スケジュール/日英語エントリーシートや履歴書の書き方、応募書類のチェック/面接対策、練習/インターンシップについて/イベント情報の探し方/博士就職の特殊性/研究開発職について/大学での就職について

(3) その他の支援

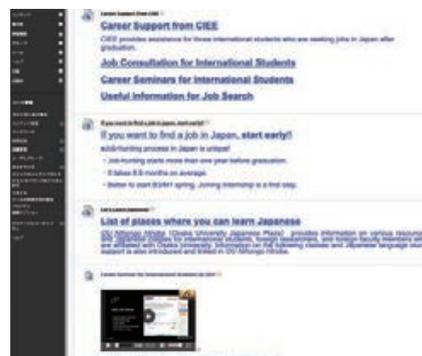
その他、英語で就活情報を収集したい留学生が増えていることを受け、学内外のリソースに関する英語のガイドを作成し、そのコンテンツを CLE 内に掲載した。全学生が閲覧可能である。さらに、ウェブサイト及びメーリングリストでの情報発信も行った。



lc-2022-0037

Career Support for International Students/留学生のためのキャリアサポート

複数の教員



Ⅶ. 海外派遣留学支援

国際教育交流センターでは、本学学生の海外派遣留学を促進・支援するために、毎年様々な取り組みを行っている。留学を希望する学生数の増加や休暇期間を利用した語学留学へのニーズに応え、短期語学研修プログラムを企画・実施するとともに、海外留学オリエンテーションでの情報の提供や、学期中の相談体制を通じて、留学に対する学生の疑問や不安にこたえ、サポートを充実させている。

1. 短期語学研修プログラム

短期語学研修プログラムは、海外体験を希望する学生への夏季・春季休暇を活用した語学留学機会の提供に加え、協定校への交換留学に向けたステップとなる海外体験としても位置付けている。2020年以降新型コロナウイルス感染拡大の影響により、対面での研修が全て中止となった。2021年の春季までは対面の代替プログラムとしてオンラインでのプログラムを実施していたが、2022年度以降、オンラインプログラムを残しつつ、対面でのプログラムを再開した。

夏季語学研修プログラムでは、米国・ハワイ大学マノア校による5週間の対面プログラム（2023年8月21日～9月22日）とフィリピン・エンデランカレッジによる3週間のオンラインプログラム（2023年8月14日～9月1日）を実施した。また春季語学研修では、フィリピン・エンデランカレッジによるオンラインプログラム（2024年2月19日～3月8日）とオランダ・グローニンゲンの対面プログラム（2024年2月18日～3月3日）を実施した。本語学研修プログラムでは、学生の学びを最大限に引き出すため、プログラムの前後に事前・事後学習を参加学生は受講することになっている。事前研修では、研修中の目標設定を行い、事後研修では設定した目標の達成度を確認した後、今後の語学学習の目標を考える機会とした。事前・事後学習は、これまで対面で実施していたが、2022年度よりCLEを活用しオンラインで提供し始め、学生が都合の良い日時に受けられるようにしている。

2022年度より現地に赴く語学研修プログラムを再開したが、より多くの学生が海外語学研修に参加できる機会を提供するために、オンラインでのプログラムも引き続き提供する予定である。オンラインのプログラムには、これまで参加しなかった学部や研究科からの学生の参加者があり、多様な学生の留学へのニーズに応えるようにしている。学部や研究科のカリキュラム上、大学を離れることが難しい学生にとっては、新たな学びの機会となっているようである。

(1) 研修日程と参加者リスト

2023年度ハワイ大学マノア校夏季語学研修プログラム
(2023.8.21-9.22実施)

	プログラム期間	所属部局	学年
1	8月21日～9月22日	文学部	U3
2	8月21日～9月22日	人間科学部	U2
3	8月21日～9月22日	経済学部	U3
4	8月21日～9月22日	理学部	U1
5	8月21日～9月22日	医学部(保)	U2
6	8月21日～9月22日	医学部(保)	U4
7	8月21日～9月22日	歯学部	U4
8	8月21日～9月22日	薬学部	U2
9	8月21日～9月22日	工学部	U2
10	8月21日～9月22日	工学部	U2
11	8月21日～9月22日	工学部	U3
12	8月21日～9月22日	基礎工学部	U3
13	8月21日～9月22日	外国語学部	U2
14	8月21日～9月22日	外国語学部	U3
15	8月21日～9月22日	外国語学部	U3
16	8月21日～9月22日	外国語学部	U4

2023年度エンデランカレッジ夏季語学研修プログラム
(オンライン)
(2023.8.14-9.1実施)

	プログラム期間	所属部局	学年
1	8月14日～9月1日	人文学研究科	M1
2	8月14日～9月1日	文学部	U3
3	8月14日～9月1日	法学部	U1
4	8月14日～9月1日	法学部	U2
5	8月14日～9月1日	基礎工学部	U2
6	8月14日～9月1日	外国語学部	U1

2023年度グローニンゲン大学短期滞在学修プログラム
(2024.2.18-3.3実施)

	プログラム期間	所属部局	学年
1	2月18日～3月3日	人間科学部	U2
2	2月18日～3月3日	経済学部	U2
3	2月18日～3月3日	工学部	U2
4	2月18日～3月3日	工学部	U3
5	2月18日～3月3日	外国語学部	U2
6	2月18日～3月3日	外国語学部	U2

2024年度エンデランカレッジ春季語学研修プログラム
(オンライン)
(2024.2.19-3.8実施)

	プログラム期間	所属部局	学年
1	2月19日～3月8日	法学部	U1

2. 海外留学オリエンテーション

国際教育交流センターでは、本学の学生の海外派遣留学促進のために様々な取り組みを行っている。留学を希望する学生数の増加に応え、短期語学研修プログラムの実施、海外留学オリエンテーションでの情報の提供、相談対応による疑問や不安の解消に努めている。

2023年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、オンラインで実施し、配布資料や当日のビデオを大阪大学のホームページに掲載した。また、海外留学フェアは今年度も中止となった。

(1) 海外留学オリエンテーション入門編

主に新入生を対象とし、入学当初の段階で海外への興味関心を喚起する目的で、1・2年生が共通教育を受ける豊中キャンパスで実施を予定していた。オリエンテーションの主な内容は、在学中の交換留学制度や夏季・春季休暇を使った短期語学研修プログラムの説明のほか、プログラム参加学生の体験談や、質疑応答である。また、交換留学に向けた準備として、交換留学生と本学の一般学生が共に受講する英語科目である国際交流科目や、教員や留学経験学生による留学相談などの情報提供も行う予定であった。

(2) 大学間交換留学オリエンテーション

交換留学の制度と手続きを解説する大学間交換留学オリエンテーションを国際部国際学生交流課の協力のもと開催している。

表1 オリエンテーションの開催日時と参加者数

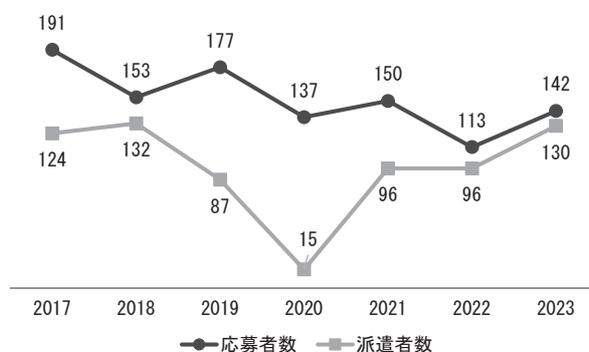
	開催場所	開催日時	参加者数
海外留学オリエンテーション	オンライン	4月20日（木）	87
大学間交換留学オリエンテーション	オンライン	7月11日（火）	110

3. 大学間交換留学者数

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、2021年度春夏学期の大学間交換留学派遣は全て中止となったが、2021年6月15日、文部科学省により「安全確保の徹底を前提として海外への約1年間の長期留学を容認する通知」が出されたため、同年の8月以降、交換留學生の派遣が再開された。今ではコロナ前の状態にすっかり戻りつつあり、2023年度の応募者数は142名で、そのうち派遣された学生は、計130名（うちオンライン2名）であった（表2と表3参照）。

表2 大学間交換留学応募者数と派遣者数の推移

	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
応募者数	191	153	177	137	150	113	142
派遣者数	124	132	87	15	96	96	130



※2020年度の派遣者15名、2021年度の96名中9名、2022年度の96名中6名、2023年度の130名中2名はオンラインによる参加。

表3 交換留学派遣推薦者数（大学間協定）

学部・ 研究科名	協定校	国名	地域名	2023	
					うちオンライン
全部局	ガジャマダ大学	インドネシア	ア ジ ア	1	
全部局	チュラロンコン大学	タ イ	ア ジ ア	1	
全部局	高麗大学校	韓 国	ア ジ ア	1	
全部局	ソウル大学校	韓 国	ア ジ ア	2	
全部局	漢陽大学校	韓 国	ア ジ ア	1	
全部局	釜山大学校	韓 国	ア ジ ア	5	
全部局	国立台湾大学	台 湾	ア ジ ア	1	
全部局	西安交通大学	中 国	ア ジ ア	1	
全部局	上海交通大学	中 国	ア ジ ア	1	
全部局	清華大学	中 国	ア ジ ア	2	
全部局	浙江大学	中 国	ア ジ ア	4	
全部局	大連理工大学	中 国	ア ジ ア	1	
全部局	復旦大学	中 国	ア ジ ア	1	
全部局	北京大学	中 国	ア ジ ア	1	
全部局	香港中文大学	香 港	ア ジ ア	1	
全部局	シェフィールド大学	英 国	ヨーロッパ	2	
全部局	ダーラム大学	英 国	ヨーロッパ	1	
全部局	リーズ大学	英 国	ヨーロッパ	1	
全部局	ウィーン大学	オーストリア	ヨーロッパ	3	
全部局	イエーテボリ大学	スウェーデン	ヨーロッパ	2	
全部局	マドリード自治大学	ス ペ イ ン	ヨーロッパ	2	
全部局	コペンハーゲン大学	デンマーク	ヨーロッパ	4	
全部局	南デンマーク大学	デンマーク	ヨーロッパ	2	
全部局	アーヘン工科大学	ド イ ツ	ヨーロッパ	1	
全部局	アウクスブルク大学	ド イ ツ	ヨーロッパ	1	
全部局	エアランゲン・ニュルンベルク・フリードリヒ・アレクサンダー大学	ド イ ツ	ヨーロッパ	1	
全部局	ゲッティンゲン大学	ド イ ツ	ヨーロッパ	1	
全部局	ハイデルベルク大学	ド イ ツ	ヨーロッパ	3	
全部局	ミュンヘン工科大学	ド イ ツ	ヨーロッパ	1	
全部局	ミュンヘンルートヴィヒ・マクシミリアン大学	ド イ ツ	ヨーロッパ	4	
全部局	ヨハン・ヴォルフガング・ゲーテ大学フランクフルト・アム・マイン	ド イ ツ	ヨーロッパ	5	
全部局	ルール・ボーフム大学	ド イ ツ	ヨーロッパ	5	
全部局	オスロ大学	ノルウェー	ヨーロッパ	5	
全部局	オーボアカデミー大学	フィンランド	ヨーロッパ	2	
全部局	ヘルシンキ大学	フィンランド	ヨーロッパ	2	
全部局	エクス・マルセイユ大学	フ ラ ンス	ヨーロッパ	4	
全部局	グルノーブル・アルプ大学	フ ラ ンス	ヨーロッパ	3	
全部局	ストラスブール大学	フ ラ ンス	ヨーロッパ	3	
全部局	ボルドー大学	フ ラ ンス	ヨーロッパ	4	
全部局	サンクトペテルブルク大学	ロ シ ア	ヨーロッパ	2	2
全部局	オレゴン大学	ア メ リ カ	北 米	3	
全部局	ウェズリアンカレッジ	ア メ リ カ	北 米	1	
全部局	カリフォルニア大学	ア メ リ カ	北 米	12	

学部・ 研究科名	協定校	国名	地域名	2023	
					うちオンライン
全部局	ジョージア大学	アメリカ	北米	3	
全部局	テキサス A&M 大学	アメリカ	北米	2	
全部局	パデュー大学	アメリカ	北米	1	
全部局	ライス大学	アメリカ	北米	1	
全部局	ワシントン大学	アメリカ	北米	1	
全部局	トロント大学	カナダ	北米	2	
全部局	ブリティッシュ・コロンビア大学	カナダ	北米	2	
全部局	マックマスター大学	カナダ	北米	1	
全部局	カンピーナス大学	ブラジル	中南米	3	
全部局	サンパウロ大学	ブラジル	中南米	1	
全部局	アデレード大学	オーストラリア	オセアニア	3	
全部局	オーストラリア国立大学	オーストラリア	オセアニア	5	
全部局	モナシュ大学	オーストラリア	オセアニア	1	
大学間協定に基づく交換留学生数				130	2

4. 海外留学・研修等派遣前危機管理オリエンテーション

2023年度は、2023年8月10日に危機管理オリエンテーションをオンラインにて実施した。海外渡航時の危機管理・健康管理への意識を高めることを主目的とし、海外渡航中の健康管理など日常生活における危機管理に加え、テロを含む海外での治安に関する注意点などについての情報提供を行った。また、同内容は学内 Web にて動画および資料を公開し、海外渡航学生に随時情報が提供できる体制を整えた。

以下に、当日のスケジュールを示している。

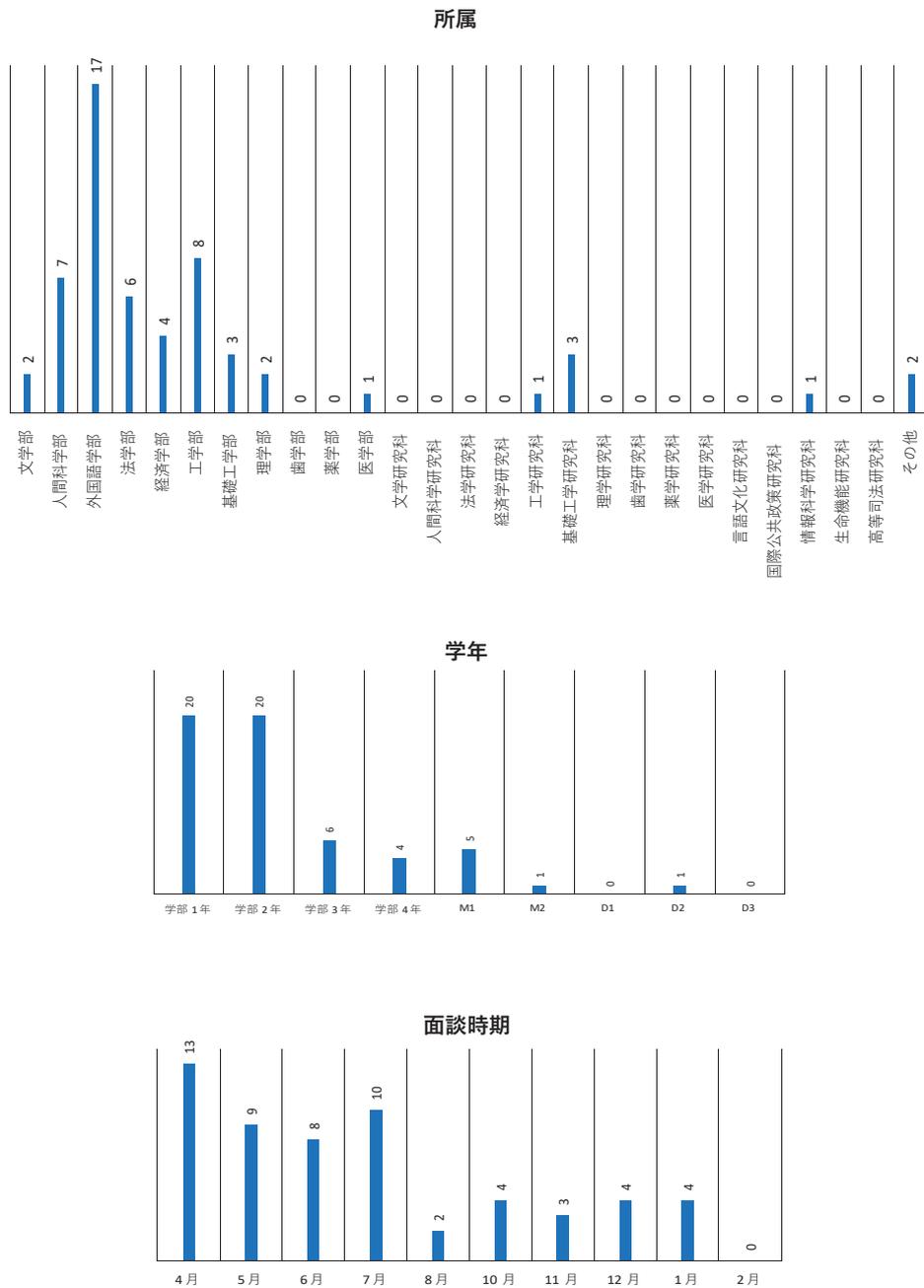
【プログラム】

<p>2023年度留学・海外研修等危機管理オリエンテーション</p> <p>1. 開催日時 令和5年8月10日(木) 11:30～13:00</p> <p>2. 開催形態 オンライン (ZOOM)</p> <p>3. オリエンテーションの内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「海外渡航時の諸手続きと留意事項について」 ・「海外渡航時の健康管理について」 ・「海外渡航時の危機管理および OSSMA サービスについて」
--

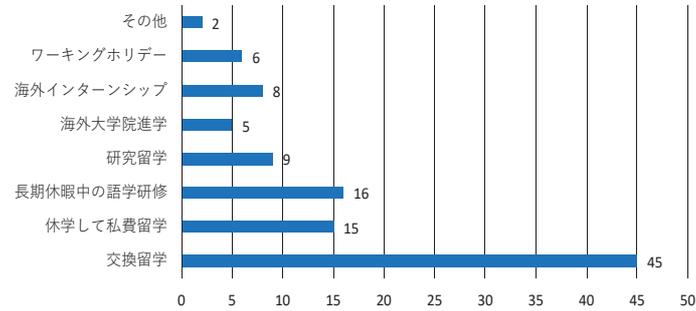
5. 海外留学相談

(1) 教員による留学相談

2023年度教員による留学相談は、授業期間中（2023年4月11日～2024年2月8日）にオンライン及び対面（豊中キャンパス）で、週に2回実施した。留学相談はポートフォリオシステムを用い、随時受け付けた。留学相談の利用者数の総数は96名（2022年度は133名、2021年度は138名）で、内訳は以下の通りである。（留学ポートフォリオシステムによる集計、有効回答者数は57名。）



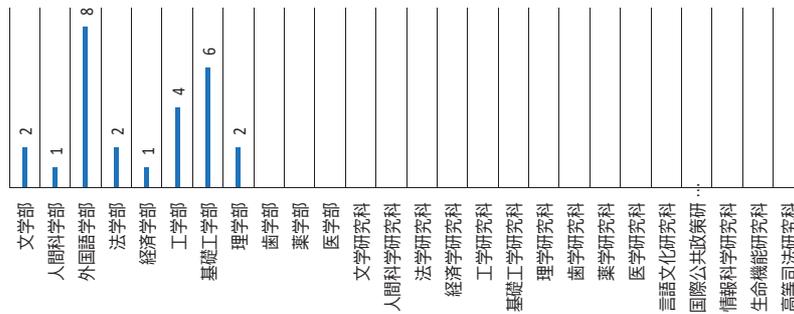
希望する留学形態



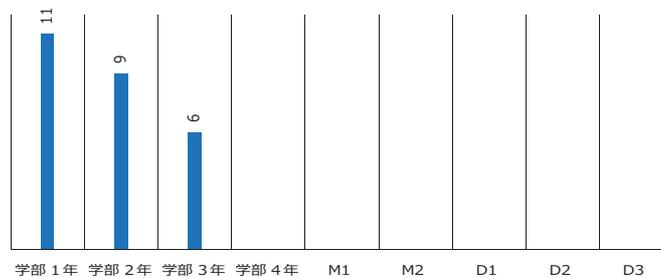
(2) 学生による留学相談

交換留学を経験した本学学生2名により Zoom にて定期的なオンライン留学相談を開催した。相談利用者の総数は26名（2022年度は39名、2021年度は65名、2020年度は16名）で、内訳は以下の通りである。

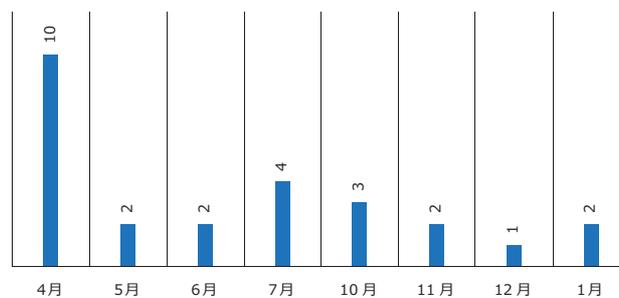
所属



学年

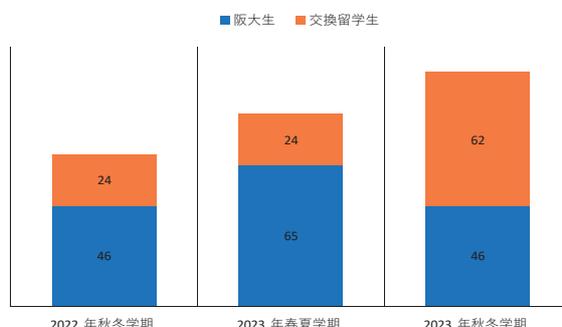


面談時期



6. 交換留学派遣・受け入れ学生交流会

令和4年度より協定校から本学で学んでいる交換留学生、海外の協定校で学び帰国した大阪大学の学生、これから留学をする学生、交換留学に興味のある学生を対象に交流会を実施している。留学生より大阪大学の日本人学生と知り合う機会がない、海外へ留学をした学生からは本学で学ぶ留学生とネットワークを広げたい、これから留学する学生からはすでに留学をした先輩から話を聞きたいというような声があり、このような機会を設けることとなった。令和5年度の春夏学期は5月9日(火)、秋冬学期は11月7日(火)の12:00～13:10までお昼の時間を活用し、豊中キャンパスのダイセルスタジオで、交換留学派遣・受け入れ学生交流会を実施した。春夏学期は阪大生65名、交換留学生24名、秋冬学期は阪大生46名、交換留学生62名の参加があった。交換留学生、留学を終え帰国した大阪大学の学生、来年から留学をする学生、交換留学に興味のある学生が本交流会に参加し、共に海外の大学での学びや経験を共有し、学生ネットワークを広げることができた。本交流会は学期ごとに一度今後も実施し、学生同士の交流の機会を提供していく予定である。



7. 英語学習支援プログラム Project HELP!

国際教育交流センターでは、2015年度から本学の英語学習者（メンティー）と英語が堪能な留学生（メンター）をマッチングし、メンティーの International English Language Testing System（英語力証明試験。以下、IELTS）のスコア向上をめざす3か月間の英語メンタリング学習プログラム「Project HELP!」（Harmonized English Language Program, 以下、HELP!）を実施している。海外留学に向けて英語能力を向上させたい阪大生「メンティー」と、その英語学習をサポートする意思のある「メンター」（主に大阪大学への留学生。母語は英語に限らない）をマッチングし、約3か月の期間内に90分×8回のメンタリングを行い、海外留学実現のために必要な英語力の獲得をめざす。

Project HELP! 概要	
目的	<ul style="list-style-type: none"> 留学生（Mentor メンター）：①日本理解の促進、②日本留学の魅力を上向きさせる「能動的社会参加」の提供 阪大生（Mentee メンティー）：①異文化理解、②留学可能レベルの外国語（英語）習得（IELTS6.0以上）をめざす
メンタリング	<ul style="list-style-type: none"> 90分×8回、3か月以内の終了をめざす 学習支援システム MEnTOR 上に学習記録記入 8回終了後、メンターへ認定証の発行
開始時期	2015年10月～
担当教職員	近藤佐知彦教授、石倉佑季子准教授、井奥智大哉特任助教、藤田陸事務補佐員、松澤早苗派遣職員
協力	ブリティッシュ・カウンシル、日本英語検定協会、アンザスイインターナショナル株式会社

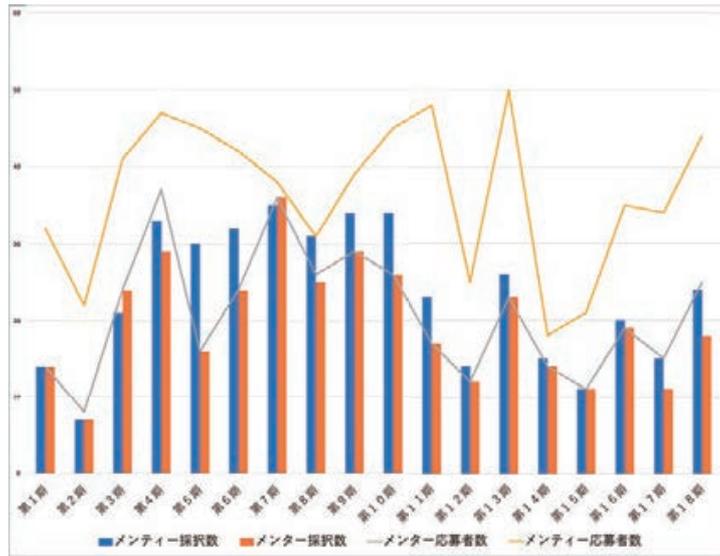
時期	スケジュール
3月/9月中旬	メンター募集開始
4月/10月初め	メンティーの募集開始
4月/10月半ば	メンター・メンティーのマッチング
4月/10月後半	HELP！オリエンテーション <ul style="list-style-type: none"> ・メンター：IELTS 講習会（プリティッシュ・カウンシルによる） ・メンティー：メンタリング、カルテの説明 ・顔合わせ（スケジュール提出）
5月/11月	メンタリング開始 <ul style="list-style-type: none"> ・MEntOR システムサポート ・各ペアのメンタリングのサポート ・中間アンケート
7月/1月	メンタリング終了
8月/2月	メンター審議・認定証発行 終了後アンケート、メンティー IELTS 受験予定日報告 メンティーは Project 開始から6か月以内に IELTS 受験

8回のメンタリング終了後、メンティーにはIELTS受験およびスコア報告を義務付けており、メンターには修了証が授与される。このように、外部機関の協力により制度化された本プログラムは、メンター・メンティーともに参加者満足度が高く、每期平均95%以上である。

メンターの国籍は様々であり、メンティーの所属学部・研究科については、外国語学部、法学部、経済学部、工学部・工学研究科、基礎工学部、医学部・医学研究科の学生による応募が多く、HELP！は全学的に需要のあるプログラムであるといえる。

説明会とオリエンテーションはパンデミックの影響により2020年度からオンラインで実施している。メンタリングは、学内の活動基準に合わせて、対面とオンライン併用可とした。参加者については、第15期は15組（メンター11名、メンティー15名）、第16期は24組（メンター18名、メンティー24名）であり、メンタリング修了率は、第17期は100%、第18期は87%であった。

長年実施してきたProject HELP！は、予算の関係で残念ながら本年度最後の実施となった。9年プロジェクトを継続する中で多くの知見を得ており、本プロジェクトで得た知見は学内の英語学習を支援するプログラムで活用できればと思う。



【HELP！ オンラインオリエンテーション】

Ⅷ. サポートオフィスの活動

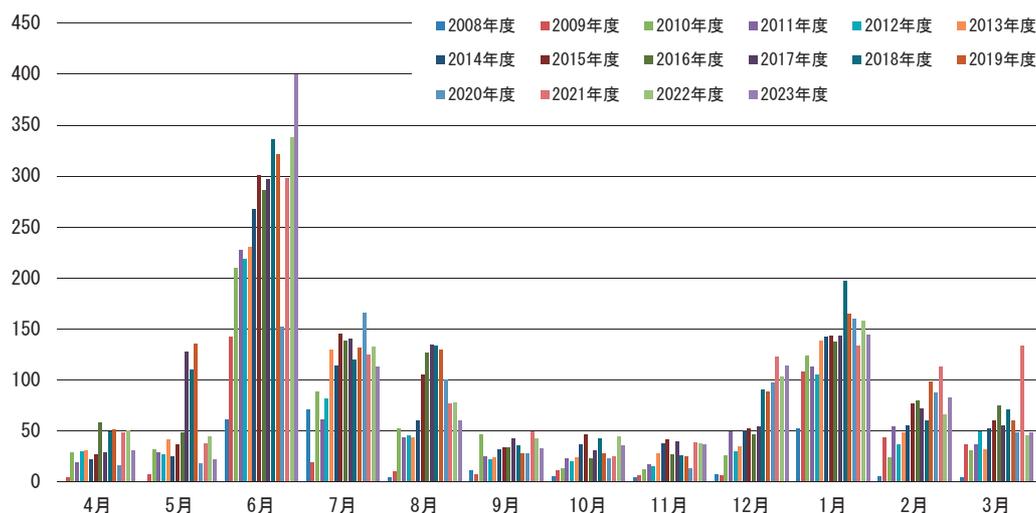
2007年10月に国際部学生交流推進課内に設置されたサポートオフィスは、大阪大学が文部科学省から国際化拠点整備事業（Global 30）に採択されたことに伴い、2009年10月国際教育交流センター（旧留学生センター）内に新オフィスを設立し、事業を拡大・拡充した。

サポートオフィスでは、留学生・外国人研究者およびその家族の方が必要とする、来日前の査証（ビザ）に関わる手続き、宿舎手配の支援、来日直後に必要な諸手続き、また日本滞在中に必要な在留手続き等を中心に、サポートや情報提供を行なっている。このような活動をとおして、世界中から大阪大学に来る留学生・外国人研究者と大阪大学のスタッフ全員の絆を大切に、留学生・外国人研究者が安心して日本で生活し、本来の目的である勉学・研究活動に集中できるように支援することを目指している。2023年度のサポートオフィスの主な取り組みは次のとおりである。



1. 査証（ビザ）関連手続きの支援

2023年度の在留資格認定証明書（CESR）交付申請手続きの件数は、「留学」910件、「教授」123件、「文化活動」53件、「家族滞在」35件、その他0件の計1121件であった。「留学」「教授」の申請件数が昨年度よりも増加の傾向にある。CESR Web 申請システムは、申請者が利用しやすくなるよう年々改良を重ねている。ビザ関連支援に関連する電話対応件数は約726件、窓口対応件数は約42件であった。グラフは2008年度からの月別のCESR Web 申請件数を示す。



2. 住宅・宿舎手配の情報提供・支援

2010年4月にUR都市機構との留学生・外国人研究者に対する賃貸住宅貸与に関わる全体での包括協定が締結され、連帯保証人不要・敷金減免や研究者向けには家具家電付住宅とNPOによる生活サポートサービスが実現した。これに伴い、URとの契約件数（入居者人数）は、2009年度は1件（1名）だったが、サポートオフィスが業務を引き継いだ2010年は10件（14名）、2011年度は33件（42名）、2012年度は48件（62名）、2013年度19件（26名）、2014年度43件（51名）、2015年度47件（60名）、2016年度77名と確実に支援実績を伸ばしている。2017年3月末日現在、約55名がキャンパス周辺のUR賃貸住宅に居住している。

2017年3月31日をもってサポートオフィスでのUR新規受付は終了し、4月1日以降は大阪大学生協マイルームにて受付並びに対応を開始した。ハウジングリクエスト機能は2019年7月31日をもって終了しているが、引き続きホームページにおいて、留学生や外国人研究者自身がおおよそどのような宿舎に該当するのかを導く宿舎ナビシステムの提供をしている。

2021年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止に係る水際対策の強化により、留学生の新規渡日は困難な状況が続き、在学中の学生にとっても、授業の多くがオンラインで実施される状況で、宿舎支援に関する電話対応件数は約18件、窓口対応件数は約5件と減少した。情報提供のツールとしてホームページの役割が増す中、大阪大学生協の協力を得て、「オンライン内覧」の案内を2020年10月から開始し、各種移動制限がある中での部屋探しをサポートすることができた。

2022年から、留学生向け物件取扱い実績のある学外の不動産仲介業者を選定、学内にいる大学生協マイルームと共に掲載したリストサポを作成しサポートオフィス主催の研修会やオリエンテーションで配布する、メールでの問い合わせの際に送付するなど案内を行っている。

3. 新規来日外国人留学生・研究者向けオリエンテーションの開催

サポートオフィスとIRISが主催となり、サイバーメディアセンターの協力のもと、新規来日者向けに、吹田・豊中キャンパスにて年2回オリエンテーションを開催した。上陸制限が徐々に解除され、2023年度の参加者の合計は179名と年々増加の傾向にある。主な内容は以下のとおりであった。

- ① 異文化での生活についてのアドバイス
- ② 学内外のコミュニティとネットワークの紹介
- ③ 在留資格に関する案内
- ④ 市役所等での手続きの案内
- ⑤ 学内の情報ネットワークの説明
- ⑥ 日本語履修についての説明（留学生対象）

2024年度 春期
新規来日留学生・外国人研究者向けオリエンテーション
 主催：サポートオフィス & IRIS (国際教養交流センター)

◆ 開催日時・場所

2024年 3月28日(木) 豊中キャンパス 全学教育推進機構 講義A棟 301講義室
 13時00分 受付開始 13時30分～14時25分 英語
 14時45分 受付開始 15時15分～16時10分 日本語

2024年 4月 5日(金) 吹田キャンパス コンベンションセンター1階 研修室
 13時00分 受付開始 13時30分～14時25分 英語
 14時45分 受付開始 15時15分～16時10分 日本語

◆ 実施内容

- ・大阪大学で新しい生活を始めるにあたってのアドバイス
- ・IRISとその他の学内外コミュニティについて
- ・在留資格、市役所などでの手続き
- ・大阪大学のインターネットサービスについて
- ・住居
- ・日本語プログラム履修方法について
- ・個別相談 (必参加)

大阪大学 豊中キャンパスマップ 吹田キャンパスマップ

サポートオフィス TEL: 06-6879-4750 E-mail: supportoffice@office.osaku.ac.jp

留学生交流情報室 (IRIS) TEL: 06-6879-7076 E-mail: iris@ice.osaku.ac.jp

4. 留学生・外国人研究者受入事務に初めて関わる担当者向け研修会の開催

留学生・外国人研究者の受入に関わる体制支援の強化を目指して、留学生・外国人研究者受入事務に初めて関わる担当者を対象に、受入に伴う在留資格認定証明書交付申請に必要な手続きや宿舍支援（情報提供）に関する研修会を以下の日程で開催した。グラフは研修会への参加者数の推移を示す。

【2023（R.5）年度第1回研修会】

参加者49名（教員0名，事務職員49名）

2023年5月29日（月）13:30-15:50（吹田）

2023年5月30日（火）13:30-15:50（豊中）

【2023（R.5）年度第2回研修会】

参加者名（教員1名，事務職員30名）

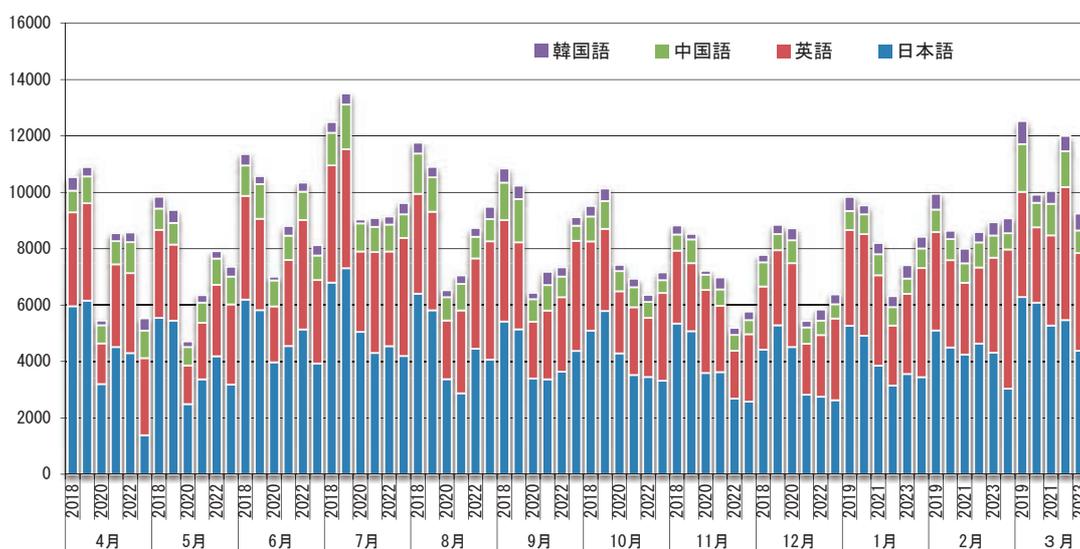
2023年12月4日（月）13:30-15:50（吹田）

2023年12月5日（火）13:30-15:50（豊中）



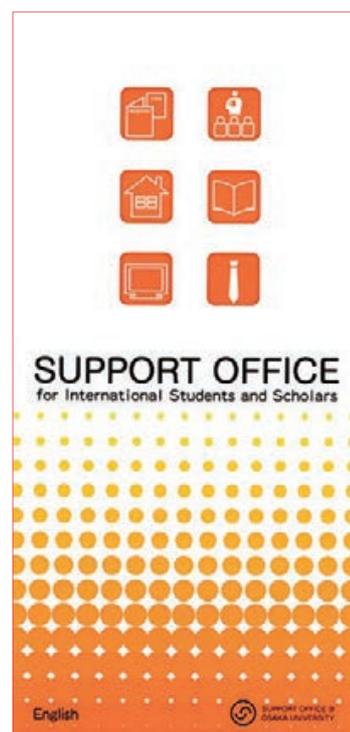
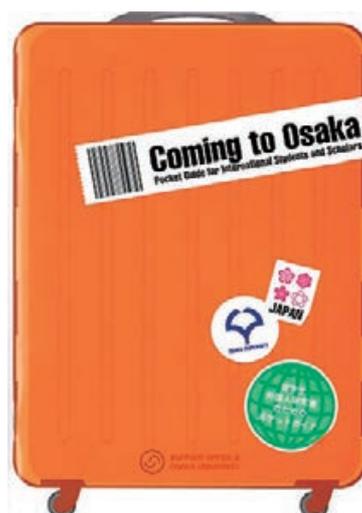
5. ホームページの管理運営

サポートオフィスの業務や留学生・外国人研究者が必要な情報を集約したホームページを4ヶ国語で公開している（日・英サイトは2010年4月より、中・韓サイトは2011年4月より公開）。2023年度のサイトの閲覧件数は、日本語サイトが約41,117件、英語サイトが約41,783件、中国語サイトが約8,131件、韓国語サイトが約4,433件であった。グラフは各言語の閲覧件数を示す。



6. 各種印刷物の改訂版作成・配布

『Coming to Osaka』は、主に CESR 送付時に E-mail で、『Living in Osaka』は新規来日者向けオリエンテーションおよび留学生・外国人研究者受入事務担当者研修会でホームページからのダウンロードを呼び掛けた。



IX. 大学院・学部教育

国際教育交流センター教員はそれぞれの専門分野に応じて、兼任教員として大学院・学部教育を担当している。以下、1. 授業担当、2. 研究指導、3. 研究指導学生学位論文の順で、教学活動を記述する。

1. 授業担当

(1) 人文学研究科

① 博士前期課程

【科目名】言語技術研究 A

【講義題目】日本語による書記言語によるコミュニケーション（村岡貴子）

【講義概要】本授業の目的は、日本語による書記言語の特徴と関連の概念について理解し、それをもとに、種々のメディアを通じたコミュニケーション、および言語教育の実践上の問題について考察することである。考察に際しては、ジャンル分析の手法等を援用しつつ、各種文書の具体的な言語資料を材料として表現やテキスト構造の分析を行った。また、関連の学術論文等の文献を読むことにより、書記言語でのコミュニケーションにおいて生じる誤解や、正確な伝達の不成功に関する課題についても認識を促した。

【科目名】言語技術研究 B

【講義題目】アカデミック・ライティングの実践と研究（村岡貴子）

【講義概要】本授業の目的は、関連の学術論文等の文献を読み、コミュニケーションの目的や場面に応じた、書記言語コミュニケーションとしてのライティング活動について理解を深めることである。特に、大学院生として研究活動を行う上で必要となるアカデミック・ライティングに関して、ディスコース・コミュニティの概念から、受講者各自の専門分野における事情や方法論を客観的に把握できることを目指した。原著論文をはじめ、レポートやレジュメ、要旨の作成といった、アカデミックな場面でのライティング活動の特徴、および多様な背景を有する読み手への配慮について、具体例に基づき、十分な意見交換を行った。

【科目名】コミュニケーション論 A

【講義題目】第二言語習得研究入門（義永美央子）

【講義概要】この授業では、まず第二言語習得研究の動向について指定図書購読をもとに検討した。その後、第二言語習得に関する研究のテーマや研究課題の設定、方法論の選択、データの収集と分析方法等について議論した。これらの過程を通じ、第二言語習得研究に関する理解を深め、受講生各自の今後の研究に役立てることを目指した。

【科目名】コミュニケーション論 B

【講義題目】外国語学習者エンゲージメント（義永美央子）

【講義概要】第二言語習得研究や教育心理学の分野では、近年、「エンゲージメント（engagement）」、

すなわち「学校に関連する活動や学業的な課題に対して、夢中になって取り組んでいる状態」(マーサー & ドルニエイ, 2022: 12) に注目が集まっている。学習者の主体的な学習を促すには、学習内容や学習活動への興味・関心を高めるとともに、認知的・感情的な関与を実際の行動へとつなげることが必要である。この授業ではまず、指定図書の購読に基づき、学習者エンゲージメントを理論と実践の両面から検討した。その後、エンゲージメントに関連する論文を読み、研究テーマや研究課題の設定、方法論の選択、データの収集と分析方法等について議論した。これらの過程を通じ、エンゲージメントに関する理解を深め、受講生各自の今後の研究や実践に役立てることを目指した。

【科目名】 第二言語教育実践研究 A

【講義題目】 IT による言語教育の拡張(1) (難波康治)

【講義概要】 第二言語教育あるいは外国語教育がどのように変化し、これからの語学学習がどうあればいいのかを検討し、新しい仕組みや考え方を、言語教育研究においてどのように役立てることができるのかを理論的／実践的に検討した。前期では IT と学習に関する基礎的な知識と研究方法を身につけることを目的に、言語学習の個別性と学習環境についての議論を行った。

【科目名】 第二言語教育実践研究 B

【講義題目】 IT による言語教育の拡張(2) (難波康治)

【講義概要】 現代の教育に欠かすことのできなくなった情報機器を用いた第二言語教育の実践について、そしてそのありかたと限界を、「インターフェイスの変革」という立場から検討した。前学期で議論した内容をもとに、実際の語学学習に、どのようにメディアを利用していけばよいかについて議論するとともに、リソース制作という観点から実践を体験した。具体的には、AR (Argumented Reality)/VR (Virtual Reality) の利用を含め、視覚的なリソースを現実的な形で語学学習に取り入れる方法を模索した。

【科目名】 第二言語社会・文化研究 A

【講義題目】 第二言語社会・文化研究入門 (大谷晋也)

【講義概要】 言語とは、文化とは、言語文化とは、そして言語文化教育とは何かということ、それらを取り巻く周辺領域を視野に入れながら再考した。世界の多言語・多文化状況を確認した後、フランスや日本などを例にとりながら、言語文化教育が担い、担わされてきた負の歴史について振り返るとともに、それを正へと転換する方策について考察した。

同時に、言語文化・言語文化教育、およびその周辺領域に関する時事問題について随時取り扱い、この方面に関する幅広い視野の形成を期した。

【科目名】 第二言語社会・文化研究 B

【講義題目】 言語文化教育の現状と課題 (大谷晋也)

【講義概要】 セネガル・チュニジア・ガンビア、イタリア・スペイン・オランダ・ノルウェー、アメリカ・メキシコ、香港・台湾・沖縄・シンガポール・ネパール、ニュージーランド・パラオなど、アフリカ・ヨーロッパ・アメリカ・アジア・オセアニアにまたがるさまざまな国や地域に焦点を当て、現在行われている言語文化教育を知るとともに、よりよい教育の可能性について、院生の発表を元

に検討した。

特に、異言語教育や少数言語に関する各国の言語（教育）政策を取り上げ、その目的と効果、理想と現実について知り、より平等で開かれた社会を目指した言語文化教育がどのようなものであるべきなのかを考察した。

同時に、言語文化・言語文化教育、およびその周辺領域に関する時事問題について随時取り扱い、この方面に関する幅広い視野の形成を期した。

【科目名】 グローバリゼーション論 A

【講義題目】 グローバリゼーションと国民国家（西村謙一）

【講義概要】 グローバリゼーションのあらわれとして認識されているさまざまな事象について概観したうえで、グローバリゼーションに関する各種の分析枠組みや概念の歴史的変遷を確認した。また、市民社会論についても、その概念の歴史的変遷について概観することによって、今日の「市民社会」のあり方を分析するための方法論の習得を目指した。さらに、アイデンティティに関する心理学的側面からの議論をおさえた後に、アマルティア・セン『アイデンティティと暴力』を参照しつつ、現代社会におけるアイデンティティのあり方について議論を行った。

【科目名】 グローバリゼーション論 B

【講義題目】 グローバリゼーションの中の市民社会（西村謙一）

【講義概要】 グローバリゼーションのもとで国家や国民の実態及び概念のあり方について、市民社会論やアイデンティティ論、エスニシティ論等を援用しつつ考察した。「グローバリゼーション論 A」で学んだ理論的枠組をもとに、具体的な事例を取り上げて多文化主義の構想、公共圏や親密圏のあり方、一国内における社会的包摂／排除等について検討した。

② 博士後期課程

【科目名】 言語コミュニケーション論特別研究 A（村岡貴子）

【科目名】 言語コミュニケーション論特別研究 B（村岡貴子）

【科目名】 コミュニケーション論特別研究 A（義永美央子）

【科目名】 コミュニケーション論特別研究 B（義永美央子）

(2) 人間科学研究科

① 博士前期課程

【科目名】 教育工学特定研究 I

【担当教員】 西森年寿、齊藤貴浩、村上正行、後藤崇志、岡本紗知

【講義概要】 教育工学における教育実践研究に関するテーマを中心として、この分野における重要な文献の輪読、研究方法論の習得、学外の研究者による研究紹介と議論を行う。

② 博士後期課程

【科目名】 教育工学特別演習 I

【担当教員】 西森年寿、齊藤貴浩、村上正行、後藤崇志、岡本紗知

【講義概要】教育工学における教育実践研究に関するテーマを中心として、この分野における重要な文献の輪読、研究方法論の習得、学外の研究者による研究紹介と議論を行う。

(3) 大学院高度副プログラム

【プログラム名】 インターカルチュラル・コミュニケーションの理論と実践

【プログラム実施部局／連携部局】 国際教育交流センター／人文学研究科

【履修対象者】 大学院博士前期（修士）課程学生および博士後期課程学生

【修了要件】 8単位以上を修得すること（原則として1年で修得すること）

【プログラムの趣旨・概要】 グローバル化、ポータレス化の進展に伴い、言語や文化を必ずしも共有しない人々の間でのコミュニケーションの必要性が大いに高まっている。こうした「インターカルチュラル・コミュニケーション」は、多様な価値観や思考様式への気づきを促す契機となる一方で、様々な誤解や対立を引き起こす場合もある。このような問題は、自文化で当然とされる言語行動様式等が共有されていないことが原因であることが多いものである。本プログラムでは、現代社会の多言語・多文化化の現状やインターカルチュラル・コミュニケーションに関する基礎理論を学ぶと同時に、実際のインターカルチュラル・コミュニケーション場面で生じる問題への対処方法について、実践的な課題を通じて考える。

【到達目標】 本プログラムでの学習を通じて多様性への自覚を促し、地球市民としての知恵と態度を涵養すること。また、各授業での協働的な学習活動を通じて、背景の異なる他者とのコミュニケーションの際に、他者の話を傾聴し、かつ、他者への配慮ある発信方法を獲得すること。

【カリキュラムの構成】

コミュニケーション論 A・B（義永美央子）、言語技術研究 A・B（村岡貴子）、第二言語社会・文化研究 A・B（大谷晋也）、グローバリゼーション論 A・B（西村謙一）から原則として1年以内に8単位を修得する。

(4) 学際融合教育科目

【春～夏学期】

科目名（日本語名称）	科目名（英語名称）	担当教員名
上級専門日本語 （アカデミック・ライティング）A	Advanced Japanese (academic writing) A	村岡 貴子
研究活動に必要な日本語による音声・書記言語コミュニケーションの世界	The world of oral and written language communication in Japanese for research activities	村岡 貴子
第二言語学習方法論	Methodology of Second Language Learning	義永美央子
上級専門日本語 （アカデミック・リーディング）A	Advanced Japanese (academic reading) A	西村 謙一
ICTを活用した留学生のためのキャリアデザイン*	ICT Supported Career Design for International Students	魚崎 典子
上級専門日本語 （アカデミック・コミュニケーション）A	Advanced Japanese (academic communication) A	瀬井 陽子

* 春学期のみの開講

【秋～冬学期】

科目名（日本語名称）	科目名（英語名称）	担当教員名
上級専門日本語 （アカデミック・ライティング）B	Advanced Japanese（academic writing）B	村岡 貴子
言語学習アドバイジング入門	Introduction to Advising in Language Learning	義永美央子
上級専門日本語 （アカデミック・リーディング）B	Advanced Japanese（academic reading）B	西村 謙一
上級専門日本語 （アカデミック・コミュニケーション）B	Advanced Japanese（academic communication）B	瀬井 陽子

(5) インターナショナル・カレッジ

【春～夏学期】

国際交流科目（※共通教育科目の基礎教養科目として設定）

科目名（日本語名称）	科目名（英語名称）	担当教員名
オンライン・リソースを活用したL2学習	Second Language Learning with Online Resources	魚崎 典子
日本における大学の国際化	Internationalization of Higher Education in Japan	石倉佑季子
日本の社会とイデオロギー	Japan: Society and Ideology	近藤佐知彦
科学英語入門	Introduction to Scientific English	岡本 紗知

日本語100～600レベル

科目名（日本語名称）	科目名（英語名称）	担当教員名
国際コミュニケーションセミナー日本語103	International Communication Seminar（Japanese）103	難波 康治
国際コミュニケーションセミナー日本語203	International Communication Seminar（Japanese）203	大谷 晋也
国際コミュニケーションセミナー日本語303	International Communication Seminar（Japanese）303	中俣 尚己
国際コミュニケーションセミナー日本語403	International Communication Seminar（Japanese）403	義永美央子
国際コミュニケーションセミナー日本語500e	International Communication Seminar（Japanese）500e	山田真知子
国際コミュニケーションセミナー日本語500f	International Communication Seminar（Japanese）500f	中俣 尚己
国際コミュニケーションセミナー日本語600e	International Communication Seminar（Japanese）600e	大谷 晋也
国際コミュニケーションセミナー日本語600f	International Communication Seminar（Japanese）600f	矢部 正人

日本語700レベル（共通教育科目）

科目名（日本語名称）	科目名（英語名称）	担当教員名
総合日本語	Japanese for Advanced Communication	難波 康治
総合日本語	Japanese for Advanced Communication	福良 直子
専門日本語	Japanese for Academic Purposes	義永美央子
専門日本語	Japanese for Academic Purposes	難波 康治
多文化コミュニケーション（日本語）	Communication in Multicultural Contexts（Japanese）	岡本 紗知
多文化コミュニケーション（日本語）	Communication in Multicultural Contexts（Japanese）	大谷 晋也
多文化コミュニケーション（日本語）	Communication in Multicultural Contexts（Japanese）	西村 謙一
多文化コミュニケーション（日本語）	Communication in Multicultural Contexts（Japanese）	有川 友子
多文化コミュニケーション（日本語）	Communication in Multicultural Contexts（Japanese）	石倉佑季子

【秋～冬学期】

国際交流科目（※共通教育科目の基礎教養科目として設定）

科目名（日本語名称）	科目名（英語名称）	担当教員名
文化：その理解へのアプローチ	Approaches to Understanding Cultures	有川 友子
異文化コミュニケーション入門	Introduction to Intercultural Communication	石倉佑季子
日本のメディアとコミュニケーション	Media and Communications in Japan	近藤佐知彦
日本の社会とイデオロギー	Japan: Society and Ideology	近藤佐知彦
科学と社会	Science and Society	岡本 紗知
日本の社会とビッグデータ	Japan: Society and Big Data	井奥 智大

日本語100～600レベル

科目名（日本語名称）	科目名（英語名称）	担当教員名
国際コミュニケーションセミナー日本語103	International Communication Seminar (Japanese) 103	難波 康治
国際コミュニケーションセミナー日本語203	International Communication Seminar (Japanese) 203	大谷 晋也
国際コミュニケーションセミナー日本語303	International Communication Seminar (Japanese) 303	中俣 尚己
国際コミュニケーションセミナー日本語403	International Communication Seminar (Japanese) 403	義永美央子
国際コミュニケーションセミナー日本語500a	International Communication Seminar (Japanese) 500a	藤原 京佳
国際コミュニケーションセミナー日本語500b	International Communication Seminar (Japanese) 500b	藤澤 好恵
国際コミュニケーションセミナー日本語500c	International Communication Seminar (Japanese) 500c	中俣 尚己
国際コミュニケーションセミナー日本語600a	International Communication Seminar (Japanese) 600a	松下 恵子
国際コミュニケーションセミナー日本語600b	International Communication Seminar (Japanese) 600b	大谷 晋也

共通教育科目（700レベル）

科目名（日本語名称）	科目名（英語名称）	担当教員名
総合日本語	Japanese for Advanced Communication	福良 直子
専門日本語	Japanese for Academic Purposes	義永美央子
専門日本語	Japanese for Academic Purposes	難波 康治
専門日本語	Japanese for Academic Purposes	村岡 貴子
多文化コミュニケーション（日本語）	Communication in Multicultural Contexts (Japanese)	岡本 紗知
多文化コミュニケーション（日本語）	Communication in Multicultural Contexts (Japanese)	西村 謙一
多文化コミュニケーション（日本語）	Communication in Multicultural Contexts (Japanese)	大谷 晋也

2. 研究指導

(1) 人文学研究科言語文化学専攻

① 博士前期課程学生

学年	研究題目	指導教員
M1	中国語を母語とする日本語学習者の可能形の使用実態 — B-JAS を用いた分析 —	村岡 貴子 (今尾 康裕)
M1	関西方言待遇表現「ハル」の周辺の用法に関する研究 — 皮肉用法・擬人法用法に通底する「ひと性」の認知構造について —	(田村 幸誠) 村岡 貴子
M1	留学生アルバイト従業員と雇用者が抱えるコミュニケーション課題 — コンビニの現場から —	義永美央子 (小口 一郎)
M1	オンライン接触場面におけるヘッジの使用実態の変化とその要因の解明 — 中国語を母語とする中級日本語学者を対象に —	義永美央子 (田中 智行)
M1	会話における「やさしい日本語」に関する研究 — ポライトネス理論を中心に —	(山下 仁) 大谷 晋也
M1	日本における日本-中国国際児のアイデンティティ — インタビュー・ナラティブの分析を通して —	(秦 かおり) 西村 謙一
M2	チューター活動の雑談場面における発話ストラテジー — 非日本語母語話者の滞日経験からの分析 —	村岡 貴子 (榎本 剛士)
M2	日本語学習への動機づけと投資の意味 — 日本語学校を卒業した留学生のライフストーリーから —	義永美央子 (西田理恵子)
M2	現代短歌における表記とレトリック — 文字の機能に着目して —	(大森 文子) 大谷 晋也

注)「指導教員」欄については、前者が主指導教員で、後者が副指導教員。()内は人文学研究科・サイバーメディアセンター教員。

② 博士後期課程学生

学年	研究題目	指導教員
D1	自律的な学習者を育成するためのスクャフォールディング — 中級日本語学習者の変容とその要因 —	義永美央子 難波 康治
D1	高等教育における「やさしい日本語」の授業化および中等・初等教育において「やさしい日本語」を導入する可能性に関する研究	(王 周明) 大谷 晋也
D2	日本の大学院進学希望者による遠隔協働活動への参加の様相及び学びのプロセス	村岡 貴子 義永美央子
D2	高大接続の観点から見た日本語小論文の文章構造 — 出題文と話題性が解答文章の構造に与え得る影響 —	村岡 貴子 (岡田 悠佑)
D2	社会構成主義の視座に基づく日本語教室内での自己開示の分析 — 中級日本語クラスにおける教師と学生の相互行為に注目して —	義永美央子 (榎本 剛士)
D2	中国人日本語学習者の学術共通漢字語彙の意味処理に関する研究 — 文脈効果、手がかり及びストラテジーに注目して —	義永美央子 難波 康治

注)「指導教員」欄については、前者が主指導教員で、後者が副指導教員。()内は言語文化研究科教員。

(2) 言語文化研究科言語文化専攻

① 博士前期課程学生

学年	研究題目	指導教員
M2	中華圏の留学生在日本の大学院に進学するまでのプロセスの分析 —日本語学校で進学準備を進めた当事者の語りをもとに—	義永美央子 (田中 智行)
M2	在日華僑華人家庭の子どもの継承語保持に関する質的研究 —TEMによる言語使用と言語意識の分析を中心として—	(植田 晃次) 大谷 晋也

注)「指導教員」欄については、前者が主指導教員で、後者が副指導教員。()内は人文学研究科(旧:言語文化研究科)・サイバーメディアセンター教員。

② 博士後期課程学生

学年	研究題目	指導教員
D3	中国人日本語学習者によるアカデミック・ライティング上の引用に関する実証的研究	村岡 貴子 大谷 晋也
D3	専門日本語教育への応用を目指したビジネスEメールの配慮に関する研究 —打ち合わせ日程の再調整場面を基に—	村岡 貴子 (植田 晃次)
D3	看護師への調査から見た医療現場における業界用語の使用状況 —外国人看護師向けの学習支援を目指して—	村岡 貴子 大谷 晋也
D3	日本生まれ・幼少期に来日した外国にルーツを持つ子どものリテラシー実践	義永美央子 (村上スミアンド)ユウ)
D3	公文書に関するコミュニケーションの問題への応用言語学的検証 —書き手側と読み手側との間の言語問題に焦点をあてて—	(山下 仁) 大谷 晋也
D3	インドネシア・北スマトラ州メダン市における日本語教育の系譜と日本語コミュニティの諸相	(榎本 剛士) 西村 謙一

注)「指導教員」欄については、前者が主指導教員で、後者が副指導教員。()内は人文学研究科(旧:言語文化研究科)・サイバーメディアセンター教員。

(3) 人間科学研究科

① 博士前期課程学生

学年	研究題目	指導教員
M1	高校生を対象とした英文法の学習方略の決定についての要因の調査	(西森 年寿) 岡本 紗知

注)「指導教員」欄については、前者が主指導教員で、後者が副指導教員。()内は人間科学研究科教員。

② 博士後期課程学生

学年	研究題目	指導教員
D1	一枚ポートフォリオ学習履歴欄を介した学習者と教師の内化・内省・外化のループとスパイラル化が学習者にもたらす効果の検証	(西森 年寿) 岡本 紗知
D2	感染予防の認識と行動を促す効果的な患者教育資材に関する研究	(西森 年寿) 岡本 紗知

注)「指導教員」欄については、前者が主指導教員で、後者が副指導教員。()内は人間科学研究科教員。

3. 研究指導学生学位論文

(1) 人文学研究科言語文化学専攻

① 修士学位論文

論文題目	指導教員
チューター活動の雑談場面における発話ストラテジー —非日本語母語話者の滞日経験からの分析—	村岡 貴子 (榎本 剛士)
日本語学習への動機づけと投資の意味 —日本語学校を卒業した留学生のライフストーリーから—	義永美央子 (西田理恵子)
現代短歌における表記とレトリック —文字の機能に着目して—	(大森 文子) 大谷 晋也

注)「指導教員」欄については、前者が主指導教員で、後者が副指導教員。()内は言語文化研究科教員。

(2) 言語文化研究科言語文化学専攻

① 修士学位論文

論文題目	指導教員
中華圏の留学生が日本の大学院に進学するまでのプロセスの分析 —日本語学校で進学準備を進めた当事者の語りをもとに—	義永美央子 (田中 智行)

注)「指導教員」欄については、前者が主指導教員で、後者が副指導教員。()内は人文学研究科・サイバーメディアセンター教員。

② 博士学位論文

論文題目	指導教員
看護師への調査から見た医療現場における業界用語の使用状況 —外国人看護師向けの学習支援を目指して—	村岡 貴子 (大谷 晋也)
日本語学校経営者のキャリア移行に伴う複合的アイデンティティの表出 —ライフストーリー分析を通して—	義永美央子 (秦 かおり) (小口 一郎)*
授業観察を用いた日本語教師相互研修モデルの構築	(岩居 弘樹) 大谷 晋也 義永美央子*

注)「指導教員」欄については、前者が主指導教員で、後者が副指導教員。()内は人文学研究科・サイバーメディアセンター教員。

*印は博士論文資格審査後の研究指導教員。

(3) 人間科学研究科

① 修士学位論文

論文題目	指導教員
一枚ポートフォリオ学習履歴欄を介しての生徒と教師のループ形成 —ループ形成の実現とそれによるスパイラル化の検証—	(西森 年寿) 岡本 紗知

注)「指導教員」欄については、前者が主指導教員で、後者が副指導教員。()内は人間科学研究科教員。

4. リサーチ・アシスタント (RA) の受入れ

研究プロジェクト名	採用 時間数	担当教員
言語教育における質的研究	20時間	藤原 京佳

X. その他の活動

1. 各種行事

○学内行事

- 2023年4月11日 Project HELP! メンティー向け説明会
於：オンラインで実施
- 2023年5月13日 Project HELP! 第17期メンター研修・オリエンテーション
於：大阪大学吹田キャンパス・コンベンションセンターにて実施
メンター11名、メンティー15名
- 2023年6月13日 第102回大阪大学留学生支援フロントスタッフネットワーク・ミーティング
於：豊中キャンパス 待兼山会館2階会議室 参加者13名
- 2023年9月6日 第103回大阪大学留学生支援フロントスタッフネットワーク・ミーティング
於：吹田キャンパス ICホール2階講義室5・6 参加者13名
- 2023年9月22日 第3回多言語多文化学修交流支援担当者ネットワーク (MLMC) 情報交換会
於：オンラインで実施 参加者16名
- 2023年9月25日 Project HELP! メンティー向け説明会
於：オンラインで実施
- 2023年10月21日 Project HELP! 第18期メンター研修・オリエンテーション
於：大阪大学吹田キャンパス・コンベンションセンターにて実施
メンター18名、メンティー24名
- 2023年11月20日 留学生向け 日本就職対策セミナー
於：オンラインで実施 参加者30名
- 2023年11月30日 留学生向け 内定者による経験談セミナー
於：オンラインで実施 参加者23名
- 2023年12月5日 第104回大阪大学留学生支援フロントスタッフネットワーク・ミーティング
於：豊中キャンパス 待兼山会館2階会議室 参加者13名
- 2023年12月5日 留学生向け 内定者による経験談 & 阪大の就活支援に関する説明会
於：オンラインで実施 参加者21名
- 2023年12月14日 留学生向け 博士のキャリア・デヴェロップメントを考えるセミナー
於：生命機能研究科 ナノバイオロジー棟3Fセミナー室 参加者26名
- 2023年12月15日 留学生向け 博士のための就職対策セミナー
於：共通教育総合棟I 2Fセミナー室B 参加者21名
- 2023年12月21日 留学生向け 就職面接試験のマナー & グループディスカッション対策セミナー
於：共通教育総合棟I 2Fセミナー室A 参加者13名
- 2024年1月20日 留学生向け OB・OG 体験談セミナー
於：オンラインで実施 参加者16名
- 2024年1月26日 留学生向け 留学生向け就職面接試験練習会

- 於：IC ホール 2F 教室 5 & 6 参加者 9 名
- 2024年 2月 10日 留学生向け 理系留学生（研究職・技術職）のための就職セミナー
於：オンラインで実施 参加者 17 名
- 2024年 3月 6日 第105回大阪大学留学生支援フロントスタッフネットワーク・ミーティング
於：吹田キャンパス IC ホール 2階講義室 5・6 参加者 12 名
- 2024年 3月 13日 第4回多言語多文化学修交流支援担当者ネットワーク（MLMC）情報交換会
於：オンラインで実施 参加者 15 名
- 2024年 3月 19日 国際教育交流センター研修会 / 日本語授業教務オリエンテーション
於：オンラインで実施 参加者 13 名

2. 海外出張・海外研修

○海外出張

- 2023年 5月 30日 - 6月 2日 近藤佐知彦教授 アメリカ合衆国ワシントン DC に出張
NAFSA: Association of International Educators での研修発表および大学間交流メンテナンス
- 2023年 5月 30日 - 6月 2日 石倉佑季子准教授 アメリカ合衆国ワシントン DC に出張
NAFSA: Association of International Educators での発表および大学間交流メンテナンス
- 2023年 6月 2日 - 6月 5日 難波康治准教授 台湾彰化県彰化市に出張
科研により、VR 中国語教材作成のための打ち合わせおよび取材・撮影
- 2023年 6月 26日 - 7月 1日 西村謙一准教授 カナダのトロントに出張
International Conference on Public Policy 6 にて口頭発表
- 2023年 8月 5日 - 8月 12日 難波康治准教授 チェコ共和国プラハ市
科研により、20th International Congress of Phonetic Sciences (ICPhS) にて口頭発表
- 2023年 8月 16日 - 8月 22日 義永美央子教授 ベルギー・ゲントに出張
第26回ヨーロッパ日本語教育シンポジウムにて口頭発表
- 2023年 8月 18日 - 8月 23日 西村謙一准教授 フィリピンのカビテ州に出張
科学研究費でフィリピンの地方自治に関する調査
- 2023年 9月 2日 - 9月 23日 西村謙一准教授 フィリピンのマニラ首都圏、南イロコス州、カガヤン州、アバヤオ州に出張
科学研究費でフィリピンの地方自治に関する調査
- 2023年 9月 28日 - 9月 30日 西村謙一准教授 フィリピンのマニラ首都圏に出張
科学研究費でフィリピンの政策波及に関する情報収集
- 2023年 10月 17日 - 10月 21日 西村謙一准教授 ベトナムのハノイに出張
2023 EROPA Conference にて口頭発表
- 2023年 12月 1日 - 12月 5日 中俣尚己准教授 中国の香港に出張
科研により Pacific Asia Conference on Language, Information and Computation (PACLIC 37) にて口頭発表
- 2024年 2月 25日 - 3月 9日 西村謙一准教授 フィリピンのマニラ首都圏、カビテ州に出張
科学研究費でフィリピンの地方自治に関する調査

- 2024年3月6日－11日 村岡貴子教授 タイのバンコクに科研費による出張
第1回タイ国日本語教育国際シンポジウムに参加し、情報収集・意見交換および口頭発表、カセサート大学の研究者とのミーティング・共同研究の打ち合わせ、大阪大学 ASEAN センター・バンコクオフィス関係者との意見交換

3. 出版物・印刷物等（2023年5月から2024年4月まで）

No.	出版物のタイトル	発行年月
1	留学生日本語プログラムガイドブック 2023年度版（秋冬編）（web版） GUIDEBOOK 2022: Japanese Language Programs for International Students	2023年8月
2	大阪大学国際教育交流センター2021年度年報	2023年8月
3	多言語多文化学習支援 パンフレット「ことばを学ぼう 文化を知ろう」	2024年2月
4	留学生日本語プログラムガイドブック 2024年度版（春夏編）（web版） GUIDEBOOK 2024: Japanese Language Programs for International Students	2024年3月
5	大阪大学留学生センター研究論集 多文化社会と留学生交流 第28号 Journal of Multicultural Education and Student Exchange No.28	2024年3月

4. 来訪者対応

年月日	来訪者	センターからの対応者
2023年12月11日	韓国外語大学（韓国）趙熙文 Dr. JO Heemoon（法學専文大學院教授）、金始弘 Dr. KIM Sihong（国際地域大學院教授）、丁好貞 Dr. CHEONG HoJeong（融合人材大學 融合人材學部教授）	村岡 貴子教授 近藤佐知彦教授 難波康治准教授

5. 研究者のためのオーラル・コミュニケーション日本語

2018年度より、核物理研究センターと国際教育交流センターが共同して外国人研究員等に対する基礎日本語コース（Oral Communication in Japanese for International Researchers）（研究者のためのオーラル・コミュニケーション日本語、概してOCJプログラム）クラスを開始した。今年度は、秋冬学期において、レベル別の2クラスを対面で開催した。実施実績は以下の通りである。

ロ秋のOCJプログラム

- 期 間：2024年2月19日から3月28日の月曜日と木曜日の各12回
- 履修状況：(1) Aクラス（初習者クラス） 8名
(2) Bクラス（既習者クラス） 10名

6. にほんごテーブル

にほんごテーブルは、国際教育交流センターとの連絡・調整・協力の下で、ボランティアグループが主催する自主的な活動である。にほんごテーブルでは、参加者はボランティアとペアになって、ひらがなや漢字の学習をしたり、各自が選んだ教科書に沿ってボランティアといっしょに日本語の練習をしたり、自

由に会話を楽しんだりしている。こうした活動に参加することで、参加者は自身の日本語学習の達成感を得てさらにモチベーションを高めることができ、いっそう日本語力を伸ばすことができる。また、にほんごテーブルでは、参加しているボランティアの方々から、日本での生活を快適に過ごすことができるさまざまな生活情報等も得ることができ、参加する外国人研究者や留学生及びその配偶者にとって、日本で快適に楽しく暮らす上でたいへん貴重な場となっている。国際教育交流センターは、各部署の留学生相談室等への案内や国際教育交流センターホームページへの掲載など広報面、および、運営上の各種相談に応じること等でのにほんごテーブルの活動を支援している。

○吹田地区でのにほんごテーブル活動

吹田地区ではボランティアグループ竹の子にほんご交流会がにほんごテーブルを運営している。竹の子にほんご交流会は、外国人研究者とその配偶者や留学生等の日本語習得支援と交流を目的とした市民ボランティアグループで、市民ボランティアと国際教育交流センターとで協議して平成18年4月に発足した。会員数は、令和6年3月現在18名である。本年度は、昨年度に引き続きオンラインでのにほんごテーブルを実施、また春夏期は1回、秋冬期は2回の対面活動を実施した。

□実施状況

- ・期 間：春季 令和5年5月9日(火)－7月25日(火)
 秋季 令和5年11月7日(火)－令和6年2月6日(火)
- ・参加登録：国際教育交流センターと竹の子にほんご交流会 (<https://www.takenoko-jlt.com>) の両 Web サイトに、募集ポスターと登録方法を掲載して、e-mail にて参加登録を受けつけた。
- ・曜日と時間：上記期間中の毎週火曜日13時00分～14時30分
 春季は12回（うち対面1回）、秋季は12回（うち対面2回）
- ・場 所：Zoom 会議システムにより実施。対面活動は国際教育交流センター 講義室 6
- ・平均参加者数：春季 外国人参加者：5.7人、日本人参加者：7.3人
 秋季 外国人参加者：6.9人、日本人参加者：10.0人

□交流会イベント

開催無し

□研修会

会員の自主的研修を行った。

□総 会

- ・開催日時：令和6年3月12日(火) 13:00～14:00
- ・議 案：①令和5年度活動報告 ②令和5年度会計報告及び監査報告 ③役員人事
 ④令和6年度活動方針

○豊中地区でのにほんごテーブル活動

ホストファミリーなどの活動をしている市民ボランティアの方々から豊中地区でのにほんごテーブル開

催のご提案があり、国際教育交流センターとしてもそうした活動の意義を認識したところから、平成26年6月より、豊中地区においても、市民ボランティアグループの自主運営を国際教育交流センターが支援する形で、にほんごテーブルが開設されることとなった。豊中地区ではボランティアグループ「マチカネにほんご交流会」がにほんごテーブルを運営している。参加者は主として、実施場所である国際交流会館に居住する外国人研究者や留学生・外国人研究者などの配偶者である。研究生や大学院生等も参加している。

マチカネにほんご交流会は、外国人研究者とその配偶者や留学生等の日本語習得支援と交流を目的とした市民ボランティアグループで、市民ボランティアと国際教育交流センターとで協議して平成26年5月に発足した。会員数は、令和6年3月現在15名である。本年度は、4年ぶりに対面活動に戻り、にほんごテーブルを実施した。Zoom活用研修会に参加したのは、9名であった。

□実施状況

- 期 間：春季 令和5年4月12日(水)－7月26日(水)
 秋季 令和5年10月4日(水)－令和6年1月31日(水)
- 曜日と時間：上記期間中の毎週水曜日10時30分～12時00分
 春季は15回、秋季は16回
- 場 所：大阪大学国際交流会館 豊中本館ロビー
- 平均参加者数：春季 外国人参加者：12人、日本人参加者：10人
 秋季 外国人参加者：14人、日本人参加者：12人

□研修会 開催無し

□総 会

- 開催日時：令和6年4月17日(水) 9:30～10:30
- 議 案：①令和5年度活動報告 ②令和6年度活動について
 ③令和5年度会計報告及び会計監査報告 ④令和6年度運営委員選出
 ⑤会費について ⑥会員の諸業務への参加について

7. CIEE 研究会

国際教育交流センターに所属する教員は、各専門分野において活発な研究活動を行っており、その研究活動の成果報告や意見交換の場として、国際教育交流センター研究会が実施されている。2023年度は下記の通り実施された。

第1回

日時：2023年5月12日(金) 15:00-16:30

場所：IC ホール 会議室

講師：井奥智大

題名：「社会心理学と集団間関係」

第2回

日時：2023年11月10日(金) 15:00-16:30

場所：IC ホール 会議室

講師：藤原京佳

題名：「ある EPA 介護福祉士のライフストーリー—自己構成」としてのキャリア—」

第3回

日時：2024年1月12日(金) 15:00-16:30

場所：IC ホール 会議室

講師：尹鎬淑

題名：「教育環境の変化による革新とエドテック—韓国のサイバー大学の授業事例を中心に」

XI. 教員個人データ

【記載事項】

1. 専門分野
2. 授業担当 (1)共通教育 (2)学際融合教育科目 (3)大学院 (4)留学生日本語プログラム (5)国際交流科目 (6)インターナショナル・カレッジ (7)その他
3. 学生指導 (1)博士後期課程 (2)博士前期課程 (3)日本語集中コース生 (4)短期留学特別プログラム (5)その他
4. 教育 (学外) 5. 学内運営 6. 外部資金
7. 研究業績 (1)論文 (2)著書 (3)口頭発表
8. 学外運営 9. 会議運営 10. 講演 11. 報道 12. その他

※以下の記載の7の(1)論文と(3)口頭発表の記載の末尾にある「有」「無」は、査読の有無。

有川友子

1. 専門分野

教育人類学、異文化間教育学

2. 授業担当

(1) 共通教育

○春夏学期

多文化コミュニケーション I/II-3

(3) 大学院

○秋冬学期 1回担当 (1月16日)

人間科学研究科教育社会学特定演習 II

(5) 国際交流科目

○秋冬学期

Approaches to Understanding Cultures

(6) インターナショナルカレッジ

○秋冬学期

Approaches to Understanding Cultures (上記国際交流科目を英語コース学生へのオープンとした)

3. 学生指導

- 留学生の相談対応

5. 学内運営

(職指定を含む)

- 国際教育交流センター長
- 国際交流委員会委員
- グローバル連携オフィス員
- ハウジング委員会委員
- 経営協議会委員

6. 外部資金

科学研究費 分担者 (代表者：太田亨 (金沢大学)、基盤研究 (B) (一般) 研究課題「アジア圏留学生の学修・キャリア支援教育における総合的支援に関する学際的研究」(令和3年度～令和7年度)

7. 研究業績

(1) 論文

Arikawa, Tomoko, 2023, The Long-Term Influences of Graduate Studies Abroad: Learning from the Experiences of Overseas-Educated Indonesians Engaged in Non-Academic Careers, *Universal Journal of Educational Research*, Vol.11 (7), pp.126-136, DOI 10.13189/ujer.2023.110702 査読有。

(3) 口頭発表

有川友子、2023、「留学生教育交流の現状と課題 — 激動の世界の中で考える (その2) —」(単独ポスター)、異文化間教育学会第44回大会、2023年6月10-11日 (東京都立大学南大沢キャンパス)

8. 学外運営

- 国立大学留学生指導研究協議会 代表幹事

9. 会議運営

- 令和4年度第2回国立大学法人留学生指導研究協議会、企画運営、大阪大学国際教育交流センター、2024年2月

12. その他

- 令和5年専修学校教育振興室委託事業審査委員会 委員
- 豊中市総合計画審議会 委員

井 奥 智 大

1. 専門分野

社会心理学

2. 授業担当

(5) 国際交流科目

○春～夏学期

インターンシップ実習コース2（春夏）、“Internship Course Course 2 (Spring/Summer)”

インターンシップ実習コース3（春夏）、“Internship Course Course 3 (Spring/Summer)”

○秋～冬学期

日本の社会とビッグデータ、“Japan: Society and Big Data”

インターンシップ実習コース2（秋冬）、“Internship Course Course 2 (Fall/Winter)”

インターンシップ実習コース3（秋冬）、“Internship Course Course 3 (Fall/Winter)”

(7) その他

アメリカ「異文化体験」演習1、“Intercultural Experience in the United States 1”

フィリピン「異文化体験」演習（夏季）、“Intercultural Experience in Philippines (Summer)”

フィリピン「異文化体験」演習（春季）、“Intercultural Experience in Philippines (Spring)”

日本語のバリエーション、“Variation in Japanese Language” (UMOS)

3. 学生指導

(4) 短期留学特別プログラム

- OUSSEP 学生97名（春夏学期）、143名（秋冬学期）

(5) その他

- アメリカ「異文化体験」演習 Intercultural Experience in the United States 1 16名
- フィリピン「異文化体験」演習（夏季） Intercultural Experience in Philippines (Summer) 6名
- フィリピン「異文化体験」演習（春季） Intercultural Experience in Philippines (Spring) 1名
- UMOS プログラム学生（メルボルン大学）10名（受入）
- 教員による留学相談 96名
- 大学間交換留学応募学生 142名

5. 学内運営

- 国際交流委員会 海外派遣候補者選考 WG 委員
- 国際教養・専門複合型プログラム（OUSSEP）運営 Sub WG 委員
- 国際教育交流センター 財務委員会 委員
- 教員による留学相談 実施担当
- Project HELP! (Harmonized English Learning Program) コーディネーター

7. 研究業績

<https://researchmap.jp/iokutomohiro>

8. 学外運営

- 産業・組織心理学会大会活性化委員、2022年10月～

11. 報道

- A threat to what is ours: How Japanese people react to perceived territorial infringements? Science X Phys.org 2024年2月28日 新聞・雑誌
- Are international universities more cautious about generative AI? University World News The Global Window of Higher Education 2023年12月9日 新聞・雑誌

石 倉 佑季子

1. 専門分野

高等教育の国際化、大学入学者選抜の多様化、異文化コミュニケーション

2. 授業担当

(1) 共通教育

○春夏学期

多文化コミュニケーション（日本語）

学問の扉（多文化コミュニケーションセミナー 大学の国際化：多様な学生を受け入れるための大学づくり）

(5) 国際交流科目

○春夏学期

Internationalization of Higher Education

○秋冬学期

Introduction to Intercultural Communication

(7) その他

- ・アメリカ「異文化体験」演習 Intercultural Experience in the United States 1
- ・フィリピン「異文化体験」演習（夏季） Intercultural Experience in Philippines（Summer）
- ・フィリピン「異文化体験」演習（春季） Intercultural Experience in Philippines（Spring）
- ・人間科学研究科 生涯教育学演習Ⅱ

3. 学生指導

(4) 短期留学特別プログラム

- ・OUSSEP 学生 97 名（春夏学期）、143 名（秋冬学期）

(5) その他

- ・アメリカ「異文化体験」演習 Intercultural Experience in the United States 1 16 名
- ・フィリピン「異文化体験」演習（夏季） Intercultural Experience in Philippines（Summer） 6 名
- ・フィリピン「異文化体験」演習（春季） Intercultural Experience in Philippines（Spring） 1 名
- ・教員による留学相談 96 名
- ・大学間交換留学応募学生 142 名

5. 学内運営

- ・ファカルティ・ディベロップメント委員会 委員
- ・国際交流委員会 海外派遣候補者選考 WG 委員
- ・国際教養・専門複合型プログラム（OUSSEP）運営 Sub WG 委員
- ・OUSSEP・iExPO 運営 WG
- ・国際教育交流センター 評価 WG 委員

- 総務委員（タスクフォース）
- 安全衛生委員会委員
- 研究倫理委員会委員
- 教員による留学相談 企画・実施担当
- 国際交流科目担当教員およびTA 対象オリエンテーション・FD 企画・実施担当
- Project HELP! (Harmonized English Learning Program) コーディネーター

6. 外部資金

- 科学研究費補助金 基盤研究（C）2023-2026年度 課題番号23K02525「日韓中における大学の国際化と留学生政策の展開」研究代表者

7. 研究業績

<https://researchmap.jp/yukikoishikura>

大 谷 晋 也

1. 専門分野

応用言語学、言語社会学、文献学

2. 授業担当

(1) 共通教育

○春～夏学期

多文化コミュニケーション（日本語）／学問への扉

○秋～冬学期

多文化コミュニケーション（日本語）／アドヴァンストセミナー

(3) 大学院（人文学研究科言語文化学専攻）／外国語学部

○春～夏学期

第二言語社会・文化研究 A / 第二言語社会・文化研究 a

○秋～冬学期

第二言語社会・文化研究 B / 第二言語社会・文化研究 b

(5) 国際交流科目

○春～夏学期

総合日本語 JA200

日本語・グローバル理解演習 JGU600e

○秋～冬学期

総合日本語 JA200

日本語・グローバル理解演習 JGU600b

(6) インターナショナルカレッジ日本語科目

○春～夏学期

国際コミュニケーションセミナー日本語 203

国際コミュニケーションセミナー日本語 600e

○秋～冬学期

国際コミュニケーションセミナー日本語 203

国際コミュニケーションセミナー日本語 600b

3. 学生指導

(1) 博士後期課程 4（うち留学生 3）

(2) 博士前期課程 3（うち留学生 2）

5. 学内運営

・国際教育交流センター財務委員長

・大学院人文学研究科言語文化学専攻兼任教員

- マルチリンガル教育センター運営委員会委員
- マルチリンガル教育センターカリキュラム委員会委員
- マルチリンガル教育センターカリキュラム開発オフィス員
- マルチリンガル教育センター言語教育推進部会主任
- マチカネにほんご交流会担当教員
- 竹の子にほんご交流会担当教員

7. 研究業績

- <https://researchmap.jp/otani.shinya>

8. 学外運営

- 国・地方公共団体（箕面市等）、医療事務連絡会 委員
- その他、みのお外国人医療サポートネット 運営委員

岡本 紗知

1. 専門分野

微生物学、科学教育学、科学英語

2. 授業担当

(1) 共通教育

春学期

- 多文化コミュニケーション（日本語）
- 多文化コミュニケーションセミナー I

秋学期

- 多文化コミュニケーション（日本語）
- 多文化コミュニケーションセミナー II

(5) 国際交流科目

春学期

Introduction to Scientific English（科学英語入門）

秋学期

Science and Society（科学と社会）

3. 学生指導

- 留学生の相談対応（吹田 IRIS、豊中分室）
- 留学生の個別相談対応

5. 学内運営

- 学生生活委員会委員
- 大阪大学ハラスメント相談室専門アドバイザー
- 大阪大学学内留学生指導フロントスタッフネットワーク・ミーティング構成員
- 国際教育交流センター評価 WG 委員
- 国際教育交流センター人権・セクシャルハラスメント対策委員
- 国際教育交流センター財務委員
- 国際教育交流センター研究倫理委員
- 国際教育交流センター研究会実施担当

6. 外部資金

<https://researchmap.jp/pochi>

7. 研究業績

<https://researchmap.jp/pochi>

8. 学外運営

- 国立大学留学生指導研究協議会 地区幹事（近畿地区）
- 一般社団法人 日本科学教育学会 学会誌「科学教育研究」編集委員
- 一般社団法人 日本科学教育学会 若手活性化委員
- 国立教育政策研究所 プロジェクト研究「新たな学びの実現に向けた教育課程の在り方に関する研究」委員
- 国立教育政策研究所「OECD-PISA2025年調査（科学的リテラシー）」調査の枠組み及び調査問題に関する検討委員

近藤 佐知彦

1. 専門分野

ディスコース・レトリック分析、社会心理学、留学生教育、グローバル人材育成教育

2. 授業担当

(5) 国際交流科目

○春学期

日本の社会とイデオロギー、“Japan; Society and Ideology”

イノベーションの管理と変遷（三森八重子招聘教授と共同開講）

○秋学期

日本のメディアとコミュニケーション、“Media and Communications in Japan”

ソーシャルイノベーションとソーシャルデザイン（三森八重子招聘教授と共同開講）

○集中

日本語のバリエーション

イギリス「異文化体験」演習（春季）

フィリピン「異文化体験」演習（春季）

アメリカ「異文化体験」演習1

オランダ「異文化体験」演習（夏季）

オランダ「異文化体験」演習（春季）

(7) その他

○集中

人間科学部・人間科学研究科 共生行動論Ⅱ

3. 学生指導

(4) 短期留学特別プログラム

- OUSSEP 学生 97名（春夏学期）、88名（秋冬学期）

その他

- J-ShIP Summer 47名
- J-ShIP Winter 19名
- UMOS 10名

(5) その他

フィリピン「異文化体験」演習（夏） 6名（派遣）

オーストラリア「異文化体験」演習 3名（派遣）

フィリピン「異文化体験」演習（春） 2名（派遣）

トンプソンリバース大学夏季語学研修プログラム 3名（派遣）

Summer Online Japanese Course 学生 5名（受入）

Winter Online Japanese Course 学生 11名（受入）

5. 学内運営

- 国際教養・専門複合型プログラム（OUSSEP）運営 Sub WG 座長
- 海外派遣候補者選考 WG 委員
- 国連ユースボランティアプログラム推進タスクフォース 委員
- 国際教育交流センター 広報委員長
- Project HELP! (Harmonized English Learning Program) コーディネータ
- 体育会ボクシング部 部長

6. 外部資金

- (新規) 大学間交換留学事業に関する黄金則：その成り立ちと将来についての調査研究
日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究（C） 23K02503 2023-2025（研究代表者）
- (継続) 大学間教育交流のニューノーマル；各種プログラムの再定義
日本学術振興会 科学研究費助成事業 国際共同研究加速基金（国際共同研究強化（B）） 20KK0052
2020年10月-2024年3月（研究代表者）
- (継続) 留学はいつまで越境か；学生モビリティの将来に関する探索的研究
日本学術振興会 科学研究費助成事業 挑戦的研究（萌芽） 20K20825 2020年7月-2023年3月（研究代表者）

7. 研究業績

<https://researchmap.jp/read0076589>

8. 学外運営

- 留学生教育学会会長
- (公財) 吹田市国際交流協会 理事長
- (公財) 大阪府国際交流財団 評議委員長
- (一社) 外国人留学生高等教育協会 理事
- 特定非営利活動法人 JAFSA 監事
- 留学生支援コンソーシアム大阪 誘致委員長
- 官民協働「トビタテ！留学 Japan」 専門選考委員
- (公財) 業務スーパージャパンドリーム財団 選考委員
- 米国シュミッド財団 Quad Scholarship 選考委員

9. 会議運営

- 留学生教育学会27回総会・研究大会（9月1日および2日）
東京会場（東京外国語大学）設営の上、ハイブリッド開催
- 留学生教育学会主催 JAISE-KAIE Joint session（2月1日）
関西国際大学会場

瀬井陽子

1. 専門分野

第二言語習得、日本語教育学、学習者オートノミー

2. 授業担当

(2) 学際融合科目

○春夏学期

上級専門日本語 アカデミックコミュニケーション A

○秋冬学期

上級専門日本語 アカデミックコミュニケーション B

3. 学生指導

(5) OUマルチリンガルプラザ：日本語学習アドバイジング 35名

OU マルチリンガルプラザ：日本語学習ポートフォリオワークショップ 7名

5. 学内運営

- ・国際教育交流センター 財務委員会 委員
- ・マルチリンガル教育センター 兼任教員
- ・OU マルチリンガルプラザ コーディネーター

6. 外部資金

https://researchmap.jp/ysei/research_projects

7. 研究業績

https://researchmap.jp/ysei/published_papers

8. 学外運営

言語文化教育研究学会 理事

言語文化教育研究学会 年次大会委員会 委員長

中 俣 尚 己

1. 専門分野

計量日本語学、日本語文法

2. 授業担当

(3) 大学院

○春～夏学期

第二言語社会・文化研究 A

○秋～冬学期

第二言語社会・文化研究 B

(4) 留学生日本語プログラム

○春～夏学期

日本語集中コース IJ100

○秋～冬学期

日本語集中コース IJ100

(5) 国際交流科目

○春～夏学期

総合日本語 JA300 レクチャー

日本語・グローバル理解演習 JGU600(f)

○秋～冬学期

総合日本語 JA300 レクチャー

日本語・グローバル理解演習 JGU600(c)

3. 学生指導

日本語集中コース IJ100 18名

博士前期課程 1名（うち留学生 1名）

RA 1名

4. 教育（学外）

・大手前大学 通信教育部 計量言語学

・一橋大学大学院 言語社会研究科 日本語学講義 D

5. 学内運営

・大学院人文学研究科言語文化学専攻兼任教員

・情報セキュリティ対策室部局 CSIRT

・国際教育交流センター ネットワーク担当

・国際教育交流センター 研究倫理審査委員会委員長

- ・国際教育交流センター 人権・ハラスメント委員会

6. 外部資金

<https://researchmap.jp/nakamata-naoki>

7. 研究業績

<https://researchmap.jp/nakamata-naoki>

8. 学外運営

- ・公益社団法人日本語教育学会 編集委員
- ・公益社団法人日本語教育学会 評議員
- ・公益社団法人日本語教育学会 JCN 研修事業基盤整備委員会 副委員長
- ・計量国語学会 理事（編集補佐）
- ・中国語話者のための日本語教育研究会 顧問・事務局
- ・日本語／日本語教育研究会 編集委員
- ・オンライン日本語教育・学習コンテンツの活用促進に向けた検討委員会 委員

10. 講演

- ・「言語行動の違いをとらえ、分析するために」言語対比研究と日本語教学——专题研讨会——（2023年4月14日・北京外国語大学・オンライン）
- ・「中納言を活用した日本語研究」科技部 高端外国专家引进计划 系列講座（2023年7月27日、8月3日、8月10日・大連理工大学外国語学院・オンライン）
- ・「話題は言語にどのように影響を与えるか？」講演会（2023年8月11日・香港大学・オンライン）
- ・「コーパスを使って日本を調べる」講演会（2023年11月28日、2023年12月14日・陝西師範大学・オンライン）
- ・「話題別コーパスが拓く日本語・日本語教育研究」さいたま日本語研究会（2023年12月16日・埼玉大学）
- ・「コーパスから始まる例文作り」シンポジウム「現場に役立つ日本語教育研究——経験からデータへ——」（2024年3月23日・聖心女子大学）

12. その他

- ・日本テレビ系列「クイズ！あなたは小学5年生より賢いの？」問題監修（国語）

難 波 康 治

1. 専門分野

日本語教育学、社会言語学、音声学、教育学

2. 授業担当

(1) 全学共通教育科目

○春～夏学期

総合日本語

専門日本語

○秋～冬学期

専門日本語

(3) 大学院

○春～夏学期

第二言語教育実践研究 A

○秋～冬学期

第二言語教育実践研究 B

(5) 国際交流科目

○春～夏学期

総合日本語 JA100

○秋～冬学期

総合日本語 JA100

(6) インターナショナル・カレッジ

○春～夏学期

国際コミュニケーションセミナー日本語103

○秋～冬学期

国際コミュニケーションセミナー日本語103

3. 学生指導

(1) 博士後期課程 2 (うち留学生は1)

(2) 博士前期課程 2 (うち留学生は2)

5. 学内運営

• 教育情報化 WG

• インターナショナルカレッジ教務委員会

7. 研究業績

<https://researchmap.jp/read0054912>

9. 学外運営

- 公益財団法人日本語教育学会 査読・運営協力者
- 公益信託井内留学生奨学基金運営委員会委員
- 公益信託井内奨学財団評議委員

西村 謙一

1. 専門分野

比較政治学、東南アジア地域研究、フィリピン研究

2. 授業担当

(1) 共通教育

○春～夏学期

学問への扉（多文化コミュニケーションセミナーⅠ）／多文化コミュニケーション（日本語）

○秋～冬学期

多文化コミュニケーションセミナーⅡ／多文化コミュニケーション（日本語）

(2) 学際融合教育科目

○春～夏学期

上級専門日本語（アカデミックリーディング）A

○秋～冬学期

上級専門日本語（アカデミックリーディング）B

(3) 大学院

○春～夏学期

グローバルゼーション論 A

○秋～冬学期

グローバルゼーション論 B

(4) 留学生日本語プログラム

○春～夏学期

日本語集中（研修）コース IJ300クラス

アカデミックリーディング JR600／JR700（日本語）

○秋～冬学期

日本語集中（研修）コース IJ300クラス

アカデミックリーディング JR600／JR700（日本語）

3. 学生指導

(1) 博士後期課程 1

(2) 博士前期課程 1（うち留学生 1）

(4) 日本語集中コース生 11

5. 学内運営

- 人権問題委員会委員
- 男女協働推進センター会議委員
- ハラスメント相談室全学相談員

6. 外部資金

<https://researchmap.jp/read0068694>

7. 研究業績

<https://researchmap.jp/read0068694>

8. 学外運営

- 兵庫県立高等学校 学校評議員

福 良 直 子

1. 専門分野

専門日本語教育研究、日本語教育学

2. 授業担当

(1) 共通教育

○ 春夏学期

総合日本語

○ 秋冬学期

総合日本語

(7) その他

○ Summer J-ShIP Program (JF100、JF200) コーディネーター

○ Winter J-ShIP Program (JF300) コーディネーター

○ UMOS プログラム コーディネーター

3. 学生指導

(4) 短期留学特別プログラム

• Summer J-ShIP Program 47名

• Winter J-ShIP Program 19名

5. 学内運営

• マルチリンガル教育センター兼任教員

• マルチリンガル教育センター広報委員

• 国際教育交流センター総務委員

• 国際教育交流センター評価委員

• 国際教育交流センター出版・広報委員

6. 外部資金

<https://researchmap.jp/n483>

7. 研究業績

<https://researchmap.jp/n483>

8. 学外運営

日本語教育学会 審査・運営協力員

専門日本語教育学会 編集幹事

藤原京佳

1. 専門分野

日本語教育学

2. 授業担当

(1) 国際交流科目

○秋～冬学期

日本語・グローバル理解演習 JGU500a

総合日本語 JA100-2

(2) インターナショナル・カレッジ

○秋～冬学期

International Communication Seminar (Japanese) 500a

5. 学内運営

国際教育交流センター 財務委員会 委員

6. 外部資金

<https://researchmap.jp/fujiwakyo>

7. 研究業績

<https://researchmap.jp/fujiwakyo>

8. 学外運営

日本語教育学会審査・運営協力員

質的研究カフェ運営メンバー

村 岡 貴 子

1. 専門分野

日本語教育学、アカデミック・ライティング教育研究、専門日本語教育研究

2. 授業担当

(1) 共通教育

○秋～冬学期

専門日本語 B

(2) 学際融合教育科目

○春～夏学期

上級専門日本語（アカデミック・ライティング）A

研究活動に必要な日本語による音声・書記言語コミュニケーションの世界

○秋～冬学期

上級専門日本語（アカデミック・ライティング）B

(3) 大学院

○春～夏学期

言語技術研究 A

言語コミュニケーション論特別研究 A

○秋～冬学期

言語技術研究 B

言語コミュニケーション論特別研究 B

(4) 留学生日本語プログラム

○春～夏学期

日本語集中コース IJ200（読解）

○秋～冬学期

日本語集中コース IJ200（読解）

3. 学生指導

(1) 博士後期課程 5（うち留学生は3）

(2) 博士前期課程 3（うち留学生は2）

(3) 日本語集中コース生 12

5. 学内運営

- ・大学院人文学研究科言語文化学専攻兼任教員
- ・マルチリンガル教育センター兼任教員
- ・ASEAN キャンパス運営委員会 WG メンバー
- ・大阪大学豊中地区研究交流会委員

- 国際教育交流センター副センター長
- 国際教育交流センター教務委員会委員長
- 国際教育交流センター安全衛生委員会委員

6. 外部資金

<https://researchmap.jp/read0171050>

7. 研究業績

<https://researchmap.jp/read0171050>

8. 学外運営

- 日本語教育学会審査・運営協力員、2017年9月～
- 専門日本語教育学会会長、2021年4月～2024年3月
- 社会言語科学会編集委員会委員、2023年4月～

10. 講演

- 村岡貴子（2023）「大学院留学生向けの日本語論文執筆に関する教育と研究指導」同志社大学経済学研究科 FD 研修会（オンライン）（招待）2023.11.14. <https://researchmap.jp/read0171050>

12. その他

- 国立国語研究所共同研究プロジェクト「多様な言語資源に基づく日本語非母語話者の言語運用の応用的研究 日本語母語話者の作文の縦断コーパス研究」プロジェクト構成員
- 国立国語研究所共同研究プロジェクト「多言語・多文化社会における言語問題に関する研究」プロジェクト構成員

姚 馨

1. 専門分野

英語教育学、応用言語学、アカデミック・ライティング

2. 授業担当

3. 学生指導

- 留学生の相談対応（吹田 IRIS、豊中分室、箕面分室）
- 留学生の個別キャリア相談対応

5. 学内運営

- 留学生向けキャリアセミナーシリーズ 企画・実施担当
- キャリアセンター連携教員
- 国際教育交流センター出版・広報委員
- 大阪大学学内留学生指導フロントスタッフネットワーク・ミーティング構成員
- 学生交流支援検討部会員
- 海外派遣候補者選考部会委員
- 国際教育交流センター総務委員会委員

6. 外部資金

日本学術振興会 科学研究費助成事業 奨励研究 「海外研究費の獲得における大学職員のスキル育成体制の構築」研究代表者 2023年4月-2024年3月

7. 研究業績

<https://researchmap.jp/yaoxin>

8. 学外運営

- グローバル人材活用運営協議会幹事会員
- 留学生就職支援コンソーシアム SUCCESS 連携教員

義永美央子

1. 専門分野

日本語教育学、応用言語学

2. 授業担当

(1) 共通教育科目

○春～夏学期

専門日本語

○秋～冬学期

専門日本語

(2) 学際融合教育科目

○春～夏学期

第二言語学習方法論

○秋～冬学期

言語学習アドバイジング入門

(3) 大学院

○春～夏学期

コミュニケーション論 A

コミュニケーション論特別研究 A

○秋～冬学期

コミュニケーション論 B

コミュニケーション論特別研究 B

(5) 国際交流科目

○春～夏学期

総合日本語 JA400-1

○秋～冬学期

総合日本語 JA400-1

(6) インターナショナル・カレッジ

○春～夏学期

国際コミュニケーションセミナー日本語 403

○秋～冬学期

国際コミュニケーションセミナー日本語 403

3. 学生指導

(1) 博士後期課程 5 (うち留学生は3)

(2) 博士前期課程 4 (うち留学生は1)

(5) その他 (研究生) 1 (うち留学生は1 (国費))

5. 学内運営

- 教育課程委員会 委員
- 大学院人文学研究科 兼任教員
- マルチリンガル教育センター 兼任教員
- マルチリンガル教育センター 学習支援・社会学共創開発オフィス員
- 国際教育交流センター 教務委員
- 国際教育交流センター 人権・ハラスメント対策委員会委員長
- 国際教育交流センター タスクフォースメンバー
- 日研生プログラム実施 WG
- Maple 運営 Sub-WG
- 多言語多文化学修支援・交流促進担当者ネットワーク (MLMC)

6. 外部資金

- 科学研究費補助金基盤研究 (C) 課題番号: 19K00708 2019年度～2023年度「大学における日本語自律学習支援者養成プログラムの開発」、研究代表者
- 科学研究費補助金基盤研究 (C) 課題番号: 20K00713 2020年度～2023年度「日本語教師養成における実践的コミュニケーション能力育成プログラムの開発」、研究分担者
- 科学研究費補助金基盤研究 (C) 課題番号: 23K00607 2023年度～2026年度「実践コミュニティとしてのSALCにおける言語学習支援とオートノミーの育成」、研究代表者

7. 研究業績

<https://researchmap.jp/miokoyo7145>

8. 学外運営

- 日本語教育学会 常任理事 (2023年6月まで)、理事 (2023年6月から)
- 第二言語習得研究会 (JASLA) 大会運営委員会委員長 (2023年12月まで)
- 社会言語科学会 査読協力者
- 言語文化教育研究学会 査読協力者

9. 会議運営

- 第二言語習得研究会第34回全国大会、企画運営、2023年12月9日～10日 (金城学院大学とオンラインでのハイブリッド開催)

10. 講演

- 「言語学習アドバイジング・基本の“き” — 学習者の背中を押すために —」第49回 JLTN 講演会 2023年12月2日 (招待・兵庫県国際交流協会)
- 「日本語教育における自律学習支援の理論と実践」九州大学言総研日本語教育セミナー 2024年3月2日 (招待・オンライン)

12. その他

- 文化庁「日本語教育人材の研修プログラム普及事業（日本語教師【中堅】に関する研修）」「日本語教育学会の人材、知財、ネットワークを活かした中堅日本語教師のための研修プログラム」（JCN 研修）委員

資料 1 国際教育交流センターが提供する日本語科目 2023年度 留学生日本語プログラム 時間割

春～夏学期 留学生日本語選択コース & 日本語集中コース & 学際融合教育科目

科目種別： 留学生日本語選択コース 日本語集中コース 学際融合教育科目

時間帯	月		火		水		木		金	
	授業	担当	授業	担当	授業	担当	授業	担当	授業	担当
I 8:50 ～ 10:20			JB300-T1-1 総合日本語	角田	JK301 漢字と語彙 (非漢字系)	TF張			JB300-T1-2 総合日本語	尹
			JB200-T1-1 総合日本語	上田					JB200-T1-2 総合日本語	上中
			JB100-T1-1 総合日本語	寺尾					JB100-T1-2 総合日本語	遠藤
II 10:30 ～ 12:00										
III 13:30 ～ 15:00										
IV 15:10 ～ 16:40										
V 16:50 ～ 18:20										

春～夏学期 国際交流科目 (JA, JGU) & 全学共通教育科目 & 学際融合教育科目 & 日本語自律学習支援
 科目種別： 国際交流科目 (日本語：JA, JGU) 全学共通教育科目 学際融合教育科目 日本語自律学習支援

時間帯	月		火		水		木		金	
	授業	担当	授業	担当	授業	担当	授業	担当	授業	担当
I 8:50 } 10:20			JA100-T1/T2 総合日本語(講義)	難波	JA100-T1 総合日本語	住吉	JA100-T1 総合日本語	住吉		
			JA200-T1/T2 総合日本語(講義)	大谷	JA100-T2 総合日本語	上仲	JA100-T2 総合日本語	松下		
			JA300-T1 総合日本語	村田	JA200-T1 総合日本語	矢部	JA200-T1 総合日本語	寺尾		
			JA300-T2 総合日本語	住吉	JA200-T2 総合日本語	半田	JA200-T2 総合日本語	半田		
			JA400-T1 総合日本語	宮崎	JA300-T1/T2 総合日本語(講義)	中俣	JA300-T1 総合日本語	上田		
			JA400-T2 総合日本語	矢部	JA400-T1 総合日本語	尹	JA300-T2 総合日本語	宮崎		
					JA400-T2 総合日本語	寺尾	JA400-T1/T2 総合日本語(講義)	義永		
II 10:30 } 12:00					JGU500e グローバル理解演習	山田	JGU500f グローバル理解演習	中俣		
					JGU600e グローバル理解演習	大谷	JGU600f グローバル理解演習	矢部		
III 13:30 } 15:00			学際融合		多文化コミュニケーション	有川				
			第二言語学習方法論	義永						
IV 15:10 } 16:40			日本語自律学習支援	瀬井	多文化コミュニケーション	石倉				
			総合日本語	難波	専門日本語		総合日本語	福良		
V 16:50 } 18:20			多文化コミュニケーション	岡本	多文化コミュニケーション	大谷				
					学際融合	アカデミック・ライティング				

秋～冬学期 留学生日本語選択コース & 日本語集中コース & 学際融合教育科目
 科目種別： 留学生日本語選択コース 日本語集中コース 学際融合教育科目

時間帯	月		火		水		木		金	
	授業	担当	授業	担当	授業	担当	授業	担当	授業	担当
I 8:50 ～ 10:20			JB300-T1-1 総合日本語	角田	JK301 漢字と語彙 (非漢字系)	TF張			JB300-T1-2 総合日本語	尹
			JB100-T1-1 総合日本語	村田					JB100-T1-2 総合日本語	速藤
			JB200-T1-1 総合日本語	楠田					JB200-T1-2 総合日本語	上中
II 10:30 ～ 12:00										
III 13:30 ～ 15:00										
IV 15:10 ～ 16:40										
V 16:50 ～ 18:20										

秋～冬学期 国際交流科目 (JA, JGU) & 全学共通教育科目 & 学際融合教育科目 & 日本語教育科目 & 日本語自律学習支援 & 留学生日本語選択コース
 科目種別： 国際交流科目 (日本語: JA, JGU) 全学共通教育科目 学際融合教育科目 留学生日本語選択コース 日本語自律学習支援

時間帯	月		火		水		木		金	
	授業	担当	授業	担当	授業	担当	授業	担当	授業	担当
I 8:50 } } 10:20	JA100-T1/T2/T3/T4	難波	総合日本語(講義)	住吉	JA100-T1	総合日本語	住吉	JA100-T1	総合日本語	住吉
	JA200-T1/T2	大谷	総合日本語(講義)	大谷	JA100-T2	総合日本語	藤原	JA100-T2	総合日本語	藤原
	JA300-T1	住吉	総合日本語	住吉	JA100-T3	総合日本語	安部	JA100-T3	総合日本語	松下
	JA300-T2	上田	総合日本語	上田	JA100-T4	総合日本語	稲垣	JA100-T4	総合日本語	安部
	JA400-T1	宮崎	総合日本語	宮崎	JA200-T1	総合日本語	角田	JA200-T1	総合日本語	矢部
	JA400-T2	矢部	総合日本語	矢部	JA200-T2	総合日本語	尹	JA200-T2	総合日本語	尹
	JGU500a	藤原	グローバル理解演習	藤原	JA300-T1/T2	総合日本語(講義)	中俣	JA300-T1	総合日本語	上田
	JGU600a	松下	グローバル理解演習	松下	JA400-T1	総合日本語	上仲	JA300-T2	総合日本語	宮崎
					JA400-T2	総合日本語	矢部	JA400-T1/T2	総合日本語(講義)	義永
					JGU500b	グローバル理解演習	藤澤	JGU500c	グローバル理解演習	中俣
				JGU600b	グローバル理解演習	大谷				
II 10:30 } } 12:00								JB100-T3 (オンライン)	総合日本語	松下
III 13:30 } } 15:00								学際融合	言語学習 アドバンス入門	義永
IV 15:10 } } 16:40			日本語自律学習支援	瀬井						
V 16:50 } } 18:20	専門日本語	義永	専門日本語	難波	専門日本語	村岡	村岡	総合日本語		福良
	多文化コミュニケーション	岡本	多文化コミュニケーション	西村	多文化コミュニケーション	大谷	大谷			

資料 2 2023 年度 留学生日本語プログラム（選択コース） 履修登録者数（実人数）一覧

2-1 春～夏学期

(1) 部局別履修者数・身分内訳

研究科／学部	総計	身分別内訳				
		学部研究生	大学院生*1	研究生*2	特別研究学生*3	特別聴講学生*3
文学研究科／文学部	4	3	0	0	0	1
人間科学研究科／人間科学部	5	0	5	0	0	0
法学研究科／法学部	6	2	4	0	0	0
経済学研究科／経済学部	2	1	1	0	0	0
理学研究科／理学部	9	0	9	0	0	0
医学系研究科／医学部	12	0	10	2	0	0
歯学研究科／歯学部	3	0	3	0	0	0
薬学研究科／薬学部	4	1	3	0	0	0
工学研究科／工学部	45	5	37	2	1	0
基礎工学研究科／基礎工学部	9	1	7	1	0	0
人文学研究科	8	0	0	7	1	0
国際公共政策研究科	3	0	1	2	0	0
情報科学研究科	4	0	3	1	0	0
生命機能研究科	1	0	1	0	0	0
レーザー科学研究所	1	0	0	1	0	0
産業科学研究所	1	0	0	1	0	0
日本語日本文化教育センター	2	2	0	0	0	0
国際教育交流センター	5	0	0	4	0	1
計*4	124	15	84	21	2	2

【特記事項】

- * 1. 大学院生には、「学際融合教育科目」として履修登録している学生が含まれる。
- * 2. 研究生：大学院レベル、および予備教育生（日本語集中コース）。
- * 3. 特別研究学生・特別聴講学生には、OUSSEP・FrontierLabのほか、iExPOの学生が含まれる。
- * 4. JA・JGU（国際交流科目）科目受講学生は含まない。
また、正規学部留学生については、本プログラムではなく共通教育の第2外国語科目（国際教育交流センターが提供）を受講しているため、ここには含まれていない。

(2) レベル別身分内訳（実数）

選択レベル	総計	身分別内訳				
		学部研究生	大学院生	研究生	特別研究学生	特別聴講学生
(未習) 100	16	2	11	1	1	1
200	32	3	22	7	0	0
300	30	5	18	6	1	0
400	9	0	9	0	0	0
500	7	1	5	1	0	0
600	9	3	0	5	0	1
(超上級レベル) 700*	21	1	19	1	0	0
計	124	15	84	21	2	2

*：「(超上級レベル) 700」には院生向けの「学際融合教育科目」を含む。

2-2 秋～冬学期

(1) 部局別履修者数・身分内訳

研究科 / 学部	総計	身分別内訳				
		学部研究生	大学院生*1	研究生*2	特別研究学生*3	特別聴講学生*3
文学研究科 / 文学部	2	2	0	0	0	0
人文学研究科	11	0	0	10	0	1
人間科学研究科 / 人間科学部	7	2	4	0	0	1
法学研究科 / 法学部	7	6	0	1	0	0
経済学研究科 / 経済学部	7	4	1	0	0	2
理学研究科 / 理学部	6	0	6	0	0	0
医学系研究科 / 医学部	8	0	5	3	0	0
歯学研究科 / 歯学部	5	0	5	0	0	0
薬学研究科 / 薬学部	0	0	0	0	0	0
工学研究科 / 工学部	35	1	32	2	0	0
基礎工学研究科 / 基礎工学部	5	0	5	0	0	0
国際公共政策研究科	7	0	1	6	0	0
情報科学研究科	4	0	3	1	0	0
生命機能研究科	1	0	1	0	0	0
微生物病研究所	1	0	0	1	0	0
産業科学研究所	1	0	0	1	0	0
蛋白質研究所	1	0	0	1	0	0
レーザー科学研究所	1	0	0	1	0	0
日本語日本文化教育センター	2	0	0	2	0	0
国際教育交流センター	17	0	0	1	0	16
計*4	128	15	63	30	0	20

【特記事項】

*1. 大学院生には、「学際融合教育科目」として履修登録している学生が含まれる。

*2. 研究生：大学院レベル、および予備教育生（日本語集中コース）。

*3. 特別研究学生・特別聴講学生には、OUSSEP・FrontierLabのほか、iExPOの学生が含まれる。

*4. JA・JGU（国際交流科目）科目受講学生は含まない。

また、正規学部留学生については、本プログラムではなく共通教育の第2外国語科目（国際教育交流センターが提供）を受講しているため、ここには含まれていない。

(2) レベル別身分内訳（実数）

選択レベル	総計	身分別内訳				
		学部研究生	大学院生	研究生	特別研究学生	特別聴講学生
(未習) 100	28	0	21	1	0	6
200	22	2	14	3	0	3
300	21	1	12	7	0	1
400	16	2	6	5	0	3
500	9	1	2	3	0	3
600	16	4	0	8	0	4
(超上級レベル) 700*	16	5	8	3	0	0
計	128	15	63	30	0	20

*：「(超上級レベル) 700」には院生向けの「学際融合教育科目」を含む。

資料 3-1 2023 (令和5) 年度春・夏学期 国際交流科目授業時間割
International Exchange Subjects Timetable for the Spring/Summer Semester, 2023

Day Period	Monday			Tuesday			Wednesday					
	Course Title	Instructor	Room	Campus	Course Title	Instructor	Room	Campus	Course Title	Instructor	Room	
1	我が国の保健サービスと医療ケア Health Service and Medical Care in Japan	祖父江 友孝 SOBUE Tomotaka	ICホール/講義室 5・6 IC HALL/Room 5, 6	Suita	総合日本語JA100-トラック1 Japanese JA100-Track 1(Tue1, Wed1, Thu1)	難波 康治 KOJI NAMBA	全学教育/共C403 CELAS/C403	Toyonaka	総合日本語JA100-トラック1 Japanese JA100-Track 1(Tue1, Wed1, Thu1)	住吉 秀紀 HIDEKI SUMIYOSHI	全学教育/共C404 CELAS/C404	
					総合日本語JA100-トラック2 Japanese JA100-Track 2(Tue1, Wed1, Thu1)	難波 康治 KOJI NAMBA	全学教育/共C403 CELAS/C403	Toyonaka	総合日本語JA100-トラック2 Japanese JA100-Track 2(Tue1, Wed1, Thu1)	上仲 淳 JUN UENAKA	全学教育/共B316 CELAS/B316	
					総合日本語JA200-トラック1 Japanese JA200-Track 1(Tue1, Wed1, Thu1)	大谷 晋也 SHINYA OTANI	全学教育/共C409 CELAS/C409	Toyonaka	総合日本語JA200-トラック1 Japanese JA200-Track 1(Tue1, Wed1, Thu1)	矢部 正人 Masato Yabe	全学教育/共A313 CELAS/A313	
					総合日本語JA200-トラック2 Japanese JA200-Track 2(Tue1, Wed1, Thu1)	大谷 晋也 SHINYA OTANI	全学教育/共C409 CELAS/C409	Toyonaka	総合日本語JA200-トラック2 Japanese JA200-Track 2(Tue1, Wed1, Thu1)	半田 佳奈子 Kanao HANNA	全学教育/共C107 CELAS/C107	
					総合日本語JA300-トラック1 Japanese JA300-Track 1(Tue1, Wed1, Thu1)	村田 幸一 Koichi MURATA	全学教育/共C407 CELAS/C407	Toyonaka	総合日本語JA300-トラック1 Japanese JA300-Track 1(Tue1, Wed1, Thu1)	中俣 高己 Naoki NAKAMATA	全学教育/共C405 CELAS/C405	
					総合日本語JA300-トラック2 Japanese JA300-Track 2(Tue1, Wed1, Thu1)	住吉 秀紀 HIDEKI SUMIYOSHI	全学教育/共C404 CELAS/C404	Toyonaka	総合日本語JA300-トラック2 Japanese JA300-Track 2(Tue1, Wed1, Thu1)	中俣 高己 Naoki NAKAMATA	全学教育/共C405 CELAS/C405	
					総合日本語JA400-トラック1 Japanese JA400-Track 1(Tue1, Wed1, Thu1)	宮崎 さとみ Satomi MIYAZAKI	全学教育/共A103 CELAS/A103	Toyonaka	総合日本語JA400-トラック1 Japanese JA400-Track 1(Tue1, Wed1, Thu1)	伊 惠彦 Hiroyuki I	全学教育/共A103 CELAS/A103	
					総合日本語JA400-トラック2 Japanese JA400-Track 2(Tue1, Wed1, Thu1)	矢部 正人 Masato Yabe	全学教育/共C204 CELAS/C204	Toyonaka	総合日本語JA400-トラック2 Japanese JA400-Track 2(Tue1, Wed1, Thu1)	寺尾 毅二 Shoji TERAO	全学教育/共C204 CELAS/C204	
								Toyonaka	日本語・グローバル理解演習JGU500e Seminar in Japanese and Global Understanding JGU500e		大谷 晋也 Masato Yabe	全学教育/共C304 CELAS/C304
								Toyonaka	日本語・グローバル理解演習JGU600e Seminar in Japanese and Global Understanding JGU600e		大谷 晋也 Masato Yabe	全学教育/共C303 CELAS/C303
2	ジェンダー論 Gender Studies Academic Presentation Course Academic Presentation Course	パオラ ガヴァリエレ Paola Cavaliere	幹精が丘/アパロモズ/学生部 CELAS Student Commons Room B	Toyonaka	触媒化学入門 Introduction to Catalytic Chemistry	水垣 共雄 MIZUGAKI Tomoo	基礎工学部/B104講義室 Sch of Engineering/Star/Room B104	Toyonaka	身の回りの化学 Chemistry and Human Life	梶原 康宏 KAJIHARA Yasuhiro	理学部/B208 School of Science/B208	
		ネヴィル クリーニング GREENING NEVILLE KAURI	英面/外国語学部/5H講義室 Main/Share of Foreign Studies Room 5H	Minoh					Toyonaka	イスラーム家族法 Islamic Family Law	エルバルティ ベリグ Elbalti Beligh	文法経義棟/法42講義室 Lecture Bldg./Lecture Law and Econ/Room 42
3	日本の社会とイデオロギー Japan: Society and Ideology	近藤 佐知彦 Suechihiko KONDO	ICホール/講義室 5・6 IC HALL/Room 5, 6	Suita	文化人類学入門 Introduction to Cultural Anthropology	モハーチ ゴルゲイ Mohacs Gergely	幹精が丘/アパロモズ/学生部 CELAS Student Commons Room B	Toyonaka	日本における大学の国際化 Internationalization of Higher Education in Japan	石倉 佑季子 Yukiko ISHIKURA	文法経義棟/法42講義室 Lecture Bldg./Lecture Law and Econ/Room 42	
					オンライン・リソースを活用したL2学習 Second Language Learning with Online Resources	魚崎 典子 Noriko UOSAKI	サイバーメディアセンター/PLS 5a Cybermedia Center/PLS 5a	Toyonaka	知覚と認知の心理学 Psychology of Perception and Cognition	森川 和明 Kazunori MORIKAWA	人間科学部/東館106講義室 HUS/E106	
4					文化人類学入門 Introduction to Japanese Law	エルバルティ ベリグ Elbalti Beligh	幹精が丘/アパロモズ/学生部 CELAS Student Commons Room B	Toyonaka	イノベーションの管理と変遷 Managing Innovation and Change	近藤佐知彦/三城八重子 Suechihiko KONDO Yoko MITSUMORI	全学教育/共C208 (HALC4) CELAS/C208 (HALC4)	
					日本法入門 Introduction to Japanese Law	エルバルティ ベリグ Elbalti Beligh	サイバーメディアセンター/PLS 5a Cybermedia Center/PLS 5a	Toyonaka	比較法入門 Introduction to Comparative Law	エルバルティ ベリグ Elbalti Beligh	文法経義棟/法42講義室 Lecture Bldg./Lecture Law and Econ/Room 42	
5					デザイン学 — 創造的プロセスと方法論 Design Studies — Creative Process and Methods	イステッキ ジャンギル CHANGIR ISTEK	★オンライン					
					倫理的・再生的都市 Ethical and Regenerative Cities	フレンジン・FD・ハレット BARRETT FRIZZARD FRANCES FOLETT	★オンライン					
6												

Day Period	Thursday			Friday			Intensive, On demand Study					
	Campus	Course Title	Instructor	Room	Campus	Course Title	Instructor	Room	Campus	Course Title	Instructor	Caution
	Toyonaka	総合日本語JA100-トラック1 Japanese JA100-Track 1(Tue1, Wed1, Thu1)	住吉 秀紀 Hideki SUMIYOSHI	全学教育/共C404 CELAS/C404	Toyonaka	UC Frontier Science 1 【4月～8月の第2週目(水2,金1,金2)】	ジョン・ハンプトン・イノ John Hampton INO	★オンライン ★Online	Hy-Flex	国際交流特別講義3(ビッグデータ工学) International Exchange Special Lecture 3(Big Data Engineering)	鬼塚 真 ONIZUKA Makoto	★ハイフレックス ★Hy-Flex
	Toyonaka	総合日本語JA100-トラック2 Japanese JA100-Track 2(Tue1, Wed1, Thu1)	松下 恵子 Keiko MATSUSHITA	全学教育/共B316 CELAS/B316								
	Toyonaka	総合日本語JA200-トラック1 Japanese JA200-Track 1(Tue1, Wed1, Thu1)	寺尾 彰二 Shoji TERAO	CELAS/A313								
	Toyonaka	総合日本語JA200-トラック2 Japanese JA200-Track 2(Tue1, Wed1, Thu1)	半田 佳奈子 Kanako HANDA	全学教育/共C107 CELAS/C107								
	Toyonaka	総合日本語JA300-トラック1 Japanese JA300-Track 1(Tue1, Wed1, Thu1)	上田 安希子 Akiiko UEDA	全学教育/共C408 CELAS/C408								
1	Toyonaka	総合日本語JA300-トラック2 Japanese JA300-Track 2(Tue1, Wed1, Thu1)	宮崎 さとみ Satomi MIYAZAKI	全学教育/共C401 CELAS/C401								
	Toyonaka	総合日本語JA400-トラック1 Japanese JA400-Track 1(Tue1, Wed1, Thu1)	巖永 美央子 Mioeko YOSHINAGA	全学教育/共B201 CELAS Student Commons Room								
	Toyonaka	総合日本語JA400-トラック2 Japanese JA400-Track 2(Tue1, Wed1, Thu1)	巖永 美央子 Mioeko YOSHINAGA	全学教育/共B201 CELAS Student Commons Room								
	Toyonaka	日本語・グローバル理解演習JGU500f Seminar in Japanese and Global Understanding JGU500f	中根 尚己 Naoki NAKAMATA	全学教育/共A315 CELAS/A315								
	Toyonaka	日本語・グローバル理解演習JGU600f Seminar in Japanese and Global Understanding JGU600f	矢部 正人 Masato YABE	全学教育/共B206 CELAS/B206								
2	Toyonaka	UC Frontier Science 1 【4月～8月の第2週目(水2,金1,金2)】	ジョン・ハンプトン・イノ John Hampton INO	★オンライン ★Online	Toyonaka	UC Frontier Science 1 【4月～8月の第2週目(水2,金1,金2)】	ジョン・ハンプトン・イノ John Hampton INO	★オンライン ★Online				
	Toyonaka	近代日本文学における大阪 Osaka in Modern Japanese Literature	村上スミス・アブドワラー Andrew MURAKAMI-SMITH	基礎工学部/B201 講義室 School of Engineering/Room B201	Suita	多文化共生論 Seminar in Studies of Multicultural Societies	キム マワー Kim Mawer	人間科学部/本館31講義室 HUS/Room 31				
3	Toyonaka	科学英語入門 Introduction to Scientific English	岡本 紗知 OKAMOTO Sachi	全学教育/共C403 CELAS/C403								
Online		科学と研究の効果的なコミュニケーション Effectively Communicating Your Science & Research	ブレンダン・F.D.・ヘルツ BRENDAN FRANCIS DOLBY	★オンライン ★Online								
4	Toyonaka	哲学的思考と日本の伝統 Philosophical Thinking and Japanese Traditions	舟場 保之 FUNABA Yasuyuki	全学教育/共C403 CELAS/C403								
5					Suita	地球総合工学入門 Introduction to Global Architecture	大沢 直樹 OSAWA Naoki	工学部/SI-312 School of Engineering/SI-312				
6	Online	特別なトピック・イン・デザイン Special Topics in Design	イステック チャンギル CHANGIR ISTEK	★オンライン ★Online								

【Internship, Pre-authorized person only】

【Independent Study, Pre-authorized person only】

資料 3-2 2023 (令和 5) 年度秋・冬学期 国際交流科目授業時間割
International Exchange Subjects Timetable for the Fall/Winter Semester, 2023

Day	Monday			Tuesday			Wednesday						
	Period	Course Title	Instructor	Room	Campus	Course Title	Instructor	Room	Campus	Course Title	Instructor	Room	
1					Toyonaka	総合日本語 JA100-トラック 1 Japanese JA100-Track 1 (Tue, Wed, Thu)	難波 康治 Koji NAMBA	全学教育/共 C106 CELAS/C106	Toyonaka	881229	総合日本語 JA100-トラック 1 Japanese JA100-Track 1 (Tue, Wed, Thu)	住吉 秀紀 Hideki SUMIYOSHI	全学教育/共 C204 CELAS/C204
					Toyonaka	総合日本語 JA100-トラック 2 Japanese JA100-Track 2 (Tue, Wed, Thu)	難波 康治 Koji NAMBA	全学教育/共 C106 CELAS/C106	Toyonaka	881230	総合日本語 JA100-トラック 2 Japanese JA100-Track 2 (Tue, Wed, Thu)	藤原 京佳 Kyoka FUJIWARA	全学教育/共 A313 CELAS/A313
					Toyonaka	総合日本語 JA100-トラック 3 Japanese JA100-Track 3 (Tue, Wed, Thu)	難波 康治 Koji NAMBA	全学教育/共 C106 CELAS/C106	Toyonaka	881233	総合日本語 JA100-トラック 3 Japanese JA100-Track 3 (Tue, Wed, Thu)	安部 陽子 Yoko ABE	全学教育/共 B316 CELAS/B316
					Toyonaka	総合日本語 JA100-トラック 4 Japanese JA100-Track 4 (Tue, Wed, Thu)	難波 康治 Koji NAMBA	全学教育/共 C106 CELAS/C106	Toyonaka	881238	総合日本語 JA100-トラック 4 Japanese JA100-Track 4 (Tue, Wed, Thu)	稲垣 理香 Rika INAGAKI	全学教育/共 B306 CELAS/B306
					Toyonaka	総合日本語 JA200-トラック 1 Japanese JA200-Track 1 (Tue, Wed, Thu)	大谷 晋也 Shinya OTANI	全学教育/共 C307 CELAS/C307	Toyonaka	881231	総合日本語 JA200-トラック 1 Japanese JA200-Track 1 (Tue, Wed, Thu)	角田 裕三 Yuzo KAKUDA	全学教育/共 C404 CELAS/C404
					Toyonaka	総合日本語 JA200-トラック 2 Japanese JA200-Track 2 (Tue, Wed, Thu)	大谷 晋也 Shinya OTANI	全学教育/共 C307 CELAS/C307	Toyonaka	881232	総合日本語 JA200-トラック 2 Japanese JA200-Track 2 (Tue, Wed, Thu)	尹 惠彦 Hyeun YUN	全学教育/共 C107 CELAS/C107
					Toyonaka	総合日本語 JA300-トラック 1 Japanese JA300-Track 1 (Tue, Wed, Thu)	住吉 秀紀 Shinya OTANI	全学教育/共 C107 CELAS/C107	Toyonaka	881234	総合日本語 JA300-トラック 1 Japanese JA300-Track 1 (Tue, Wed, Thu)	中俣 高己 Naoki NAKAMATA	全学教育/共 C306 CELAS/C306
					Toyonaka	総合日本語 JA300-トラック 2 Japanese JA300-Track 2 (Tue, Wed, Thu)	上田 安希子 Akiko UEDA	全学教育/共 C408 CELAS/C408	Toyonaka	881235	総合日本語 JA300-トラック 2 Japanese JA300-Track 2 (Tue, Wed, Thu)	中俣 高己 Naoki NAKAMATA	全学教育/共 C306 CELAS/C306
					Toyonaka	総合日本語 JA400-トラック 1 Japanese JA400-Track 1 (Tue, Wed, Thu)	宮崎 さとみ Satomi MIYAZAKI	全学教育/共 C205 CELAS/C205	Toyonaka	881236	総合日本語 JA400-トラック 1 Japanese JA400-Track 1 (Tue, Wed, Thu)	上中 淳 Jun UENAKA	全学教育/共 C205 CELAS/C205
					Toyonaka	総合日本語 JA400-トラック 2 Japanese JA400-Track 2 (Tue, Wed, Thu)	矢部 正人 Masato Yabe	全学教育/共 A103 CELAS/A103	Toyonaka	881237	総合日本語 JA400-トラック 2 Japanese JA400-Track 2 (Tue, Wed, Thu)	矢部 正人 Masato Yabe	全学教育/共 A101 CELAS/A101
2					Toyonaka	日本語・グローバル理解演習 JGU500a Seminar in Japanese and Global Understanding JGU500a	藤原 京佳 Kyoka FUJIWARA	全学教育/共 C109 CELAS/C109	Toyonaka	881283	日本語・グローバル理解演習 JGU500b Seminar in Japanese and Global Understanding JGU500b	藤澤 好恵 Yoshie FUJISAWA	全学教育/共 C304 CELAS/C304
					Toyonaka	日本語・グローバル理解演習 JGU600a Seminar in Japanese and Global Understanding JGU600a	松下 恵子 Keiko MATSUSHITA	全学教育/共 C204 CELAS/C204	Toyonaka	881274	日本語・グローバル理解演習 JGU600b Seminar in Japanese and Global Understanding JGU600b	大谷 晋也 Shinya OTANI	全学教育/共 C303 CELAS/C303
					Toyonaka	日本における文化と言語の多様性 Cultural and Linguistic Diversity in Japan	安岡 健一 YASUOKA Kenichi	人間学部/プレゼンテーション HUS/Presentation Room	Toyonaka	881281	異文化コミュニケーション入門 Introduction to Intercultural Communication	石倉 佑季子 Yukiko ISHIKURA	全学教育/共 C306 CELAS/C306
					Suita	日本語で読む社会科学 Social Science Japanese Texts Reading	BAVALIERE Paola	HUS/Presentation Room	Suita	881225	移動の社会学 Sociology of Migration	キム マワー Kim Mawer	人間学部/体館 31 講義室 HUS/Room 31
					Suita	心理学における論点 Special Topic in Human Sciences (VI: Talking Points in Psychology)	ジェームス アンダーソン James Anderson	人間学部/体館 33 講義室 HUS/Room 33					
					Toyonaka	統計学入門 Introduction to Statistics	ポインヤル ベンジャミン POIGNARD Benjamin	経済学部/法経講義棟 5 講義室 Faculty of Economics, Law and Economics Building 5 Lecture Room	Online	881105	特別講義 比較憲法・不法行為法の諸問題 Special Lectures: Topics in Comparative Contract and Torts Law	レオナルド チアノ Leonardo Ciano	★オンライン ★ Online
					Suita	日本のサル学 Primateology in Japan	ジェームス アンダーソン James Anderson	人間学部/体館 33 講義室 HUS/Room 33	Toyonaka	881226	日本のメディアとコミュニケーション Media and Communications in Japan	近藤 佐知彦 Sachiko KONDO	全学教育/共 C306 CELAS/C306
					Suita	気候変動とエネルギー・トランジション・ガバナンス Climate Change and Energy Transition Governance	ハロウリッチ アレクサンドラ BAROYIC ALEXANDRA	HUS/Room 43					
					Suita	グローバル化と大学教育 Global Issues in Education	キム マワー Kim Mawer	人間学部/体館 12 講義室 HUS/Room 12	Toyonaka	881255	現代物理学の最前線 Current Topics in Modern Physics	越野 幹人 KOSHINO Mikito	理学部/D407 School of Science/D407
					Toyonaka	日本の社会とビッグデータ Japan: Society and Big Data	井俣 智夫 Tomohiro IOKU	スチューデント commons 501 セミナー室 B CELAS Student Commons Room B	Toyonaka	881251	ソーシャル/イノベーション/デザイン Social Innovation and Social Design	近藤 佐知彦/三塚 八重子 Sachiko KONDO/YOYI MITSUMORI	全学教育/共 C208 (HALC1) CELAS/C208 (HALC4)
3					Toyonaka	私法の諸問題 Private Law in Japan	エルバルチー ベリグ Elbalti Beigh	法経講義棟/法経講義室 Faculty of Economics, Law and Economics Building Lecture Room	Toyonaka	881187	Introduction to Common Law	エルバルチー ベリグ Elbalti Beigh	文化経済棟/法経講義室 Lecture Hdg., Econ. Law and Econ./Room 2
					Online	人間中心のデザイン概論 Introduction to Human-centered Design	イクテック シンギル Changir Istek	★オンライン ★ Online					
					Suita	社会学 Sociological Theory	クリスチャン エットロト Christian Etzrodt	人間学部/体館 41 講義室 HUS/Room 41					
					Minoh	アカデミックプレゼンテーションコース (FW) Academic Presentation Course (FW)	ネヴィル クリーニング GREENING NEVILLE KAURI	英語・外国語学部/510 講義室 Minoh School of Foreign Studies Room 510					
					Suita	情報システム工学基礎論 Introduction to Information Systems Engineering	三浦 典之 MIURA Noriyuki	情報科学部/体館 A109 講義室 Goshiki School of Information Science and Technology 109					
					Suita	異文化理解入門 Introduction to Cross-cultural Understanding	中橋 真穂 NAKABASHI Maho	工学部/CI-111 School of Engineering/CI-111					
					Suita	東アジア政治学 East Asian Politics	POSGAL ALVAREZ Joseph	人間学部/体館 303 講義室 HUS/E303					
					Online	多変量統計科学 Multivariate Statistical Science	山本 備生 YAMAMOTO Michio	★オンライン [コアモジュール] ★ Online [Access Point: HUS E306]					
					Suita	国際理解入門 Introduction to International Understanding	堀 さやか HORI Sayaka	工学部/CI-111 School of Engineering/CI-111					
	4					Suita	応用物理学入門 Introduction to Applied Physics	吉川 清史 YOSHIKAWA Hiroshi	工学部/PI-211 School of Engineering/PI-211				
					Toyonaka	中東の法と社会 Law and Society in the Middle East	エルバルチー ベリグ Elbalti Beigh	法経講義棟/法経講義室 Faculty of Economics, Law and Econ./Room 2	Toyonaka	881187	Introduction to Common Law	エルバルチー ベリグ Elbalti Beigh	文化経済棟/法経講義室 Lecture Hdg., Econ. Law and Econ./Room 2
					Suita	社会学 Sociological Theory	クリスチャン エットロト Christian Etzrodt	人間学部/体館 41 講義室 HUS/Room 41					
					Minoh	アカデミックプレゼンテーションコース (FW) Academic Presentation Course (FW)	ネヴィル クリーニング GREENING NEVILLE KAURI	英語・外国語学部/510 講義室 Minoh School of Foreign Studies Room 510					
					Suita	情報システム工学基礎論 Introduction to Information Systems Engineering	三浦 典之 MIURA Noriyuki	情報科学部/体館 A109 講義室 Goshiki School of Information Science and Technology 109					
					Suita	異文化理解入門 Introduction to Cross-cultural Understanding	中橋 真穂 NAKABASHI Maho	工学部/CI-111 School of Engineering/CI-111					
					Suita	東アジア政治学 East Asian Politics	POSGAL ALVAREZ Joseph	人間学部/体館 303 講義室 HUS/E303					
					Online	多変量統計科学 Multivariate Statistical Science	山本 備生 YAMAMOTO Michio	★オンライン [コアモジュール] ★ Online [Access Point: HUS E306]					
					Suita	国際理解入門 Introduction to International Understanding	堀 さやか HORI Sayaka	工学部/CI-111 School of Engineering/CI-111					
5						Suita	応用物理学入門 Introduction to Applied Physics	吉川 清史 YOSHIKAWA Hiroshi	工学部/PI-211 School of Engineering/PI-211				
					Toyonaka	中東の法と社会 Law and Society in the Middle East	エルバルチー ベリグ Elbalti Beigh	法経講義棟/法経講義室 Faculty of Economics, Law and Econ./Room 2	Toyonaka	881187	Introduction to Common Law	エルバルチー ベリグ Elbalti Beigh	文化経済棟/法経講義室 Lecture Hdg., Econ. Law and Econ./Room 2
					Suita	社会学 Sociological Theory	クリスチャン エットロト Christian Etzrodt	人間学部/体館 41 講義室 HUS/Room 41					
					Minoh	アカデミックプレゼンテーションコース (FW) Academic Presentation Course (FW)	ネヴィル クリーニング GREENING NEVILLE KAURI	英語・外国語学部/510 講義室 Minoh School of Foreign Studies Room 510					
					Suita	情報システム工学基礎論 Introduction to Information Systems Engineering	三浦 典之 MIURA Noriyuki	情報科学部/体館 A109 講義室 Goshiki School of Information Science and Technology 109					
					Suita	異文化理解入門 Introduction to Cross-cultural Understanding	中橋 真穂 NAKABASHI Maho	工学部/CI-111 School of Engineering/CI-111					
					Suita	東アジア政治学 East Asian Politics	POSGAL ALVAREZ Joseph	人間学部/体館 303 講義室 HUS/E303					
					Online	多変量統計科学 Multivariate Statistical Science	山本 備生 YAMAMOTO Michio	★オンライン [コアモジュール] ★ Online [Access Point: HUS E306]					
					Suita	国際理解入門 Introduction to International Understanding	堀 さやか HORI Sayaka	工学部/CI-111 School of Engineering/CI-111					
	6					Suita	応用物理学入門 Introduction to Applied Physics	吉川 清史 YOSHIKAWA Hiroshi	工学部/PI-211 School of Engineering/PI-211				
					Toyonaka	中東の法と社会 Law and Society in the Middle East	エルバルチー ベリグ Elbalti Beigh	法経講義棟/法経講義室 Faculty of Economics, Law and Econ./Room 2	Toyonaka	881187	Introduction to Common Law	エルバルチー ベリグ Elbalti Beigh	文化経済棟/法経講義室 Lecture Hdg., Econ. Law and Econ./Room 2
					Suita	社会学 Sociological Theory	クリスチャン エットロト Christian Etzrodt	人間学部/体館 41 講義室 HUS/Room 41					
					Minoh	アカデミックプレゼンテーションコース (FW) Academic Presentation Course (FW)	ネヴィル クリーニング GREENING NEVILLE KAURI	英語・外国語学部/510 講義室 Minoh School of Foreign Studies Room 510					
					Suita	情報システム工学基礎論 Introduction to Information Systems Engineering	三浦 典之 MIURA Noriyuki	情報科学部/体館 A109 講義室 Goshiki School of Information Science and Technology 109					
					Suita	異文化理解入門 Introduction to Cross-cultural Understanding	中橋 真穂 NAKABASHI Maho	工学部/CI-111 School of Engineering/CI-111					
					Suita	東アジア政治学 East Asian Politics	POSGAL ALVAREZ Joseph	人間学部/体館 303 講義室 HUS/E303					
					Online	多変量統計科学 Multivariate Statistical Science	山本 備生 YAMAMOTO Michio	★オンライン [コアモジュール] ★ Online [Access Point: HUS E306]					
					Suita	国際理解入門 Introduction to International Understanding	堀 さやか HORI Sayaka	工学部/CI-111 School of Engineering/CI-111					
					Suita	応用物理学入門 Introduction to Applied Physics	吉川 清史 YOSHIKAWA Hiroshi	工学部/PI-211 School of Engineering/PI-211					

Day	Thursday				Friday				Intensive, On demand, Internship, Independent Study					
	Campus	Course Title	Instructor	Room	Campus	Course Title	Instructor	Room	Campus	Course Code	Course Title	Instructor	Caution	
1	Toyonaka	総合日本語 JA100-トラック 1 Japanese JA100-Track 1(Tue1, Wed1, Thu1)	住吉 秀紀 Hideki SUMIYOSHI	全学教育/共C204 CELAS/C204	Online	UC Frontier Science II 【10月～2月の第1週目(水2・金1・金2)】	ジョン・ハンフントン John Hampton IINO	★オンライン ★ Online	Toyonaka	881260	UC Frontier Science (Science of Coffee) UC Frontier Science (Science of Coffee)	クابل, トニー・リン Kubl, Tonya Lynn	文理融合型研究/共通講義室 Interdisciplinary Research Bldg./Room	
	Toyonaka	総合日本語 JA100-トラック 2 Japanese JA100-Track 2(Tue1, Wed1, Thu1)	藤原 京佳 Kyoka FUJIWARA	全学教育/共A313 CELAS/A313	Suita	異文化研究:文化のバリエーションをマッピングする Special Topics (Special Topics, Culture Studies, Japan, Religion, Culture)	クリスチャン・エツロッド Christian Etzrodt	人間科学部/本館12講義室 HUS/Room 12						
	Toyonaka	総合日本語 JA100-トラック 3 Japanese JA100-Track 3(Tue2, Wed1, Thu1)	松下 恵子 Keiko MATSUSHITA	全学教育/共B316 CELAS/B316					Online	88A051	Osaka University Anniversary Lecture Osaka University Anniversary Lecture	藤田 清士 Kiyoshi FUJITA	*Fall/Winter Semester 1 credit	
	Toyonaka	総合日本語 JA100-トラック 4 Japanese JA100-Track 4(Tue1, Wed1, Thu1)	安部 陽子 Yoko ABE	全学教育/共B206 CELAS/B206					Online	88A512	国際交流特別講義2(構造者論(化学)) International Exchange Special Lecture2 (Structural Design (Chem))	久保 孝史 Takaashi KUBO	*Fall term 1 credit	
	Toyonaka	総合日本語 JA200-トラック 1 Japanese JA200-Track 1(Tue1, Wed1, Thu1)	矢部 正人 Masato Yabe	言語文化棟・第1演習室 Language and Culture Bldg./Seminar Room 1					Online	88A506	国際交流特別講義2(生物発現化学工学1) International Exchange Special Lecture 2 (Bio-Inspired Chemistry 1)	馬越 大 UMAKOSHI Hiroshi	*Fall term 1 credit	
	Toyonaka	総合日本語 JA200-トラック 2 Japanese JA200-Track 2(Tue1, Wed1, Thu1)	伊 恵彦 Hyeun YUN	言語文化棟・第5演習室 Language and Culture Bldg./Seminar Room 5					Online	88A508	国際交流特別講義2(生物発現化学工学2) International Exchange Special Lecture 2 (Bio-Inspired Chemistry 2)	馬越 大 UMAKOSHI Hiroshi	*Winter term 1 credit	
	Toyonaka	総合日本語 JA300-トラック 1 Japanese JA300-Track 1(Tue1, Wed1, Thu1)	上田 安希子 Akiko UEDA	全学教育/共C107 CELAS/C107					Online	88A071	化学基礎工学:基礎とBio-Inspired/770ルーチ Introduction to Chemical Engineering Science (Basic and Bio-Inspired Approach)	馬越 大 UMAKOSHI Hiroshi	*Winter term 1 credit	
	Toyonaka	総合日本語 JA300-トラック 2 Japanese JA300-Track 2(Tue1, Wed1, Thu1)	宮崎 さとみ Satomi MIYAZAKI	全学教育/共C408 CELAS/C408					Online	88A076	化学基礎工学:分子集合体の基礎と応用 Introduction to Chemical Engineering Science (Basic and Applied Bio-Inspired)	馬越 大 UMAKOSHI Hiroshi	*Winter term 1 credit	
	Toyonaka	総合日本語 JA400-トラック 1 Japanese JA400-Track 1(Tue1, Wed1, Thu1)	義永 美央子 Mioko YOSHINAGA	全学教育/共C409 CELAS/C409										
	Toyonaka	総合日本語 JA400-トラック 2 Japanese JA400-Track 2(Tue1, Wed1, Thu1)	義永 美央子 Mioko YOSHINAGA	全学教育/共C409 CELAS/C409										
Toyonaka	日本語・グローバル理解演習 JGU500c Seminar in Japanese and Global Understanding JGU500c	中根 高己 Naoki NAKAMATA	全学教育/共A315 CELAS/A315											
		【注意】水・木の1限はJAV/JGU日本語を受講する場合は、2限に吹田キャンパス開講の授業を受講できません。 【Note】If you take JAV/JGU Japanese in the 1st period on Tue, Wed and Thu, you cannot take the classes in Suita Campus in the 2nd period.												
2	Online	UC Frontier Science II 【10月～2月の第1週目(水2・金1・金2)】	ジョン・ハンフントン John Hampton IINO	★オンライン ★ Online	Online	UC Frontier Science II 【10月～2月の第1週目(水2・金1・金2)】	ジョン・ハンフントン John Hampton IINO	★オンライン ★ Online						
Toyonaka	近代・現代日本文学 Japanese Literature, Modern and Contemporary	村上スミス・アランドジャー Andrew MURAKAMI-SMITH	スチューデント commons/ホワイゼー CELAS Student Commons Room			日本の社会とイデオロギー (FW) Japan: Society and Ideology (FW)	近藤 佐知彦 Sachihiko KONDO	人間科学部/本館51講義室 HUS/Room 51		881287	インターンシップ実習(秋冬)-コース2 Internship Course (Fall & Winter) -Course 2	近藤 佐知彦 Sachihiko KONDO	右橋商店街 Shibashashi Shopping Street	
Toyonaka	科学と社会 Science and Society	岡本 紗知 Sachi OKAMOTO	全学教育/共C201 CELAS/C201							881294	インターンシップ実習(秋冬)-コース3-B Internship Course (Fall & Winter) -Course 3-B	近藤 佐知彦 Sachihiko KONDO	キンダーキッズ Kinder Kids	
Suita	東アジア国際関係 East Asian International Relations	バーボヴィッチ アレクサンドラ BARBOVIC ALEKSANDRA	人間科学部/本館31講義室 HUS/Room 31							881295	インターンシップ実習(秋冬)-コース3-C Internship Course (Fall & Winter) -Course 3-C	近藤 佐知彦 Sachihiko KONDO	キンダーキッズ Kinder Kids	
Online	アジア太平洋地域の気候変動—科学と解決策 Climate Change in Asia Pacific— Science and Solutions	ブレンダン F.D. Barrett Brendan F.D. Barrett	*Note that classes will run from 13:00 to 14:30											
Toyonaka	文化:その理解へのアプローチ Approaches to Understanding Cultures	有川 友子 Tomoko ARIKAWA	全学教育/共B207 CELAS/B207											
Suita	日本の外交 Japanese Diplomacy	バーボヴィッチ アレクサンドラ BARBOVIC ALEKSANDRA	人間科学部/本館311講義室 HUS/Room 311											
5														
6	Online	共同・参加型デザイン Collaborative and Participatory Design	イステック ジェンキル Changir Istek	★オンライン ★ Online										

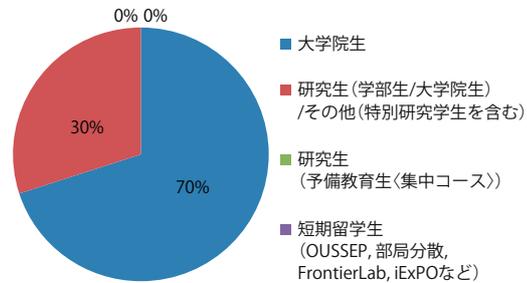
資料 4 日本語授業についてのアンケート

2023年度 春～夏学期 日本語授業についてのアンケート集計（回答者：選択コース受講学生）

Students' Evaluation of the Japanese Language Class

◆身分 回答者のみ

(1) 大学院生	28
(2) 研究生（学部生/大学院生） /その他（特別研究学生を含む）	12
(3) 研究生（予備教育生〈集中コース〉）	0
(4) 短期留学生（OUSSEP, 部局分散, FrontierLab, iExPOなど）	0
計	40



*延総受講者数 134 名のうち、アンケート回答者数 40 名（全体の約 30%）

A. あなたの受講状況について

質問	50%未満 1	50～70% 2	70～80% 3	80～90% 4	90%以上 5	全科目平均値
(1) あなたは、この授業にどのくらい出席しましたか。 (5：高評価)						4.3
(2) あなたはこの授業を意欲的に受講したと思いますか。	全くそう思わない 1	そう思わない 2	どちらともいえない 3	そう思う 4	強くそう思う 5	4.4
(3) あなたはこの授業の準備のために、毎回どのくらい時間をかけましたか。	全くしない 1	～30分 2	～60分 3	～90分 4	91分以上 5	3.3
(4) あなたはこの授業の復習に、毎回どのくらい時間をかけましたか。	全くしない 1	～30分 2	～60分 3	～90分 4	91分以上 5	2.8
(5) あなたは、この授業中（90分）にいつもどのくらい自分から質問や発言をしましたか。	一度もしなかった 1	1回 2	2～3回 3	4～5回 4	6回以上 5	3.1
(6) あなたは、この授業を受講して、日本語が上達したと思いますか。	ぜんぜん 上達しなかった 1	ほとんど 上達しなかった 2	すこしだけ 上達した 3	かなり 上達した 4	とても 上達した 5	4.1

B. 授業への感想

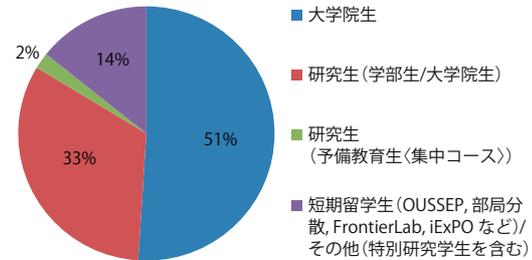
質問	全くそう思わない 1	そう思わない 2	どちらともいえない 3	そう思う 4	強くそう思う 5	平均値
(1) この授業は体系的に構成されていた。						4.5
(2) 教師は十分な準備をしていた。						4.7
(3) 教師の説明はわかりやすかった。						4.6
(4) 教師は質問にいていねいに答えてくれた。						4.8
(5) 練習やアクティビティは役に立った。						4.5
(6) クイズや課題・テストなどは適切だった。						4.5
(7) 宿題の量は適切だった。						4.4
(8) 指定された教科書や、配付されたプリントは役に立った。						4.7
(9) この授業を受講してよかったと思う。						4.6

2023年度 秋～冬学期 日本語授業についてのアンケート集計（回答者：選択コース受講学生）

Students' Evaluation of the Japanese Language Class

◆身分 回答者のみ

(1) 大学院生	25
(2) 研究生（学部生/大学院生）	16
(3) 研究生（予備教育生〈集中コース〉）	1
(4) 短期留学生（OUSSEP, 部局分散, FrontierLab, iExPO など）/ その他（特別研究学生を含む）	7
計	49



* 延総受講者数 153 名のうち、アンケート回答者数 49 名（全体の約 32%）

A. あなたの受講状況について

質問	5: 高評価	全科目平均値				
(1) あなたは、この授業にどのくらい出席しましたか。	50%未満 1	50~70% 2	70~80% 3	80~90% 4	90%以上 5	4.1
(2) あなたはこの授業を意欲的に受講したと思いますか。	全くそう思わない 1	そう思わない 2	どちらともいえない 3	そう思う 4	強くそう思う 5	4.2
(3) あなたはこの授業の準備のために、毎回どのくらい時間をかけましたか。	全くしない 1	~30分 2	~60分 3	~90分 4	91分以上 5	2.8
(4) あなたはこの授業の復習に、毎回どのくらい時間をかけましたか。	全くしない 1	~30分 2	~60分 3	~90分 4	91分以上 5	2.7
(5) あなたは、この授業中（90分）にいつもどのくらい自分から質問や発言をしましたか。	一度もしなかった 1	1回 2	2~3回 3	4~5回 4	6回以上 5	3.4
(6) あなたは、この授業を受講して、日本語が上達したと思いますか。	ぜんぜん上達しなかった 1	ほとんど上達しなかった 2	すこしだけ上達した 3	かなり上達した 4	とても上達した 5	3.9

B. 授業への感想

質問	5: 高評価
(1) この授業は体系的に構成されていた。	4.4
(2) 教師は十分な準備をしていた。	4.6
(3) 教師の説明はわかりやすかった。	4.5
(4) 教師は質問にいていねいに答えてくれた。	4.7
(5) 練習やアクティビティは役に立った。	4.2
(6) クイズや課題・テストなどは適切だった。	4.4
(7) 宿題の量は適切だった。	4.2
(8) 指定された教科書や、配付されたプリントは役に立った。	4.2
(9) この授業を受講してよかったと思う。	4.3

資料 5 国際交流科目 授業評価アンケート (質問票)

 アンケート作成/回答入力

タイトル 2023FW End of Semester Evaluation Questionnaire (International Exchange Subjects)

概要 **"Note:**
The main purpose of this survey is to evaluate and enhance the educational benefits and teaching quality of the instructors. This information may be used by the instructor, coordinator(s), and/or staff of the program as a reference for educational and improvement purposes in an anonymous form.
Your answers to the questions will have no effect on your grade.
You have 10 minutes to answer the questions. Please take your time completing the survey."

開講科目名 日本における文化と言語の多様性

1:Your gender 【1つ選択してください。】 (回答必須)

- I. Male
II. Female
III. Other

2:Your age 【記述式 50文字以内】 (回答必須)

3:Your home country 【1つ選択してください。】 (回答必須)

4:Please write your home country if you chose "others" for question 3. 【記述式 100文字以内】

5:Your native language 【1つ選択してください。】 (回答必須)

6:Please write your native language if you chose "others" for question 5. 【記述式 100文字以内】

7: Your program 【1つ選択してください。】 (回答必須)

- I. OUSSEP
II. iExpo (Regular exchange student)
III. FrontierLab@Osaka
IV. Maple
V. International-College(G30)CBCMP
VI. International-College(G30)HUS
VII. Faculty-level exchange student
VIII. Regular Student
IX. Auditor
X. Others

8:Please write your program if you chose "others" for question 7. 【記述式 100文字以内】

9:Your Japanese level 【1つ選択してください。】 (回答必須)

- I. Native
II. Excellent
III. Good
IV. Fair
V. Poor

10:Your English level 【1つ選択してください。】(回答必須)

- I. Native
- II. Excellent
- III. Good
- IV. Fair
- V. Poor

11:Which field is your major closest to? 【1つ選択してください。】(回答必須)

- I. Dentistry
- II. Economics
- III. Engineering
- IV. Engineering Science
- V. Foreign Studies
- VI. Human Sciences
- VII. Information Science and Technology
- VIII. International Public Policy
- IX. Language and Culture
- X. Law and Politics
- XI. Letters
- XII. Medicine
- XIII. Pharmaceutical
- XIV. Sciences
- XV. Others

12:Please write your major if you chose "others" for question 11. 【記述式 100文字以内】

13:Which field is your minor closest to? 【1つ選択してください。】(回答必須)

14:Please write your minor if you chose "others" for question 13. 【記述式 1,000文字以内】

15:How often did you attend this class so far? 【1つ選択してください。】(回答必須)

- I. All
- II. 80% ~
- III. 60% ~
- IV. 50% ~ 59%
- V. Less than half

16:Let us know the main reason for taking this class. Please write the reason. (e.g. OUSSEP completion, personal interest, others.) 【記述式 1,000文字以内】(回答必須)

17:Are you satisfied with this class? 【1つ選択してください。】(回答必須)

- I. Yes, very much.
- II. Almost always.
- III. To some extent.
- IV. A little.
- V. Not at all.

18:Is the lecture understandable? 【1つ選択してください。】(回答必須)

- I. Yes, very much.
- II. Almost always.
- III. To some extent.
- IV. A little.
- V. Not at all.

19: Does the instructor speak English understandably? 【1つ選択してください。】 (回答必須)

- I. Yes, very much.
- II. Almost always.
- III. To some extent.
- IV. A little.
- V. Not at all.

20: Is the class conducted in accordance with the syllabus? 【1つ選択してください。】 (回答必須)

- I. Yes, very much.
- II. Almost always.
- III. To some extent.
- IV. A little.
- V. Not at all.

21: Does the instructor appropriately answer questions that the students have? 【1つ選択してください。】 (回答必須)

- I. Yes, very much.
- II. Almost always.
- III. To some extent.
- IV. A little.
- V. Not at all.

22: Let us know your opinion on the amount of reading and assignments (inside and outside of class). 【1つ選択してください。】 (回答必須)

- I. Too much.
- II. Much.
- III. Adequate.
- IV. A little.
- V. Too little.

23: Did the instructor explain the grading method and policy sufficiently? 【1つ選択してください。】 (回答必須)

- I. Yes, very much.
- II. Almost always.
- III. To some extent.
- IV. A little.
- V. Not at all.

24: Does the instructor think out a method or way to improve the education effect? 【1つ選択してください。】 (回答必須)

- I. Yes, very much.
- II. Almost always.
- III. To some extent.
- IV. A little.
- V. Not at all.

25: Is the lecture interactive (e.g. between instructor and students, among students)? 【1つ選択してください。】 (回答必須)

- I. Yes, very much.
- II. Almost always.
- III. To some extent.
- IV. A little.
- V. Not at all.

26: Did you develop global awareness and learn different cultures and values through taking this class? 【1つ選択してください。】 (回答必須)

- I. Yes, very much.

- II. Almost always.
- III. To some extent.
- IV. A little.
- V. Not at all.

27: How well does the TA/TF contribute? 【1つ選択してください。】 (回答必須)

- I. Very much.
- II. Almost always.
- III. To some extent.
- IV. A little.
- V. Not at all,
- VI. There are no TAs/TFs.

28: (Only for international students) Do you intend to transfer the credit to your home institution? 【1つ選択してください。】 (回答必須)

- I. I'll transfer the credit.
- II. I can transfer, but I don't need credits.
- III. I cannot transfer.
- IV. I'm an Osaka University student.

29: (Only for international students) To what extent have you had opportunities to talk to Japanese students through attending this class so far? 【1つ選択してください。】 (回答必須)

- I. Very much.
- II. Almost always.
- III. To some extent.
- IV. A little.
- V. Not at all.
- VI. There are no Japanese students.
- VII. I'm a Japanese student.

30: (Only for international students) Can you recommend this class to other international students and students of your home university? 【1つ選択してください。】 (回答必須)

- I. Yes, very much.
- II. Almost always.
- III. To some extent.
- IV. A little.
- V. Not at all.
- VI. I'm a Japanese student.

31: (Only for Osaka University students) Do you take this class to get the credit for graduation? 卒業要件単位取得の目的で受講していますか? 【1つ選択してください。】 (回答必須)

- I. Yes, I'll get the credit for graduation.
- II. No, I'm an auditor.
- III. No, I'll get the credit, however the credit is not necessary for graduation,
- IV. I'm not a regular student.

32: (Only for Osaka University students) To what extent have you had opportunities to talk to international students in this class? この授業で留学生との交流はできましたか? 【1つ選択してください。】 (回答必須)

- I. Very much.
- II. Almost always.
- III. To some extent.
- IV. A little.
- V. Not at all.
- VI. I'm not a regular student.

33: (Only for Osaka University students) Do you have more opportunities to communicate with international students outside classes through taking this class? 授業に参加することで授業以外で留学生と話す機会が増えましたか? 【1つ選択してください。】 (回答必須)

- I. Yes, very much.
- II. Almost always.

- III. To some extent.
- IV. A little.
- V. Not at all.
- VI. I'm not a regular student.

34:(Only for Osaka University students) Have you ever studied abroad before? あなたはこれまでに留学したことがありますか? 【1つ選択してください。】 (回答必須)

- I. I have studied abroad for 6 months or more.
- II. I have studied abroad for 3 months or more.
- III. I have studied abroad for less than 3 months.
- IV. I haven't studied abroad, however I'm thinking about it in the future.
- V. I haven't studied abroad, and don't plan to do so in the future.
- VI. I'm not a regular student.

35:(Only for Osaka University students) Did you become interested in studying abroad through taking this class? 授業に参加することであなたは海外留学に興味を持ちましたか? 【1つ選択してください。】 (回答必須)

- I. Yes, very much.
- II. Almost always.
- III. To some extent.
- IV. A little.
- V. Not at all.
- VI. I have already studied abroad before.
- VII. I'm not a regular student.

36:(Only for Osaka University students) Is this class helpful in preparing for studying abroad? 海外留学のための準備としてこの授業に参加することは、役に立つと思いますか? 【1つ選択してください。】 (回答必須)

- I. Yes, very much.
- II. Almost always.
- III. To some extent.
- IV. A little.
- V. Not at all.
- VI. I'm not a regular student.

37:(Only for Osaka University students) Can you recommend this class to other students? 後輩や他の学生にこの授業を受講することを勧められますか? 【1つ選択してください。】 (回答必須)

- I. Yes, very much.
- II. Almost always.
- III. To some extent.
- IV. A little.
- V. Not at all.
- VI. I'm not a regular student.

38:Do you think that the class should keep being conducted online? 【1つ選択してください。】 (回答必須)

- I. Yes, very much.
- II. Almost always.
- III. To some extent.
- IV. A little.
- V. Not at all.

39:Let us know what good points in this online class? 【記述式 1,000文字以内】 (回答必須)

40:Let us know what difficulties you have in this online class? 【記述式 1,000文字以内】 (回答必須)

41:Let us know if there are any favorable methods of teaching or class organization that you think the instructor should continue to maintain. (e.g. audio-

visual material, field trip, discussions, quizzes, etc.) 【記述式 1,000文字以内】

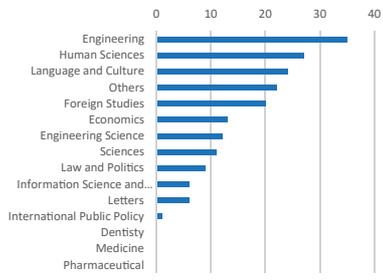
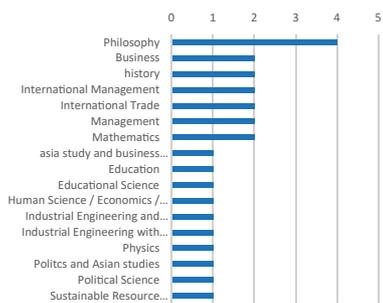
42:Let us know if you have any suggestions or advice to improve the class. 【記述式 1,000文字以内】

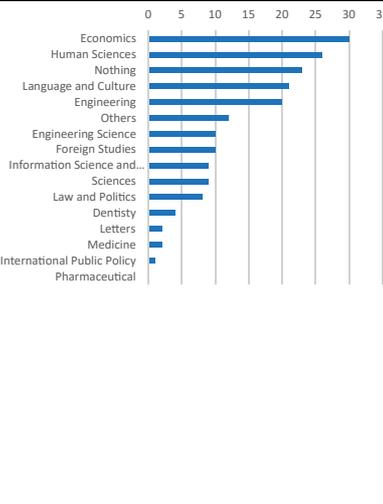
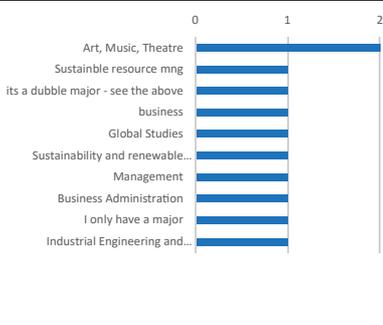
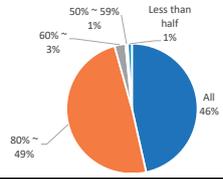
43:Please freely write any other comments and opinions. 【記述式 1,000文字以内】

資料 6 国際交流科目 授業アンケート (結果)

2023FW End of Semester Evaluation Questionnaire (International Exchange Subjects)					
Exchange international students (English)					
1	Your gender	answer	number		
		Male	92		
		Female	95		
		Other	0		
		Total	187		
			<p>Other, 0, 0%</p> <p>Female, 95, 51%</p> <p>Male, 92, 49%</p>		
2	Your age	answer	number		
		19	2		
		20	28		
		21	43		
		22	37		
		23	26		
		24	25		
		25	9		
		26	4		
		27	0		
		28	6		
		29	3		
		30	0		
		31	2		
		Total	185		
		3	Your home country	answer	number
Germany	38				
China	22				
France	20				
Republic of Korea	18				
Denmark	12				
The Netherlands	11				
Australia	10				
Japan	9				
Spain	9				
Indonesia	7				
Others	7				
Taiwan	6				
Finland	5				
U.K.	4				
Canada	3				
Russia	3				
India	1				
Mexico	1				
Uzbekistan	1				
Vietnam	1				
Austria, Belgium, Bhuta, Brazil, Brunei Darussallam, Cambodia, Croatia, Czech Republic, Egypt, Greece, Hungary, Italy, Kenya, Malaysia, Mongol, Myanmar, Nepal, Pakistan, Peru, Philippines, Portugal, Singapore, Slovakia, Sri Lanka, Sweden, Thailand, United States	0				
Total	188				

4	Please write your home country if you chose "others" for question 3.	home country	number	
		israel	2	
		I have two home country Mongolia and Japan	1	
		Hong Kong	1	
		Kazakhstan	1	
5	Your native language	answer	number	
		German	38	
		Chinese	27	
		French	19	
		English	18	
		Korean	17	
		Danish	12	
		Dutch	11	
		Japanese	10	
		Spanish	10	
		Indonesian	7	
		Russian	6	
		Swedish	4	
		Others	4	
		Cantonese	2	
		Finnish	1	
		Vietnamese	1	
		Arabic	0	
		Burmese	0	
		Croatian	0	
		Czech	0	
		Greek	0	
		Hindi	0	
		Hungarian	0	
		Italian	0	
		Khmer	0	
		Malay	0	
		Mongolian	0	
Nepali	0			
Persian	0			
Portuguese	0			
Slovak	0			
Tagalog	0			
Taiwanese	0			
Thai	0			
Uzbek	0			
6	Please write your native language if you chose "others" for question 5.	answer	number	
		Hebrew	2	
7	Your program	answer	number	
		OUSSEP	151	
		Regular Student	9	
		iExpo (Regular exchange student)	8	
		Auditor	7	
		Others	6	
		International-College(G30)HUS	4	
		Faculty-level exchange student	2	
		FrontierLab@Osaka	0	
		Maple	0	
		International-College(G30)CBCMP	0	

8	Please write your program if you chose "others" for question 7.	answer	number	
		OUSSEP	1	
		Special auditor	3	
		Special Auditor at Law School	1	
		Exchange student	1	
9	Your Japanese level	answer	number	
		Native	10	
		Excellent	10	
		Good	47	
		Fair	52	
10	Your English level	answer	number	
		Native	41	
		Excellent	74	
		Good	62	
		Fair	8	
11	Which field is your major closest to?	answer	number	
		Engineering	35	
		Human Sciences	27	
		Language and Culture	24	
		Others	22	
		Foreign Studies	20	
		Economics	13	
		Engineering Science	12	
		Sciences	11	
		Law and Politics	9	
		Information Science and Technology	6	
		Letters	6	
		International Public Policy	1	
		Dentistry	0	
		Medicine	0	
Pharmaceutical	0			
12	Please write your major if you chose "others" for question 11.	answer	number	
		Philosophy	4	
		Business	2	
		history	2	
		International Management	2	
		International Trade	2	
		Management	2	
		Mathematics	2	
		asia study and business management	1	
		Education	1	
		Educational Science	1	
		Human Science/Economics/Material Science	1	
		Industrial Engineering and Management	1	
		Industrial Engineering with specification in Energy and Resources	1	
		Physics	1	
Polirts and Asian studies	1			
Political Science	1			
Sustainable Resource Management	1			

13	Which field is your minor closest to?	answer	number	
		Economics	30	
		Human Sciences	26	
		Nothing	23	
		Language and Culture	21	
		Engineering	20	
		Others	12	
		Engineering Science	10	
		Foreign Studies	10	
		Information Science and Technology	9	
		Sciences	9	
		Law and Politics	8	
		Dentistry	4	
		Letters	2	
		Medicine	2	
International Public Policy	1			
Pharmaceutical	0			
14	Please write your minor if you chose "others" for question 13.	question	number	
		Art, Music, Theatre	2	
		Sustainable resource mng	1	
		its a dubble major - see the above	1	
		business	1	
		Global Studies	1	
		Sustainability and renewable energies	1	
		Management	1	
		Business Administration	1	
		I only have a major	1	
Industrial Engineering and Management	1			
15	How often did you attend this class so far?	answer	number	
		All	87	
		80% ~	92	
		60% ~	5	
		50% ~ 59%	1	
		Less than half	2	
16	Let us know the main reason for taking this class. Please write the reason. (e.g. OUSSEP completion, personal interest, others.)	answer	number	
		Personal interest		20
		Personal interest in the field of law		2
		personally like statistics		
		personal interest, career plan		
		personal interest, also this class is conducted in English.		
		personal interest with the topic of this class		
		Personal interest with Japanese literature.		
		personal interest to understand cultures and take class in English		
		Personal interest to get to know cultures better		
		Personal interest in the subject		
		personal interest in refreshing statistics and OUSSEP completion		
		personal interest in Middle Eastern law and international law		
		Personal interest in better presentation skills		
		Personal interest because my parents are born in Tunisia which is linked to the middle East.		
		OUSSEP completion		27
OUSSEP completion, personal interest		8		
oussep completion, major related				

	OUSSEP completion, credits for home university, interesting topic.	
	OUSSEP completion, credit, relevance	
	OUSSEP completion, but also because of high interest	
	OUSSEP completion, and the topic seemed interesting.	
	OUSSEP completion and relevance	
	OUSSEP completion and personal interest in culture and linguistics.	
	OUSSEP completion and interest in introductory courses	
	OUSSEP completion and I liked to schedule.	
	OUSSEP completion and I like law.	
	OUSSEP completion and big interest in contract law.	
	OUSSEP completion and a bit of interest	
	高度国際科目充当のため	
	What class	
	wanted to learn about cultures, especially Japanese	
	want to learn about Japanese Media	
	want to know about Japanese culture and language	
	Transfers back to home university	
	To understand Sociology better	
	to understand cultures better	
	To study in Japan	
	To obtain credits for advanced international development subjects.	
	To get an equivalent of one of my lecture in my home country and because it seemed interesting.	
	To fulfill the necessary credit requirements.	
	To enhance my capacity of using English, international communication and academic presentation skills	
	To broaden my view on Japanese culture and society.	
	This was one of the few available classes related to my studies, so I decided to take it to update my memory of statistics.	
	This class was a requirement from my home university, for direct replacement	
	This class covered a major field of studies from my major.	
	There was Physics in the title and as I study physics I was interested.	
	The topic seemed interesting.	
	The title sounds engaging	
	The main topic of the class is impressive for me. So I would like to learn these classes.	
	The credits transfer to my home university	
	Since I want to do some investment in tech areas, this course can help me gain some basic knowledge.	
	Relevance to degree	
	Relevance	
	Relation to my home studies and interest in the variety of research topics covered by the omnibus lectures	
	One of the few available courses related to my major.	
	needed a law subject anyways, interest in Japanese law	
	My major is mainly studying Japanese, but also Japan's history and culture. I thought it would be interesting to	
	have an introduction class to have a better understanding of cultures.	
	My coursework is related to media, so I wanted to take this course	
	migration is related to my bachelor	
	Mandatory with exchange	
	Looks fun	
	Literature is an elemental way to explore Japanese culture and the temperament of Japanese.	
	Learn more knowledge about current modern.	
	Learn more about information science.	
	Learn more about biology knowledge.	
	learn more about applied physics	
	Just interesting	
	It was stipulated as a compulsory undergraduate credit.	
	It was out of personal interest and because it was a topic I never studied before.	

It was one of the few English courses that seemed interesting to me	
It was kind of random, I just wanted to take something related to my major, but I didn't regret at all that I took this one	
it was interesting	
It seemed interesting.	
It seemed interesting.	
Interesting to learn the system of law	
Interesting in learning more about culture in Japan	
Interested in learning more about Japanese literature.	
interested in Japanese media	
interested in Japanese literature	
interested	
interest in Japanese peculiarities	
I'm majoring in information technology, so I wanted to take a class in something aligned.	
I'm interested in literatures.	
Im a physics student	
IISMA completion	
ieppo program completion	
I was rejected from other classes.	
I was interested in this lecture and I also needed to choose a law class in order to get an equivalent of one of my class in my home university.	
I was eager to experience diverse things in Japan outside of the campus.	
I wanted to meet with the other international students	
i wanted to learn about a subject that i didn't have any knowledge about it before that	
I wanted to gain some insight into Japanese Media and media as a whole	
I want to increase my knowledge about statistics.	
I took this class because im a physics student and it seemed fun, also i did it for the OUSSEP completion.	
I thought it would be interesting, and also because I needed the credits obviously	
I think it has a good way to introduce new research topics regarding physics application that could inspire me to do more research. Through this class i am motivated to start my master degree in osaka if i have a chance	
I think big data plays a huge role and affects our lives on a daily basis. By taking this class i wanted to extend my knowledge.	
I study physics too	
I needed an equivalent lecture for a law class I have in my home university. Also, this class seemed interesting.	
I like literature and wanted to know more about Japanese literature.	
i like law	
I have personal interest for cultural issues and wished to gain more insight on understanding cross-cultural differences. Especially as a psychology major, I hoped that this course would be not only very interesting, but also very useful for my degree, since I think that understanding cultural differences is a necessity in order to understand humans.	
I have had similar classes at home and wanted to further my understanding of the topic.	
I have a personal interest in legal fields that fall outside the scope of the G30 program.	
I have a class at my home university which I don't have to take because I took this class.	
I feel like I want to talk to other students from other countries. Also I choose this course for its field trips	
I feel interested about sociology theories in humanity branch	
I do physics	
I am interested in linguistic	
Humans are closely related to primates, therefore studying them is logical.	
Fun	
Curiosity	
Critical thinking, and the professor's smile.	
Because it's the closest one to my subjects back at home.	
because it was related to physics	
Because I want to acquire the better command of R skills, understanding the basic theory of statistics.	
Because I study physics	
Because I am interested in the topic	
As I am majoring in Technology, Big Data will come into big play at some point in the future.	

	Academic and personal interest in the topic		
	Academic and Personal Interest		
	For the credits		5
	I am also doing a law degree (remotely) and really enjoy private law also I am really interested in japanese society. So this class was		
	a rather evident choice		
	When I read a syllabus, I saw many controversial topics, such as GMO and Cancer. I play debates, so they were close to me		
	and also interesting		
17	Are you satisfied with this class?	answer	number
		Yes, very much.	56
		Almost always.	61
		To some extent.	50
		A little.	15
		Not at all.	5
18	Is the lecture understandable?	answer	number
		Yes, very much.	84
		Almost always.	47
		To some extent.	41
		A little.	13
		Not at all.	1
19	Does the instructor speak English understandably?	answer	number
		Yes, very much.	102
		Almost always.	47
		To some extent.	29
		A little.	9
		Not at all.	0
20	Is the class conducted in accordance with the syllabus?	answer	number
		Yes, very much.	123
		Almost always.	50
		To some extent.	11
		A little.	0
		Not at all.	3
21	Does the instructor appropriately answer questions that the students have?	answer	number
		Yes, very much.	122
		Almost always.	41
		To some extent.	12
		A little.	8
		Not at all.	4
22	Let us know your opinion on the amount of reading and assignments (inside and outside of class).	answer	number
		Too much.	12
		Much.	28
		Adequate.	137
		A little.	10
		Too little.	0
23	Did the instructor explain the grading method and policy sufficiently?	answer	number
		Yes, very much.	106
		Almost always.	44
		To some extent.	16
		A little.	12
		Not at all.	9

24	Does the instructor think out a method or way to improve the education effect?	answer	number	
		Yes, very much.	69	
		Almost always.	55	
		To some extent.	39	
		A little.	11	
		Not at all.	13	
25	Is the lecture interactive (e.g. between instructor and students, among students)?	answer	number	
		Yes, very much.	81	
		Almost always.	45	
		To some extent.	30	
		A little.	19	
		Not at all.	12	
26	Did you develop global awareness and learn different cultures and values through taking this class?	answer	number	
		Yes, very much.	63	
		Almost always.	56	
		To some extent.	38	
		A little.	11	
		Not at all.	19	
27	How well does the TA/TF contribute?	answer	number	
		Very much.	35	
		Almost always.	30	
		To some extent.	24	
		A little.	20	
		Not at all,	6	
There are no TAs/TFs.	71			
28	(Only for international students) Do you intend to transfer the credit to your home institution?	answer	number	
		I'll transfer the credit.	123	
		I can transfer, but I don't need credits.	21	
		I cannot transfer.	30	
		I'm an Osaka University student.	13	
29	(Only for international students) To what extent have you had opportunities to talk to Japanese students through attending this class so far?	answer	number	
		Very much.	6	
		Almost always.	4	
		To some extent.	20	
		A little.	33	
		Not at all.	71	
		There are no Japanese students.	43	
		I'm a Japanese student.	9	
30	(Only for international students) Can you recommend this class to other international students and students of your home university?	answer	number	
		Yes, very much.	58	
		Almost always.	37	
		To some extent.	56	
		A little.	20	
		Not at all.	5	
		I'm a Japanese student.	9	
31	(Only for Osaka University students) Do you take this class to get the credit for graduation?	answer	number	
		Yes, I'll get the credit for graduation.	21	
		No, I'm an auditor.	7	
		No, I'll get the credit, however the credit is not necessary for graduation,	10	
		I'm not a regular student.	141	

32	(Only for Osaka University students) To what extent have you had opportunities to talk to international students in this class?	answer	number	<p>Detailed description: A pie chart with six segments. The largest segment is 'Very much' at 46%. Other segments include 'To some extent' (24%), 'Not at all' (12%), 'Almost always' (12%), and 'A little' (6%).</p>
		Very much.	15	
		Almost always.	4	
		To some extent.	8	
		A little.	2	
		Not at all.	4	
		I'm not a regular student.	147	
33	(Only for Osaka University students) Do you have more opportunities to communicate with international students outside classes through taking this class?	answer	number	<p>Detailed description: A pie chart with five segments. The largest segment is 'To some extent' at 31%. Other segments include 'Yes, very much' (22%), 'Almost always' (16%), 'Not at all' (25%), and 'A little' (6%).</p>
		Yes, very much.	7	
		Almost always.	5	
		To some extent.	10	
		A little.	2	
		Not at all.	8	
		I'm not a regular student.	146	
34	(Only for Osaka University students) Have you ever studied abroad before?	answer	number	<p>Detailed description: A pie chart with five segments. The largest segment is 'I have studied abroad for 6 months or more' at 26%. Other segments include 'I haven't studied abroad, and don't plan to do so in the future' (17%), 'I have studied abroad for less than 3 months' (6%), 'I haven't studied abroad, however I'm thinking about it in the future' (5%), and 'I have studied abroad for 3 months or more' (9%).</p>
		I have studied abroad for 6 months or more.	6	
		I have studied abroad for 3 months or more.	2	
		I have studied abroad for less than 3 months.	6	
		I haven't studied abroad, however I'm thinking about it in the future.	5	
		I haven't studied abroad, and don't plan to do so in the future.	4	
		I'm not a regular student.	152	
35	(Only for Osaka University students) Did you become interested in studying abroad through taking this class?	answer	number	<p>Detailed description: A pie chart with six segments. The largest segment is 'To some extent' at 24%. Other segments include 'Yes, very much' (19%), 'Almost always' (19%), 'I have already studied abroad before' (19%), 'A little' (14%), and 'Not at all' (5%).</p>
		Yes, very much.	4	
		Almost always.	4	
		To some extent.	5	
		A little.	3	
		Not at all.	1	
		I have already studied abroad before.	4	
I'm not a regular student.	153			
36	(Only for Osaka University students) Is this class helpful in preparing for studying abroad?	answer	number	<p>Detailed description: A pie chart with five segments. The largest segment is 'To some extent' at 50%. Other segments include 'Yes, very much' (25%), 'Almost always' (10%), 'A little' (10%), and 'Not at all' (5%).</p>
		Yes, very much.	5	
		Almost always.	2	
		To some extent.	10	
		A little.	2	
		Not at all.	1	
		I'm not a regular student.	154	
37	(Only for Osaka University students) Can you recommend this class to other students?	answer	number	<p>Detailed description: A pie chart with four segments. The largest segment is 'Yes, very much' at 31%. Other segments include 'Almost always' (30%), 'To some extent' (30%), and 'Not at all' (9%).</p>
		Yes, very much.	7	
		Almost always.	7	
		To some extent.	7	
		A little.	0	
		Not at all.	2	
		I'm not a regular student.	150	
38	Do you think that the class should keep being conducted online?	answer	number	<p>Detailed description: A pie chart with five segments. The largest segment is 'To some extent' at 30%. Other segments include 'Yes, very much' (18%), 'Almost always' (15%), 'Not at all' (31%), and 'A little' (6%).</p>
		Yes, very much.	33	
		Almost always.	27	
		To some extent.	54	
		A little.	11	
		Not at all.	57	

39	Let us know what good points in this online class?	
	answer	number
	3 different ways in participation, cultural approach	
	a lot of different topics	
	A lot of topics are interesting	
	A lot of variety in the topics	
	A variety of Japanese literature genres. Abundant time for group discussion. Inspiring comments from the teacher.	
	All is good	
	Although there is a student that joins online I didn't know that this was actually available as an online class to all the students....	
	attend the class anywhere	
	be efficient	5
	Because it is in 5th period it is nice that we can have this class online.	
	Because this is a lecture where there is few interactions with students, mostly one-way it will not create problem making it online.	
	Better able to understand class content	
	Briefer slides will be better.	
	Can better understand the content of class lectures	3
	Can watch whenever	
	Clear grading and exercises	
	Convenient	
	Covers a broad range of interesting topics in applied physics. I enjoyed learning about the different topics.	
	Covers wide topics	
	diversity	
	Due to scheduling conflicts with other classes and personal commitments, I am unable to attend the in-person sessions,	
	making online courses a valuable solution.	
	easy to attend the class anywhere	
	Following the class works better online.	
	For online it adds more flexibility.	
	For people not in Osaka it is a good option.	
	Fun	
	Getting a chance to discuss with other international students	
	Good	
	Good interaction with other students	
	good knowledge about migration and a lot of group work.	
	Group discussions	
	I always attend in person	
	I can take the class whenever I want to do.	
	I can't think of any at the moment.	
	I could save times to go to the campus and invest those saved times to teach myself more.	2
	I did like that every lecture was recorded, so we could see past lectures, if we forgot something	
	I like how the teacher explains the topic clearly and tries to simplify the topic for those who are not law students	
	I liked that it wasn't online, it had a broad overview over east asian politics, it was quite good understandable	
	I liked the different topics for each week, and every lecturer had some interesting topics they were working on	
	I liked the interactions that we had to go through. I also liked that we had to tie it back into our own subjects.	
	I really enjoyed this class, I have learned very interesting things regarding Japanese culture	
	I really like teamwork and my team. Topics were also very interesning	
	I really liked the content of the class. (But class was not online)	
	I think it is a very interesting class	
	I think it is better physically	
	I think the best part of the course was the interactive conversations on every lesson. Additionally, the teacher was able to create a very	
	warm and sensitive atmosphere, where one could feel safe.	
	I think this subject is very interesting because we have the opportunity to learn about various topics from different professors. I have	

especially enjoyed the lectures regarding loanwords and applied Japanese linguistics :)	
I was never told that this was an online class..... It probably would benefit from being online though...	
In the beginning there was some interesting theories that we discussed.	
Insight into other cultures	
interactive	4
Interactive course with really interesting cases. Mr. Ciano is a really great lecturer that provides great and interesting lectures.	
Interactive. Always work in group at some points which creates bond with people.	
Interesting	2
Interesting content at times and low work load	
Interesting different topics	
Interesting discussion with classmates.	
It allows student living far from the campus to be able to follow the lecture.	
It allows student to follow the lecture despite where they are, it is very convenient for students who live far from campus.	
It allows students living far away from the campus to still be able to follow the lecture.	
It allows students more flexibility around their daily lives outside of campus.	
It can be recorded and be seen afterwards.	
It is a good idea for people not in Osaka	
it is a very interesting course	
It is very convenient for people who leave far way from the campus. Also it helps a lot for people who doesn't have a lot of class	
in between 1st period and this one.	
It teaches me the form of law that is practiced globally, yet is not practiced in my own country, which gives me a new perspective	
of the rule of law in other countries	
It was interactive and I got to talk with my classmates a lot. I learned about different cultures through talking with others	
It was interesting to see the different developments in applied physics.	
It was not an online class, but it was still very interesting, and the teacher was very nice.	
it was not online	
It was very convenient to have this class online. The breakout sessions were a great to exchange.	
it was very explanatory for people who doesn't have knowledge in law	
It would be good to be able to watch the lectures anytime.	
More flexible to students	2
lots of different interesting topics from physics. you get a good insight in many different fields of research	
Lots of good discussions. Hard topics to discuss, but good structure provided to tackle some of them.	
Lots of interaction between students	
Makes it very accessible	
Many different topics, nice with varying lecturers	
many field trips	
Many interesting courses	
more convenient	
more info on CLE	
more interesting in hearing opinions from people who cannot be in Japan. More convenient	
No loss if attended online compared to in-class.	
No need to pay for expensive transportation fee	
Not online, but class in general is wonderful!!	
Nothing.	
Often times this class presentations would be a lot better to see if it would be a online class.	
Online it is almost the same productive as offline	
reading a lot of different genres	
Same effect as in-person attendance.	
save time	2
Self-paced	

Several options for attendance is good: you can choose to take class online, asynchronous by submitting a report by the end	
of the week or go to class. Professor's lectures are very coherent and engaging.	
Since the class is quite late in the day it is really a good option !	
Some lecturers were very competent and their classes were nice.	
Students do not have to be in the classroom to attend class, perhaps increasing the likelihood of attending class.	
Students who usually study in Suita Campus can take this class,	
The class gives an overview about a lot of topics, which may help a student from the physics area to find a possible area to write	
his thesis about	
The class is conducted offline so everything is good in my opinion!	
The class is highly informative. The hybrid nature facilitates flexible scheduling and balancing health needs with university obligations.	
The class lectures and variety of topics	
The class was absolutely stressless and full of the interesting facts	
The class was not conducted online (Thankfully!)	
The class was very informative	
The code that was provided was very nice. It helped me understand the material a lot better	
The general format of the course is great, the structure is clear and the course is well organized. It is a special format I enjoy a lot.	
the interaction with different universities from different nations	
The lectures are very clear on the content	
The lectures were well organized and all materials were accessible to us. The professor was kind and responsive to our needs.	
The level of English is so high.	
The teacher is passionate and the group work is efficient	
The teacher was great. He brought the topic in a good and understandable way.	
The selection of topics were well picked. I felt more educated!	
The theme of the class was good.	
The topic is very interesting! The thinkers we were concerned with gave different perspectives.	
the usage of Media material	
the used material, videos	
the zoom class	
the teacher was good and kind	
There are so many opportunities to communicate with international students, and share differences about our culture.	
There is an interesting variety of topics that are discussed, it is also good to let the students pick their own topic for the final paper.	
They gave us a lot of information and explained well.	
This class can be conducted online to some extent although I would prefer it offline	
This class is no longer conducted online! Only the first 2 weeks	
This helps for flexibility	
Understandable amount and content of assignment	
Varying topics covering different areas.	
very flexible and students are given enough chances to cooperate	
Very interesting to learn more about Japanese literature, nice chosen works.	
Very interesting to see the psychological elements and research. Combining that with the way media works was really interesting.	
Very interesting topics covering a broad array of modern physics	
What I liked was that the field trips were organized. We really learned something about Japanese history and cultural elements.	
When you can't make it to the class, you can still participate in it by posting your opinion in the discussion thread.	
While the lecture could be conducted online, I believe that online is still the preferred method	
You can take class wherever you want.	
you can take the lecture wherever and whenever you want.	
You have the possibility to utilize the learned theory during the homework, but in some cases it was too complex and	
the homework alone took several hours. A better explanation during the class would be beneficial	

	いつでも見たい時に見れること	
	I don't know	5
	It is not conducted online	17
	What class	
	What?	
40	Let us know what difficulties you have in this online class?	
	answer	number
	A lot of different professors.	
	alot of knowledge to get along and the hour is a but difficult	
	As I am not part of Law studies back home, it is very hard for me to understand the complex legal matters that does not even	
	concern my home country back home.	
	Attendance	
	By far not everyone read the material beforehand, hampering the discussions.	
	Class attention seems to be low	
	Class was not online?	
	Communicating fluently and understanding completely was difficult for me.	
	Difficult to ask questions	
	English of professor was a bit poor, sometimes hard to follow	
	getting to read all the material	
	Good	
	Have no idea what content was taught in class to do the weekly assignments because the slides were uploaded late. But Professor	
	fixed it after I told her so it is ok now.	
	Haven't had any difficulties.	
	Having a different lecture every time is confusing and there is no deep explanation of topics but only brief explanation of a lot of topics	
	I always attend in person	
	I can't soon solve what I couldn't understand, because the instructor can't response the interactive lectures to us students.	
	I could not make most of the fieldtrips due to conflicts with other classes and/or the fieldtrips being on the weekend.	
	I couldn't fully follow because sometimes it was kind of hard to understand.	
	I did not have any particular difficulties with the online class	
	I did not have any problems in this class as it was not online.	
	I did not have difficulties	
	I did not know much about this topic so often I did not understand much that was being said. Some professors gave proper	
	introductions to the topic and that really helped. Otherwise it was too hard for me.	
	no opportunity to talk with others	
	Not much interaction between students and sometimes difficult to hear the voices of students in the classroom.	
	Not-so interactive lectures, students just sit and listen.The lecture material felt overwhelming considering this is an introduction course.	
	I felt difficulties when we discussed with other students.	
	I had no difficulties with online class.	
	I mostly went physically	
	I think my main problem, was the teacher had some difficulties in English or misinterpreted some English messages from foreign medias	
	I think the classes lacked structure. Every lecture was a direct continuation of the last. So I preferred if the classes had a different	
	topic every week, so you could prepare better.	
	I think there are parts of the project that will take a long time if you don't set your own time to work on them.	
	I think there was too much time to prepare for the group project.	
	I went to the class physically.	
	Less interaction between students and teachers.	3
	In comparison, I am less able to focus on class. The frequency of interaction in class is reduced, and students may not be able to fully	

understand the content of the class.	
internet issues	
It's quite not easy to understand the whole lecture	
Keep it interesting	
Lectures not showing up. Mainly just essays as homework assignments, would have liked some more interactive assignments.	
Less able to understand the class content and less interactive	
the assignments won't be graded until the last lecture you didn't have any orientation how to improve	
It was hard to follow the lectures due to the level of english, unfortunately. It would perhaps help in our understanding to provide more	
written materials ahead of class, with clear text.	
Little hard	
Many lecturers struggled with English, reading from a script rather than talking freely. Same-day essays is stressful, especially when up to 500 words occurred.	
many lectures were too specific. They went too deep into the topic so it was hard to follow.	
My difficulty is fitting in with the rather technical approach of the problem-solution approach, as I am a law student and more	
interested in the social and legal perspective.	
かなり難しかった。一人で解ききれないことの方が多かった。	
Often, the subject matter was too hard to follow for those of us that did not study physics. The class is mostly non-physics students.	
One suggestion would be that the groups that conversations are held in could be mixed more often, for example randomizing them	
so people end up talking more to new people and hear different opinions about different countries.	
own lack of law knowledge	
Physics Too hard	
Since I was new to law, I had some difficulties understanding the topics. But, the professor was very good at teaching the concepts	
in a way that was understandable	
Some chapters are hard	
Some difficulty in clearly hearing students' opinions during Zoom sessions.	
Some difficulty with certain topics far from home studies	
Sometimes accessing the documents is not easy	
sometimes can't understand	
sometimes hard to follow due to prof's english abilities, the requisites for the written assignments have been explained poorly	
sometimes hard to understand	
Sometimes I am unsure where to find the link.... Actually I think the link may have been the same everytime but I wasn't aware	
of that until the end of semester	
Sometimes it is a little unclear why we are covering certain topics also sometimes there is not enough time to do the groupwork	
after the lecture	
Sometimes the lessons are not timed very well and we do not finish the content before the end of the lesson.	
Sometimes the zoom class freezes so some details of the topic are skipped	
sometimes, I feel like there would be more knowledge if I can exchange opinions with other students in the class.	
Sometimes, the teachers did not know how to speak English well, which made the pace of the class a lot more slow than it should be.	
Sometimes, we veered quite far off the intended topic, or we did not answer the original question sufficiently, in my opinion.	
Teachers and students can't communicate well.	
the class in only talking with other students, so no reason for it to be conducted online I think	
The class is offline my difficulty is probably the time is quite late for the lecture to finish but other than that there is no significant problem	
The class is physical.	
The discussion time were too long. Rather than talking up to an hour discussing the homework, it would have been better to cut	

	the time down and focus more on lecture time with the professor talking about the literature.	
	The instructor's English was not that understandable.	
	The lectures are pointless, one can get the same information by just reading the slides.	
	The lectures were quite pointless. The teacher just reads from the slides, which are not that clear to begin with	
	the organization, structure and examination method was a bit unclear/changing	
	The prof sometimes only repeat the contents in the slides, which is not that helpful for understanding.	
	The speed of the lecture was a little too slow and sometimes unstructured I think.	
	The theory was explained poorly, and was the exact replica from a book. If a topic was new to me, I had always to do some	
	research on my own in order to understand it. It would make sense to go deeper in some topics, and not doing them	
	so superficial, this way the learning effect will be greater	
	The time after getting to know the quiz, to the point you had to give an good answer was very short.	
	The topic is a little difficult to me, because it is different to my major	
	There is little coherence in the program. Each lecture stands mostly on its own so we do not build knowledge from one to the other lecture. Some topics do have overlap, so it could be nice to group those topics, cover the basics/fundamentals more thoroughly and then build on it from there.	
	There seemed to be some issues with the scheduling of the lecturers, since some of them failed to show up.	
	There were some miscommunication between students and teacher in the beginning, but over time that got better.	
	No difficulties	34
	This class was conducted in person this semester.	21
	Not so much	8
	Unstable connection	5
	I can't think of any at the moment.	5
	I don't know	4
	Very long time to do small tasks	
	this class was fine.	
	its confusing that the teacher changes everytime	
	I didn't meet much difficulties	
	Nothing particular.	
	There was not that difficult point to engage in the online classes.	
	What class	
41	Let us know if there are any favorable methods of teaching or class organization that you think the instructor should continue to maintain. (e.g. audio-visual material, field trip, discussions, quizzes, etc.)	
	answer	number
	The quizzes were a good way to test students on the weekly content. Audio-visual material should definitely still be kept and continued	
	to be uploaded to the CLE system, preferably before the class begins so students can get a head-start on the content.	
	Breakout sessions and discussions.	
	I think it is a good idea to allow student to not attend neither online nor face to face classes but still give them the chance to do a paper	
	in order to be counted as present. It also allows other students to practice their writing with the weekly essay.	
	I believe discussions amongst other students would help this class	
	The recap of last week at the beginning of each session is useful. Also the inclusion of real life examples is really engaging.	
	No change needed	
	Please keep up the different methods of attendance, it is very convenient for students who work or cannot attend the class face to face.	
	Discussions should be a good support for the class	
	Brief discussions to address students' comments were highly beneficial.	
	No change needed	
	Explain things more and don't just read off of slides	
	The videos is a nice thing to have.	
	I can't think of any at the moment.	
	I like the discussion time at the end of the class, but I hope there be more guiding questions and group assignment for people to talk	

	with different ones.	
	it would be nice to include more visualisations, like pictures regarding the topic which is reached.	
	The discussions were good and interesting. But it would be better if each class had different table-settings to talk to some more different people.	
	The field trip were nice but because it was on the period of class a lot of people couldn't go because we had class before or after on campus'	
	no	
	Keep doing the fieldtrips, but find a better way to organize/plan them.	
	field trips	
	The field trips are really good	
	I can't think of any at the moment.	
	I like the assignment being labelled with preferences. Also the topics are adequate. The guiding questions are also good to have.	
	Field trips would be nice...	
	I liked the videos with the social experiments. Also the quiz on the maps was quite interesting. These interactive elements were quite	
	good and entertaining.	
	I really liked video-materials and the ability to listen teacher's personal experience	
	the usage of Media material	
	I think having the group presentations and preparing in class over a longer time period is very good.	
	Discussion, field trip	
	Keep the smaller group discussions.	
	Working in groups: it creates a good environment and the students can become friends.	
	Class Discussion between students, audio-visual materials	
	Teamwork and video materials	
	Interactive teaching style with case studies and guest lecturers.	
	Special guests were too interesnig to meet	
	I can't think of any at the moment.	
	Upload all presentations, give grades to reports as early as possible	
	its a very theoretical class. it would help to show more examples for better understanding	
	Like this is perfect. I like the discussions being held.	
	Perhaps a couple of field-trips to the labs would be interesting. I think this will help to put the information into context.	
	FIELD TRIP	
	The audio materials and reading materials were very good and helpful.	
	the used material, videos	
	Field trip would be interesting	
	It was the most interactive class I have ever been!! Every task was exciting ;)	
	Quizzes and discussions are very good for this course	
	Keep doing the smaller group discussions, and definitely the presenting before the class.	
	Some of the lectures were good prepared. This preparation should continue.	
42	Let us know if you have any suggestions or advice to improve the class.	
	answer	number
	I think the class should maintain its focus on culture more and less on Japanese linguistics, as the linguistics section happened for too	
	many weeks. Also, most students in the class were not studying linguistics in their degrees.	
	Another time (not lunchtime). And I believe the topics and lecturers should be focused even more on Asian-Pacific perspectives.	
	All lectures should be better prepared and there should be more time for the quizzes.	
	Make the required answers shorter or prolong the deadline, 12 hours to do the weekly essay can be rough if you take many other classes	
	the same day.	
	The slides in this course are really fully packed and could have been a bit more comprised.	
	Add more interaction between students and the teacher	
	Make the access of documents on CLE easier (without Google drive)	
	No change needed	

The slides are really packed with information which could have been comprised a little more.	
Add more discussions between the students	
Prefer to have early access to final exam details in the academic year.	
It's perfect no change needed	
I think having one paper weighing 60% raises some anxiety for me so maybe having two shorter papers, one midterm and final might be helpful.	
It will take the weight off of one exam	
Teach R first as every assignment requires it	
The teacher have do more explanation. Especially for the more complex topics	
I can't think of any at the moment.	
I can't think of any at the moment.	
I believe the schedule should change a bit. If we have only one session for each theory, it is covering too much things and therefore, at the end	
of the term, I do not know what I actually learned	
See above.	
clear expressing what students are expected to do	
Make the course structure more clear in the beginning would help	
I think there is too much discussion time	
I can't think of any at the moment.	
I think the class size should be smaller. Discussion in groups with students only may sound interesting but not as effective as there can always	
be one or two who do not have time to read the readings, and that may mess up the discussion.	
Like I said, provide materials for the class ahead of time when possible.	
Everything is great, thank you!	
I think it would help if the readings, which are quite wordy and long, would be shorter. It would increase the number of people that read it and	
therefore bring the discussion forward.	
Professor should allow more chances for class discussion between students and teacher, not just among the students.	
I think we spent too much time on GMO, it would be nice to research more topics	
Maybe teams should be compiled more careful, to avoid members from the same country if it is possible	
Lower the level of the lectures somewhat and provide more structure between the lectures. There's many overlapping topics, but it's hard to	
understand them when the common foundational topics are not well understood by the students.	
I can't think of any at the moment.	
The lectures are overly complicated and pointless when compared to the set work. Often the teachers have no idea what level the course	
should be at.	
There was a lot of overlap between lectures	
lower the difficulty, so that all students can follow. even many physics student struggle to do so	
Please make sure that every professor covers a proper introduction of the topic in the beginning of each class.	
Perhaps you could provide some expected prior knowledge for each specific topic. This will make some of the lectures more understandable.	
Grading should be clearly explained and there should be feedback after the first round of discussion	
Laboratory Trip	
More structure in the homework and slides when uploading	
None	
It's perfect 😊	
Add some quizzes to the class	
Offline, if possible! :)	
Let encourage people more to acctually looking up statistics and making arguments which are based not on opinions, but on real facts.	
Maybe it would be better to ensure a certain level of fluency in English for all instructors	
In comparison to other classes for this class there was the most to do. In the beginnig readings every week and then two presentations followed by a big term paper. The planning for the second presentation did not quite work since there was not enough time. Changes made for the second presentation were not good communicated. Furthermore for most groups there wasn't any time for feedback of the presentation. The teacher often seemed to be annoyed, I don't know if it was because she disliked the presentations or if there was an other reason. But it felt unfair to the ones presenting and made	

	me feel insecure since she did not communicated about this. I think some students hit her expectations of the presentation but she did not made clear enough what she want to hear. There were times the teacher seemed not to be interested or motivated.	
	The teacher is just talking about whatever she wants even though it has no relation to the course. And what is more, then she tries to justify the things she "teach" us by writing extra long non-sense messages on cle, which demonstrates exactly what I said, that she know she is not teaching us anything (or why would she need to justify what she says?)	
	Maybe align the lectures a bit more, now there is every week another professor talking about more or less the same topic. Thereby, the class is called "Introduction" to applied physics, but I would not classify Raman spectroscopy and spinorbitronics as introduction, especially for students who do not have a background in physics. Next, I think the way of testing should be improved. Now it is quite easy to pass the course, even though you have no understanding of the lecture at all, since only a summary of 300 words have to be written, whereby 100 words is for summary. This is never enough to show a deepen understanding of the subject. A better option would be one big report (since there is a lot of (since there is a lot of overlap between the courses) or an exam to test knowledge in a somewhat more deepening way.	
	If this class will be done in similiar manner in future, I think it would do a lot of sense, to correct the assignments a few times throughout the year so the sudents know, how they actually perform. As the form of the assignments doesn't change the students would know how to improve their performance	
43	Please freely write any other comments and opinions.	
	answer	number
	Lecturers regarding grammar rules did not seem relevant to the course. Anime and photography lecturers were the best.	
	Thank you again for this class, it made my exchange programm!!	
	Thank you for this semester.	
	Thank you teacher.	
	I really liked this class	
	Thank you for this semester!	
	Thank you for providing me the opportunity to take this class.	
	Thank you professor	
	I can't think of any at the moment.	
	The professor is amazing, content super interesting, always loved going to that class.	
	I can't think of any at the moment.	
	I think the class was not well organized and I couldn't find what we really had to learn from this class.	
	Change the teacher	
	I did not learn anything, talking with other students about what we think of a reading does not teach me anything. And writing a final paper	
	that has to be THAT long is literally impossible and inadequate	
	Thank you for this class, it was one of my favorite ones	
	I learned a lot!	
	Thank you for this course!	
	I really enjoyed this class. Thank you Sensei!	
	Thank you and good luck!	
	I can't think of any at the moment.	
	thank you for the organisation and a great time in Japan	
	Grading should be clearly explained and there should be feedback after the first round of discussion	
	THANK YOU SENSEI AND TEACHING ASSISTANT	
	Thank you I did enjoy the class very much and learned a lot!	
	Best class	
	I really enjoyed the class. I feel I learned a lot and never felt overloaded or stressed while attending. Thank you !	
	It's funny that this is supposed to be anonymous, but we have to say our nationality and age, I mean??? Whatever, hello professor. I just wanted to say that I feel that a final paper THAT LONG is unnecessary and even abusive LOL. How I am supposed to write 5 pages of final report for this course and other 5 reports for 7 another courses? +prepare exams. It's literally longer than a thesis and also yours it's too difficult because we never try to apply theories in class like that :(and I do not have time to write that many papers, and in a language that is not my native language. Please, be rational :(and when reading my final paper, remember I went to all the classes hehe but I'm just not that intelligent. Best regards (and I hope you don't mind about this very informal message)	
	Love Professor Sachi! She is very approachable, helpful and can speak English fluently which is honestly rare among the Japanese professors I have learnt so far.	
	Thank you very much for the class. The structure was very clear, the rules fair, and the classes engaging. The teacher taught in an engaging manner with very easy to understand concepts and a good dose of humour to keep it lively.	
	I believe that the lecturer has done quite well, it is just my own personal opinion and capability that makes me quite uninterested in the subject of law	

2023年度年報

2024年8月7日 発行

編集・発行者：大阪大学国際教育交流センター

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1番1号

電話：06-6879-7118 FAX：06-6879-7077

制作：株式会社 遊文舎